
CONTENTS

I 事業の概要

1 調査研究	1
2 博物館資料の収集	7
3 館蔵資料の貸し付け	9
4 企画展	18
5 テーマ展など	19
6 ロビー展示	20
7 各種連携事業	21
8 普及教育事業実施状況	36
9 令和元年度 栃木県立博物館 催し物一覧	61

II 諸統計

1 令和元年度入館者統計	63
2 アンケート調査による入館者の実態	69

III 予算

1 令和元年度歳入状況	72
2 令和元年度歳出予算	73

IV 組織・事務分掌

1 令和元年度栃木県立博物館の組織図	74
2 栃木県立博物館協議会委員名簿	75
3 栃木県立博物館調査研究協力員名簿	75
4 栃木県立博物館ボランティア	77

V 利用案内

注) 会期及び期日の表記で年の記載のないものについては当該年度とする

I 事業の概要(令和元(2019)年度)

1 調査研究

分野	職名・担当・氏名	調査研究内容
歴史	学芸部長 歴史(中世)担当 江田 郁夫	<p>歴史(中世)担当として各種のレファレンス等に対応した。また、栃木県中世考古学研究会・栃木県歴史文化研究会・東北学院大学中世史研究会・東北中世史研究会等と連携して、中世東国の主要街道について考究する「奥大道」シンポジウム1～2の企画・開催に携わった。</p> <p>「奥大道」シンポジウムでは、「奥大道とは何か」について報告したほか、その他の研究会・講演会等では「中世佐野氏の興亡と唐沢山城」「名門芳賀氏最後の当主高武とその周辺」「戦国一の美女「お市」と娘たち」「戦国下野を強かに生き抜いた女性たち」「中世栃木西部地域の城と人物」「皆川広照と信長・秀吉・家康」等に関する講演を実施した。</p> <p>調査研究では、「戦国時代の下野塩谷氏」を執筆し、当館研究紀要第37号に掲載した。</p>

—人文系—

分野	職名・担当・氏名	調査研究内容
考古	主任研究員 考古担当 馬籠 和哉	<p>展示関連では、第123回企画展「下野の鎌倉街道一道を行き交う人と物一」を担当し、栃木県内の中世遺跡、道路状遺構等を紹介し、鎌倉、平泉での出土遺物をはじめ、歴史・美術担当の協力により、関連する絵図面、絵画等を展示した。関連した講座等では、宇都宮市ボランティア連絡協議会主催講座「下野の鎌倉街道」を実施した。テーマ展「栃木の海と貝塚」を担当し、縄文時代の県内貝塚「篠山貝塚」「野渡貝塚」「藤岡神社遺跡」「清六Ⅲ遺跡」からの出土遺物、貝層はぎ取り標本等を紹介した。自然課の各担当、人文課民俗担当の協力を得て、現生の動物剥製、植物・貝類標本、近年のサシアミ・アバリと出土遺物の比較展示を行った。また、ぬりえコーナー、関連書籍コーナーを設置した。</p> <p>地域移動博物館では、矢板市立郷土資料館で「中世陶磁器の世界—矢板の中世と県博陶磁器コレクション—」を担当した。発掘された矢板市内の中世城館を紹介するとともに当館の陶磁器コレクションを展示した。関連講座として「烏帽子をつくる」を道の駅やいたで実施した。</p> <p>調査研究では、栃木県内の中世遺跡と交通・流通に関する調査を行い、企画展として成果を紹介した。発掘された中世城館に関する情報収集を進めるとともに縄文時代を中心とする水場、低湿地遺跡についても調査研究を進めている。また、文化庁主催「ミュージアム・エデュケーション研修」にも参加し、来館者目線での館内展示、展示室内での学びのあり方、ワークショップ等の効果的な実施の方法も研究している。</p>
	学芸嘱託員 考古担当 中山 真理	<p>展示に関しては、第123回企画展「下野の鎌倉街道一道を行き交う人と物一」の副担当として携わり、主に第1章(古代)を担当した。関連イベントとして、オープニング講座、記念講演会、展示解説、ワークショップの開催に携わった。あわせて、シンポジウム「中世の鎌倉街道「奥大道」」の開催に携わった。また、テーマ展「栃木の海と貝塚」の展示補助を行った。</p> <p>地域移動博物館では、「中世陶磁器の世界—矢板市の中世と県博陶磁器コレクション—」(矢板市郷土資料館)の展示補助を行った。関連イベントとして、ワークショップの開催に携わった。</p> <p>普及事業では、とちぎ子ども未来創造大学にて特別講座の補助を行った。</p> <p>調査研究では、「下石橋愛宕塚古墳出土の須恵器大甕について(二)」を執筆し、当館研究紀要第37号に掲載した。</p>

分野	職名・担当・氏名	調査研究内容
歴史	主任研究員 歴史(中世)担当 山本 享史	<p>歴史(中世)担当として、一般の方々や研究機関からの各種レファレンスに対応した。また、担当部門の常設展示の充実に努めたほか、人文系企画展やテーマ展の資料調査、展示作業の補佐にあたった。</p> <p>研究会・講演会では、「下野の名門武士団・佐野氏の祖 藤原秀郷について」「中世東国武士の祖 藤原秀郷—武士のルーツは下野にあり！—」「藤原秀郷とはどんな人物か—史実と伝説のあいだで—」「中世宇都宮氏の在京活動と東大寺」「鎌倉幕府の成立と『北条政子』—源頼朝を支えた女性の活躍—」「承久の乱と『北条政子』—幕府を勝利に導いた「尼將軍」—」等の講演を行った。</p> <p>調査研究では、論文「地方の銭貨の存在形態」「秀郷流武芸故実と下野」「鎌倉時代における在京活動と東大寺」等を執筆した。</p>
	主任研究員 歴史(近世)担当 飯塚 真史	<p>第123回企画展「下野の鎌倉街道—道を行き交う人物—」を担当し、展示、図録の執筆を行い、同展関連行事等にも携わった。また、冬季にテーマ展「中世下野の歴史物語の世界—玉藻前草子と幸若舞曲「信田」—」を担当し、展示、リーフレットの執筆を行った。</p> <p>歴史(近世)担当として、一般の方々や研究機関からの各種レファレンスに対応した。また、担当部門の常設展示の充実に努めた。</p> <p>調査研究としては、論文「描かれた歴史と重臣芳賀氏」を執筆し、特別展示「令和の御大札—悠紀地方に選ばれた栃木—」開催に向け、資料調査を行った。</p>
	主任 歴史(近現代)担当 大越 惟弘	<p>テーマ展「戦時下沖縄の警察部長荒井退造—辞令と写真からたどる足跡—」を担当し、資料調査や展示作業を行った。関連行事として、荒井退造関連DVD鑑賞会、学芸員としておき講座や展示解説を行った。また、第125回企画展「とちぎ版文化プログラム“リーディングプロジェクト事業”「昭和ノスタルジー—なつかしい栃木の情景—」を副担当した。</p> <p>普及教育事業としては、平成31年度宮の原地域まちづくり推進協議会主催講座「いきいきセミナー」において、「祝新元号 皇室の歴史を学ぶ」および「明治を駆け抜けたもう一人のいだけん」、栃木市主催「とちぎ文化講座」において「下野国から栃木県へ」の講演を行った。また、宇都宮市立泉が丘小学校における教育広報課の出前授業に教師役で帯同し、宇都宮駅前の明治以降の変遷について、当時の絵はがきや写真を用いて解説した。</p>
民俗	学芸部長補佐兼 人文課長 民俗(有形)担当 篠崎 茂雄	<p>第125回企画展・とちぎ版文化プログラム“リーディングプロジェクト事業”「昭和ノスタルジー—なつかしい栃木の情景—」を実施した。このなかで、第Ⅲ章の「生業」を担当し、本県の特産物である麻、かんぴょう、葉煙草について、生産用具、写真、映像で紹介した。また、本企画展のプレ企画として、栃木県庁の県庁前ひろばと昭和館で県民の日イベント「昭和館で昭和にタイムスリップ！！」を実施した。昭和の生活用具や昭和の風景を写した写真を展示するとともに、民話語り、紙芝居、昭和の縁日再現、郷土芸能やちんどん屋の実演、伝統工芸実演・体験など各種イベントを企画・運営した。</p> <p>テーマ展は、「栃木の年中行事」を担当し、正月や盆、節句など年中行事からみる人々の生活文化を紹介した。また、テーマ展「栃木の畑作—麻・麦・かんぴょう—」、「おじいさんやおばあさんの子どものころの暮らし」を補佐した。</p> <p>さらに、令和2年度実施予定の特別展示「令和の御大札」の実施に向けて、資料調査・借用交渉等を行った。</p> <p>普及教育事業としては、民俗に関するレファレンスに対応し、祭礼や年中行事に関する講座を実施した。また、栃木県シルバー大学校で、「とちぎの方言」について講義した。</p>

分野	職名・担当・氏名	調査研究内容
民俗	主任 民俗(無形)担当 宮田 妙子	<p>民俗分野の各種レファレンスに対応し、必要に応じて随時資料調査等を行った。</p> <p>展示関連では、第125回企画展・とちぎ版文化プログラム“リーディングプロジェクト事業”「昭和ノスタルジー—なつかしい栃木の情景—」を主担当し、栃木を中心とした昭和30～50年代の暮らし全般を取り上げた。民俗資料に加え、プレ企画において収集した写真も活用した上で、見世物小屋、ちんどん屋、縁日、遊びなど、職人や当館ボランティアと協働したさまざまな実演や体験や講座、学芸員と語り合う茶話会などの場を通して五感に訴えるとともに、多角的に参加できる展示を目指した。あわせて、関連、及び共催事業として「昭和館で昭和にタイムスリップ!!」、「下野手仕事会展」も行った。また、テーマ展「おじいさんやおばあさんの子どものころの暮らし」を主担当し、「栃木の畑作—麻・麦・かんぴょう—」、「栃木の年中行事」を副担当した。ほかに、共催展「時世を映す絵馬」を主担当し、出前講座「栃木の妖怪」も行った。</p> <p>調査研究に関しては、特に栃木における昭和の暮らしをテーマに行い、前述の企画展やプレ企画、関連事業において写真、資料、情報の収集を進めるとともに、成果を紹介した。</p>
民俗	学芸嘱託員 民俗担当 石井 和帆	<p>第125回企画展・とちぎ版文化プログラム“リーディングプロジェクト事業”「昭和ノスタルジー—なつかしい栃木の情景—」及び関連事業の「昭和館で昭和にタイムスリップ!!」等を副担当し、第I章「まつり」を担当した。また、学芸員としておき講座「写真で見る栃木の昭和の暮らし」を行った。</p> <p>テーマ展では、「栃木の畑作—麻・麦・かんぴょう—」を主担当し、本県平野部に暮らす人々の農業の様子や、その知恵や工夫について生産用具を交えて紹介した。このうち、麻に関しては当館が所蔵する国指定重要有形民俗文化財「野州麻の生産用具」を展示した。ほかに、共催展「時世を映す絵馬」を副担当した。</p> <p>調査研究では、栃木県歴史文化研究会第29回大会「描かれた栃木の近代」において、「近現代に描かれた漁場図から読み解く民俗知—那珂川における定置漁法を中心に—」を報告した。また、「描かれた野州鯨の資料性—図像は民具研究に資するの—」を執筆し、神奈川大学日本常民文化研究所発行『民具マンスリー』(52巻8号・10号)に掲載した。</p>
美術	研究員 美術工芸担当 深沢 麻亜沙	<p>テーマ展「小泉斐にいたる道—下野の画人を育てた近江商人 島崎雲圃—」を主担当として、「名所絵—旅する絵画—」を副担当として実施し、「小泉斐にいたる道」では会期中に展示解説を行った。</p> <p>調査研究としては、第126回企画展開催に向け、県内外で資料調査等を進めたほか、県内に伝わる近世以前の絵画や彫刻の調査撮影を行った。また、平成31・令和元年度科学研究費補助金(基盤研究(A))「仏像の表象機能に関わる総合的調査研究—空間・荘厳・胎内に着目して(課題番号16H01913)」(研究代表者:東北大学名誉教授有賀祥隆)に関わり、日光市・輪王寺での調査に参加した。その他、「南北朝時代における院派仏師起用について」と当館研究紀要第37号に「資料紹介 市貝町海福山慈眼寺本尊聖観音菩薩坐像について」を執筆した。</p>
工芸	学芸嘱託員 美術工芸担当 久野 華歩	<p>テーマ展「名所絵—旅する絵画—」を主担当として、テーマ展「小泉斐にいたる道—下野の画人を育てた近江商人 島崎雲圃—」を副担当として実施し、「名所絵」では会期中に関連行事として、学芸員としておき講座「名所絵と旅」及び展示解説を行った。</p> <p>調査研究としては、令和2年度第126回企画展「生誕250年記念 偉大なる無名画家 小泉斐」の開催に向けた事前調査および写真撮影の補助のほか、県内の美術資料について調査を行った。</p>

—自然系—

分野	職名・担当・氏名	調査研究内容
	主任 古生物担当 河野 重範	<p>地域移動博物館「恐竜」を担当し、中生代に繁栄した恐竜類などについて詳しく紹介した。</p> <p>栃木県内外に分布する地層や化石の調査を行った。県版レッドデータブック改訂事業では、地形・地質に関する調査を行った。那須烏山市ジオパーク構想については専門的見地から助言を行った。那須烏山市で行った教育実践研究について成果を査読付き論文として公表した(共著)。日光地域の自然学術総合調査の一環として、当該地域における地形地質分野の学術文献の総括を行った。</p>
地 学	主任 岩石・鉱物担当 吉田 貴洋	<p>栃木県内の鉱山跡で調査や資料収集を行った。</p> <p>地域移動博物館「鉱物の宝箱～きらめく Stone Museum～」、「火山灰は宝石箱」、「カチカチ発電機」などの講座や観察会を担当し、身近で見られる岩石・鉱物について紹介した。また、「カレーに変身！米物語～土ってすごイネ～」の観察会を行い、土壌教育にも携わった。</p> <p>県版レッドデータブック改訂事業の一環として、県内の地質調査を行った。日光地域の自然学術総合調査の一環として、当該地域における地形地質分野の学術文献の総括を行った。</p>
	学芸嘱託員 地学担当 薄井 香淑	<p>栃木県内の鉱山跡で岩石・鉱物の資料収集を行った。</p> <p>県版レッドデータブック改訂事業では、栃木県内の地形地質や化石の調査を行った。</p> <p>地域移動博物館「鉱物の宝箱～きらめく Stone Museum～」、「恐竜」、「化石のレプリカづくり」、「火山灰は宝石箱」、「カレーに変身！米物語～土ってすごイネ～」などの講座や観察会に携わり、化石・岩石・鉱物の調査研究を行った。日光地域の自然学術総合調査の一環として、当該地域における地形地質分野の学術文献の総括を行った。</p>
植 物	主任研究員 維管束植物担当 星 直斗	<p>主に栃木県内に分布する維管束植物の資料収集、整理、調査研究を行った。</p> <p>特に県版レッドリスト改訂事業に関連してタシロラン等のラン類、クロビイタヤ、ササエビモ、フジアザミの分布調査を行った。また、博物館ボランティアと共にオオカワヂシャ、オオオナモミ等の外来植物分布調査を行った。</p> <p>国立科学博物館において昭和天皇が採集した植物標本の調査を行い、資料や得られた知見の一部を、企画展「昭和ノスタルジー」およびテーマ展「昭和天皇の生物学御研究」と展示解説書において紹介した。</p>
	主任研究員 維管束植物を除く植物・菌類担当 坂井 広人	<p>栃木県内の地衣類、真菌類、蘚苔類の資料の収集・整理作業を行った。県版レッドリスト改訂事業の一環として、地衣類、真菌類、蘚苔類の調査を重点的に行った。また、日光地域の自然学術総合調査の一環として、日光地域の地衣類、真菌類の分布調査を行った。</p> <p>第124回企画展「キノコと地衣類～菌類って不思議！～」を担当し、記念講演会、とっておき講座を開催し、展示解説を行った。テーマ展「昭和天皇の生物学御研究」では変形菌類を担当し、リーフレット執筆と展示を行った。</p> <p>出前授業、出前講座などを通して、地衣類、真菌類、蘚苔類を紹介した。また、博物館ボランティアと共に地衣類の分布調査を行った。</p>
	学芸嘱託員 植物・菌類担当 三瓶 ゆりか	<p>栃木県内に分布する維管束植物、藻類の資料収集を行った。</p> <p>栃木県で絶滅のおそれのある維管束植物の野外調査、標本作製・整理を行った。</p> <p>テーマ展「もみじとカエデ」を担当し、県内に自生するカエデについて、花に焦点を当てて紹介した。</p>
	学芸嘱託員 植物・菌類担当 渡辺 茂	<p>栃木県内に分布する維管束植物、蘚苔類の資料収集を行った。また、複数の自然観察会に携わると共に、植物の調査研究を行った。</p> <p>維管束植物の寄贈標本の採集データ(特に位置情報)について整理し、データベース化を行った。</p>

分野	職名・担当・氏名	調査研究内容
植物	学芸嘱託員 植物・菌類担当 山本 航平	<p>栃木県内に分布する真菌類(特に冬虫夏草類および地下生菌・旧腹菌類)に関する分布調査・資料収集・レファレンス対応を行った。テーマ展「冬虫夏草一虫から生える不思議なキノコ」を担当し、冬虫夏草類について標本・写真・解説パネルを用いて展示し、リーフレットを執筆した。また、宇都宮市内における調査で採集された新種の冬虫夏草をクサイロコメツキムシタケと命名して国際学術誌に発表し、プレスリリースおよびトピック展示を通して成果を公表した。また、これらの展示についての取材対応を行った。企画展「キノコと地衣類～菌類って不思議!～」では副担当として展示補佐と図録執筆を行った。その他講座や観察会を通して真菌類の普及教育を行った。</p> <p>科学研究費補助金(3件:基盤B・C、挑戦的研究(萌芽))およびその他共同研究において得られた成果を、査読付き論文(筆頭著者:5本、共著:4本)として発表した。</p>
動物	学芸部長補佐兼 自然課長 脊椎動物担当 林 光武	<p>栃木県内の哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類・魚類の標本の収集・整理作業を行った。また、県版レッドリスト改訂事業に関連して、上記分類群の生息情報の収集・整理を行った。さらにテーマ展「骨が語る動物の秘密」では、副担当として展示全般にかかわった。</p> <p>前年度に引き続き、宇都宮市においてトウキョウサンショウウオの保全対策の検証調査をグリーントラストうつのみやなどと共同で実施した他、高原山地の人工池で両生類の生息状況の長期的変動調査を行った。また、県内の水田地帯で国内外来種ヌマガエルの分布拡大状況の調査を行った。さらに、日光地域の自然学術総合調査の一環として、博物館ボランティアと共に日光地域の両生類・爬虫類の分布・生活史調査を行った。</p>
動物	主任研究員 昆虫担当 栗原 隆	<p>栃木県内の昆虫について調査を行い、必要に応じて標本を収集した。また、県版レッドデータブック改訂事業に関連して、昆虫分野の調査や取りまとめを行った。</p> <p>当館の収蔵資料については、日本産のゾウムシ上科及びオオキノコムシ科の整理を重点的に行い、データベース化を進めた。</p> <p>テーマ展「あつまれ!自然好き」及び活動研究報告会「あつまれ!自然好き2020」では、それぞれの取りまとめを行った。</p> <p>日光地域の自然学術総合調査については、日光地域で発見され名前が付けられた昆虫の文献調査を行った。</p> <p>また、県内の市町と連携し、佐野市郷土博物館での展示「みんなおいでよ!昆虫ワールド」や塩谷町での昆虫観察会、栃木市での昆虫標本づくりの講座を行った。</p>
	主任 昆虫以外の 無脊椎動物担当 南谷 幸雄	<p>昆虫以外の無脊椎動物の分布調査、標本の収集・整理、レファレンス対応を行った。収蔵資料については、貝類標本の劣化を防ぐために、使用している綿を石油製品由来の綿に交換するとともに、現在使用されている分類体系に基づいて配架した。また、カマアシムシ約1500点の整理・登録を行った。企画展やテーマ展「昭和天皇の生物学御研究」では、ヒドロ虫などの海産動物の展示を担当した。また、貝類の地域移動博物館を実施した。</p> <p>県版レッドリスト改訂事業に関連して、博物館ボランティアとともに、等脚目や多足類、ミズなどの土壌動物や、陸・淡水産貝類やクモなどの分布調査を行った。地域移動博物館に関連して、益子町内の陸・淡水産貝類を調査した。前年度に引き続き、日光地域の自然学術総合調査の一環として、日光市内の陸・淡水産貝類および等脚目を調査した。さらに、絶滅危惧種カタマメマイマイの分布調査を行った。得られた成果の一部を査読付き論文(共著1本)、査読無し論文(筆頭著者・単著3本、共著3本)として発表した。</p>

分野	職名・担当・氏名	調査研究内容
動物	学芸嘱託員 動物担当 浅羽 宏	<p>栃木県内の哺乳類、鳥類の斃死体の収集を行った。以前に作製したネコとイヌの骨格標本から、全身の組立標本を作製した。野外観察会での補助的業務を行った。</p> <p>テーマ展「骨が語る動物の秘密」を担当し、県内の中型・大型哺乳類の骨格標本について、頭骨・歯・手足の骨に焦点を当てて紹介した。また、「ネコモよう図鑑」を執筆し、化学同人から出版した。</p>
	学芸嘱託員 動物担当 鈴木 信也	<p>栃木県内の昆虫について、野外調査及び標本収集を行った。中でもガの生息状況について重点的に調査した。また、県版レッドリスト改訂事業の一環として、レッドリスト掲載種の生息状況を調査した。</p> <p>収蔵資料について、ガの昆虫標本を整理した。</p> <p>また、佐野市郷土博物館での展示「みんなおいでよ！昆虫ワールド」の展示補助や、塩谷町やさくら市での昆虫観察会、栃木市、佐野市での昆虫標本づくり講座の補助を行った。</p>

2 博物館資料の収集

(1) 購入資料

－人文系－

歴史部門

番号	資 料 名	数量	制 作 年 代
1	前九年軍記絵巻	1巻	江戸時代
2	絵師草子	1巻	江戸時代

－自然系－

地学部門

番号	資 料 名	数量(点)	産 地	備 考
1	エドモントサウルス	4	アメリカ	歯、脊椎骨、肋骨、右踵骨 各1点

(2) 寄贈資料

－人文系－

歴史部門

番号	資 料 名	数量	寄 贈 者 名
1	陶製手りゅう弾	4個	清水 勝氏
2	雷管	2本	清水 勝氏

考古部門

番号	資 料 名	数量	寄 贈 者 名
1	藤田鴻輔氏所蔵資料(書籍・記録類)	1件	藤田 鴻輔氏
2	藤田鴻輔氏所蔵資料(石器・土器破片類)	1件	藤田 鴻輔氏
3	藤田鴻輔氏所蔵資料(復元・完形土器類)	12点	藤田 鴻輔氏

美術工芸部門

番号	資 料 名	数量	寄 贈 者 名
1	山水図屏風 筆者不詳	六曲一双	坂本 光夫氏
2	帝鑑図屏風 筆者不詳	六曲一双	大金 重晴氏
3	蝦蟇仙人図 高田敬徳筆	1幅	本田 諭氏

－自然系－

地学部門

番号	資 料 名	数量(点)	寄 贈 者 名	産 地
1	黄鉄鉱	1	堀江 利男氏	ペルー
2	黄鉄鉱	1	堀江 利男氏	ペルー
3	紫水晶	1	堀江 利男氏	南アフリカ共和国
4	紫水晶	1	堀江 利男氏	南アフリカ共和国
5	水晶群晶	1	堀江 利男氏	ペルー
6	デザートローズ	1	堀江 利男氏	ナミビア

番号	資料名	数量(点)	寄贈者名	産地
7	珪化木	1	堀江 利男氏	アメリカ合衆国
8	アンモナイト	1	堀江 利男氏	ケニア

動物部門

番号	資料名	数量(点)	寄贈者名	備考
1	アオザメ 他18点	19	田口 道夫氏	剥製
2	ハチジョウダカラ 他18点	19	田口 道夫氏	貝殻標本

(3) 標本及び複製品等作製(委託作製資料)

－自然系－

動物部門

番号	資料名	数量(点)	備考
1	動物剥製標本	4	ハヤブサ、ヤマネ、アズマモグラ、ドブネズミ

(4) 採集資料

－自然系－

番号	資料名	数量(点)	備考
1	維管束植物	214	さく葉標本
2	地衣類	219	さく葉標本
3	菌類	287	凍結乾燥標本
4	蘚苔類	88	乾燥標本
5	哺乳類	19	骨格標本・毛皮標本
6	鳥類	43	仮剥製
7	爬虫類	10	液浸標本
8	両生類	164	液浸標本
9	魚類	5	液浸標本
10	昆虫類	1,250	乾燥標本
11	甲殻類	356	液浸標本
12	多足類	57	液浸標本
13	貝類	585	乾燥標本・液浸標本
14	貧毛類	31	液浸標本
15	カマアシムシ類	1,513	プレパラート標本
16	化石	3	県内の化石
17	岩石・鉱物	16	県内外の岩石・鉱物

3 館蔵資料の貸し付け

－人文系－

番号	資料名	数量	貸し付け先	備考
			貸し付け期間	
1	清水畑遺跡出土 アスファルト付着石鏃1点、尾の草遺跡出土 女瓦ほか865点	866	那珂川町なす風土記の丘資料館	常設展への展示
			4月1日～3月31日	
2	西ッ原遺跡出土 深鉢形土器1点、前原遺跡出土 深鉢形土器1点、小丸山遺跡出土 深鉢形土器1点、長田入遺跡出土 深鉢形土器1点	4	那須歴史探訪館	常設展への展示
			4月1日～3月31日	
3	柴工業団地内遺跡出土 壺2点	2	九州国立博物館	文化交流展示「海の道、アジアの路」(平常展)への展示
			4月12日～10月10日	
4	雪村周継筆「寒山拾得図」二幅、伝狩野元信筆「達磨慧可対面図」一幅、啓孫筆「騎虎鍾馗図」一幅、玉腕梵芳筆「蘭石図」一幅、椿椿山筆「四愛図」一幅	6	根津美術館	企画展「はじめての古美術鑑賞－絵画のテーマ－」への展示
			5月8日～7月26日	
5	復元瓦5点、板碑2点	7	大田原市教育委員会	大田原市歴史民俗資料館なす地域学講座「拓本をとろう(実習)」で利用
			6月13日～7月19日	
6	足利尊氏筆「地藏菩薩像」1点	1	九州国立博物館	特別展「室町将軍－戦乱と美の足利十五代－」への展示
			7月3日～9月20日	
7	カンピョウアンドン1点、竹細工1点	2	とちぎ蔵の街美術館	企画展「栃木の竹工芸家・齋藤文石」への展示
			7月25日～10月31日	
8	塚山古墳出土 鹿線刻円筒埴輪1点、塚山西古墳出土 鹿線刻埴輪1点、藤岡神社遺跡出土 犬形土製品(複製)1点、藤岡神社遺跡出土イヌ復元模型1点(栃木県埋蔵文化センター蔵・常設借用)	4	福島県立博物館	企画展「あにまらずANIMAL×Zoo－どうぶつの考古学－」への展示
			8月1日～12月10日	
9	那須文書(A-3巻)1点、那須文書(C巻)1点、豊臣秀吉朱印状(那須文書)1点、徳川二十将図1点、大関家所用甲冑1点	5	大田原市教育委員会	大田原市那須与一伝承館特別企画展「大田原氏三代」への展示
			8月18日～12月27日	
10	後藤遺跡出土 土偶4点、藤岡神社遺跡出土 犬形土製品1点(栃木市教育委員会蔵・常設借用)	5	群馬県立歴史博物館	企画展「ハート形土偶 大集合!!－縄文のかたち・美、そして岡本太郎－」へ出展
			8月20日～12月25日	
11	齋藤文石「栃乃葉国体」1点	1	とちぎ蔵の街美術館	企画展「栃木の竹工芸家・齋藤文石」への展示
			8月29日～10月31日	

番号	資 料 名	数量	貸し付け先		備 考
			貸し付け期間		
12	中山窯跡出土 瓦3点、須恵器片2点、須恵器盤5点、蓋4点、坏2点、高台付坏1点 (以下、佐野市教育委員会蔵・常設借用) 犬伏窯跡(北山3号窯跡)出土 須恵器甕1点、北山窯跡出土 高台付坏3点、蓋1点 (以下、栃木県教育委員会蔵・常設借用) 下野国分寺出土 飛雲文字瓦1点、圀唐草文鑑瓦1点、下野国府跡出土 円面硯1点、下野国分尼寺出土 宇瓦2点、鑑瓦2点 (以下、益子町教育委員会蔵・常設借用) 倉見沢窯跡出土 須恵器蓋2点、坏3点、高台付坏3点 (以下、真岡町教育委員会蔵・常設借用) 大内廃寺出土 鑑瓦1点、三重弧文字瓦2点 (以下、宇都宮市教育委員会蔵・常設借用)水道山窯跡出土 鑑瓦1点、宇瓦2点	43	大田原市教育委員会		大田原市なす風土記の丘資料館特別展「那須の古代窯業－瓦・須恵器の生産と流通－」への展示
			8月27日～12月27日		
13	何耕地遺跡出土 打製石斧2点、磨製石斧2点、石皿2点、縄文土器1点	7	那須歴史探訪館		那須歴史探訪館での常設展示
			10月1日～9月30日		
14	徳川家康画像1点、徳川秀忠書状1点、本多正勝書状1点、下野国宇津宮図1点、大坂冬御陣之図1点、大坂夏御陣之図1点、落穂集1点、名君宇都ノ宮御奇難之図3点	10	小山市立博物館		企画展「小山市藩主本多正純」への展示
			10月1日～12月20日		
15	福島県会津若松市南御山遺跡出土 弥生土器 3点	3	福島県立博物館		福島県立博物館での常設展示
			10月1日～令和2年9月30日		
16	回想法キット一式	1	栃木県済生会高齢者ケアセンター		施設利用者のレクリエーション活動等への使用
			10月14日～11月4日		
17	小泉斐画「富岳写真」1点	1	静岡県富士山世界遺産センター		特別展「谷文晁×富士山を写した時代の寵児」への展示
			11月26日～2月10日		
18	顔出しパネル(シェーポーズ)1点	1	那須歴史探訪館		テーマ展「懐かしの昭和展」への展示
			11月29日～2月18日		
19	寺平遺跡 落とし穴(断面剥ぎ取り資料)1点	1	市貝町教育委員会		市貝町立郷土資料館企画展「縄文時代のいちがい」への展示
			2月4日～3月24日		
20	那須官衙遺跡出土 荒屋型彫刻刀型石器1点	1	那珂川町なす風土記の丘資料館		連携テーマ展「今年は「食」」への展示
			2月5日～令和2年4月26日		

※写真・映像データのみ貸付件数は計93件(年報への掲載は省略)。

－自然系－

番号	資 料 名	数量	貸し付け先	備 考
			貸し付け期間	
1	ティラノサウルス生体復元、ニッポンサイ生体復元、鍾乳洞模型	3	佐野市葛生化石館	館内展示室で展示
			4月1日～3月31日	
2	植物標本7点、書簡4点、植物解説書等4点、胴乱2点、他パネル類20点	25	芳賀町総合情報館	企画展「植物学者 関本平八」で展示
			4月1日～7月3日	
3	オステオレピス 他24点	25	(株)月山あさひ振興公社	特別企画展「化石水族館」～水生生物多様性のふしぎをひもとく～で展示
			5月26日～10月27日	
4	4倍ドイツ箱入りのキイロスズメバチ標本1点	1	群馬県立自然史博物館	企画展「同居いきもの図鑑」で展示
			5月30日～9月30日	
5	古生物標本40点	40	那須塩原市那須野が原博物館	特別展「昆虫創世記」で展示
			6月1日～10月11日	
6	昆虫等標本18点	18	那須塩原市那須野が原博物館	特別展「昆虫創世記」で展示
			6月1日～10月11日	
7	コマクサほか植物、昆虫、哺乳類、鳥類、底生類、両生類の標本27点	27	宇都宮市環境部環境保全課	宇都宮市役所、宇都宮市立東・南図書館の「うつのみやの自然パネル展」で展示
			6月4日～7月17日	
8	古生物資料8点	8	宇都宮市西生涯学習センター	講座「宇都宮再発見！自然の魅力をさぐる」で使用
			6月11日～7月6日	
9	アパトサウルス足跡 他13点	14	神栖市歴史民俗資料館	企画展で展示
			6月13日～9月27日	
10	Dendrocellus属の一種(オサムシ科)の乾燥標本	1	埼玉県川越市	学術論文に使用
			6月19日～7月4日	
11	ストマトポラ 他41点	42	佐野市葛生化石館	企画展「海の化石に似たもの展」で展示
			6月20日～12月21日	
12	古生物資料4点	4	神奈川県立生命の星・地球博物館	特別展「アオバトのふしぎ～森のハト、海へ行く～」で展示
			7月6日～11月16日	

番号	資 料 名	数量	貸し付け先	備 考
			貸し付け期間	
13	トリケラトプス 他74点	75	小山市立博物館	地域移動博物館「恐竜」で展示
			7月8日～9月11日	
14	鉱物資料261点、紫外線照射装置(ポータブル)1点、紫外線照射装置1点	263	さくら市ミュージアム―荒井寛方記念館―	地域移動博物館「鉱物の宝箱～きらめくStone Museum～」で展示
			7月24日～9月4日	
15	オーケン石、ミメット鉱、珪亜鉛鉱、藍銅鉱、ガーネット	5	NHK宇都宮放送局	8K映像の撮影に使用
			9月24日～9月26日	
16	イワシノコバン液浸標本	1	神奈川県藤沢市	学術論文に使用
			10月30日～令和2年3月31日	
17	オーケン石、珪亜鉛鉱、ガーネット、その他鉱物資料13点、紫外線照射装置、T2ケース2台	19	NHK宇都宮放送局	イベント「8Kで鉱物のミクロの世界に浸ろう！」で使用
			11月1日～11月3日	
18	ネズミ化石	1	那珂川町なす風土記の丘資料館	特別陳列えと展「亥を考古学する」への展示
			11月21日～2月15日	
19	ストマトポラ 他41点	42	佐野市葛生化石館	企画展「海の化石に似たもの展」で展示
			12月22日～2月29日	
20	オーケン石、珪亜鉛鉱、ガーネット、その他鉱物資料14点、紫外線照射装置、T2ケース3台	21	NHK宇都宮放送局	イベント「みんなでみてみるみになるみねらる」で使用
			1月10日～1月13日	
21	サクラの仲間の種子12種	12	ミュージアムパーク茨城県自然博物館	企画展「さくら展―まだ見ぬ桜(きみ)に逢いにいく―」で展示
			1月28日～令和2年6月12日	
22	リストロサウルス	1	神奈川県立生命の星・地球博物館	企画展「 Gondwana～岩石が語る大陸の衝突と分裂～」で展示
			2月1日～令和2年5月31日	
23	ヒアリ標本4点	4	栃木県なかがわ水遊園	企画展「私立危険生物学園～今年のヤバイ新入生～」で展示
			2月7日～令和2年5月15日	
24	プシロフィトン 他12点	13	群馬県立自然史博物館	企画展「空にいどんだ勇者たち」で展示
			3月3日～令和2年6月30日	

※写真・映像データのための貸し付け件数は計18件(年報への掲載は省略)

—教育広報課—

番号	資料名	数量	貸し付け先	備考
			貸し付け期間	
1	触れる縄文土器片、土偶、銅鏡、銅鐸(展示用・体験用)	5	東京女学館小学校 4月14日～4月27日	社会科の授業で使用
2	矢じり、箱石器標本セット、金印、ツキノワグマ毛皮、ナウマンゾウの歯化石、ミズク土器レプリカ、貫頭衣、石皿、すり石、縄文土器模様付け体験セット	10	宇都宮市立宝木小学校 4月21日～4月28日	社会科の授業で使用
3	釜、電気炊飯器、湯たんぽ、吊りランプ、蓄音機、レコード、こて、豆炭あんか、提灯、ランプ、薬研、茶臼、めんこ、わなげ、剣玉、こま、だるま落とし	17	栃木県立栃木特別支援学校ひばり分教室 5月14日	社会科の授業で使用
4	十二単一式、古代衣装(男女)、束帯	4	宇都宮市立宝木小学校 5月15日	社会科の授業で使用
5	十二単一式、狩衣一式、大鎧、太刀、弓、矢	6	鹿沼市立みなみ小学校 5月28日	社会科の授業で使用
6	矢じり、縄文土器、弥生土器、銅鏡、銅鐸、土偶	6	宇都宮市立姿川中学校 5月28日～6月9日	社会科の授業で使用
7	ツキノワグマ毛皮、カモシカ毛皮、ニホンジカ毛皮、ニホンジカ幼獣剥製、カモシカ幼獣剥製、ツキノワグマ幼獣剥製、ウサギ成獣剥製	7	宇都宮市立宝木小学校 5月28日～6月4日	国語科の授業で使用
8	十二単一式2点、大鎧、当世具足、太刀2点、弓、矢、火縄銃	9	宇都宮市立横川東小学校 5月30日	社会科の授業で使用
9	十二単一式、当世具足、大鎧、太刀、火縄銃、弓、矢、狩衣一式、足軽鎧	9	大田原市立福原小学校 5月31日	社会科の授業で使用
10	十二単一式、大鎧、当世具足、太刀、火縄銃、弓、矢	7	宇都宮市立陽東小学校 6月4日～6月14日	社会科の授業で使用
11	十二単一式、狩衣一式	2	栃木県立宇都宮女子高等学校 6月5日	総合的な学習の授業で使用
12	十二単一式、復古調鎧、足軽鎧、刀、火縄銃	5	宇都宮市立戸祭小学校 7月9日	社会科の授業で使用
13	十二単一式、復古調鎧、足軽鎧、刀、火縄銃	5	日光市立大沢小学校 7月18日	社会科の授業で使用

番号	資料名	数量	貸し付け先	備考
			貸し付け期間	
14	十二単一式、復古調鎧、足軽鎧、刀、火縄銃	6	日光市豊岡公民館	たのしい！キッズセミナーで使用
			8月21日	
15	貫頭衣、古代衣装、狩衣一式、水干、直垂	5	栃木県立大田原高等学校	社会科の授業で使用
			8月28日～9月3日	
16	大鎧、当世具足、足軽鎧、太刀2点、箆、鏑矢、弓、火縄銃	9	宇都宮市立宝木小学校	社会科の授業で使用
			9月4日	
17	大鎧、太刀、弓、鏑矢、箆	5	栃木県立小山城南高等学校	文化祭展示で使用
			9月5日～9月8日	
18	古生代の化石標本ケース、中生代の化石標本ケース、新生代の化石標本ケース、木の葉化石標本ケース、カガミガイ、フズリナ化石を含む岩石2点、三葉虫標本4点、アンモナイト化石3点、恐竜の骨、恐竜の歯・爪化石標本ケース	16	栃木県立茂木高等学校	地学の授業で使用
			9月7日～9月21日	
19	昆虫模型(モンシロチョウ・トノサマバッタ・オニヤンマ)、アクリル封入標本20点、昆虫標本箱12点	35	下野市立国分寺東小学校	理科の授業で使用
			9月8日～9月22日	
20	十二単一式、狩衣一式、大鎧、当世具足、足軽鎧、刀、太刀、火縄銃、弓、矢、箆	11	日光市立安良沢小学校	社会科の授業で使用
			9月19日	
21	十二単一式、当世具足、大鎧、太刀、火縄銃、弓、矢、箆	8	高根沢町農村環境改善センター	とちぎ子どもの未来創造大学講座で使用
			9月21日	
22	栃木県のカブトムシとクワガタムシ、栃木県のチョウ2点、池の周りの昆虫、ゾウカブトの仲間、ヘラクレスオオカブトの仲間、アクリル封入標本20点	26	日光市立小林小学校	理科の授業で使用
			9月23日～10月6日	
23	十二単一式	1	栃木県立学悠館高等学校	日本文化史の授業で使用
			9月25日	
24	ツキノワグマ頭骨、ニホンカモシカ頭骨、ニホンザル頭骨	3	宇都宮市立陽西中学校	理科の授業で使用
			10月1日～10月11日	
25	十二単一式、当世具足、足軽鎧2点、太刀、火縄銃	6	大田原市那須与一伝承館	企画展関連行事で使用
			10月5日	
26	十二単一式、当世具足、大鎧、太刀、火縄銃、弓、矢、箆	8	矢板市郷土資料館	とちぎ子どもの未来創造大学講座で使用
			10月27日	

番号	資料名	数量	貸し付け先	備考
			貸し付け期間	
27	化石割り用具一式	1	下野市立吉田東小学校 11月2日	学校行事で使用
28	十二単一式、当世具足、大鎧、太刀、火縄銃、弓、矢、籠	8	栃木市大平隣保館 11月9日	とちぎ子どもの未来創造大学講座で使用
29	鉱石セット、化石セット	2	下野市立国分寺東小学校 11月10日～11月24日	理科の授業で使用
30	十二単一式、狩衣一式、束帯一式	3	さくら市ミュージアム 11月23日	企画展開連行事で使用
31	自然銅、黄銅鉱、黄鉄鉱、赤鉄鉱、磁鉄鉱、縞状鉄鋼、閃亜鉛鉱、方鉛鉱、石炭	9	宇都宮市立宝木小学校 11月26日～12月10日	総合的な学習ならびに社会科の授業で使用
32	石臼、火起こし器、火打石、たらい、手押しポンプ、天秤棒、水桶、洗濯板、藁ぐつ、胴蓑、菅笠、吊りランプ、蓄音機、釜、黒電話、デルビル磁石式電話機、糸車、もっこ	18	下野市立石橋小学校 12月6日	社会科の授業で使用
33	化石割り用具一式	1	宇都宮市立豊郷北小学校 12月7日	学校行事で使用
34	蓄音機、レコード、テープレコーダー、釜、電気炊飯器、デルビル磁石式電話機、黒電話、火鉢、湯たんぼ、提灯、吊りランプ、蛇の目傘、胴蓑、菅笠、藁ぐつ、石臼、薬研、天秤棒、水桶、手押しポンプ、たらい、洗濯板	22	宇都宮市立陽光小学校 12月7日	社会科の授業で使用
35	洗濯板、こて、湯たんぼ(金属製・陶製)、たらい、石臼、天秤棒、棹秤、藁ぐつ、わらじ、ぞうり、胴蓑、菅笠、蛇の目傘、提灯、黒電話、薬研、枡、吊りランプ、水桶、手押しポンプ、豆炭あんか、もっこ、蓄音機、釜、電気炊飯器、デルビル磁石式電話	27	茂木町立茂木小学校 12月13日	社会科の授業で使用
36	蓄音機、レコード、テープレコーダー、釜、電気炊飯器、デルビル磁石式電話機、黒電話、胴蓑、藁ぐつ、石臼、天秤棒、水桶、たらい、洗濯板	14	下野市立祇園小学校 12月19日	社会科の授業で使用
37	蓄音機、レコード、テープレコーダー、ラジカセ、石臼、薬研、水桶、天秤棒、手押しポンプ、吊りランプ、お釜、電気炊飯器、デルビル磁石式電話機、黒電話、蛇の目傘、菅笠、蓑、藁ぐつ	19	宇都宮市立築瀬小学校 1月16日	社会科の授業で使用

番号	資料名	数量	貸し付け先	備考
			貸し付け期間	
38	蓄音機、レコード、テープレコーダー、水筒、天秤棒、手押しポンプ、吊りランプ、釜、電気炊飯器、提灯、火おこし器、蛇の目傘、菅笠、胴蓑、藁ぐつ	15	宇都宮市立御幸小学校 1月17日	社会科の授業で使用
39	水筒、天秤棒、蓄音機、手押しポンプ、豆炭あんか、釜、あしなか、たらい、石臼、番傘、洗濯板、藁ぐつ、蛇の目傘、湯たんぼ、草履、胴蓑、菅笠、提灯	18	宇都宮市立瑞穂台小学校 1月23日	社会科の授業で使用
40	釜、電気炊飯器、湯たんぼ、豆炭あんか、こて、提灯、吊りランプ、蛇の目傘、蓄音機、レコードラジカセ、天秤棒、手押しポンプ、たらい、洗濯板、薬研	15	宇都宮市立泉ヶ丘小学校 1月28日	社会科の授業で使用
41	十二単一式、束帯一式、大鎧	3	日光市立今市第三小学校 1月28日～1月31日	社会科の授業で使用
42	十二単一式、狩衣一式	2	宇都宮市立宝木小学校 1月30日～2月6日	社会科の授業で使用
43	十二単一式、束帯一式、大鎧	3	鹿沼市立上南摩小学校 2月1日～2月8日	社会科の授業で使用
44	石臼、薬研、テープレコーダー、手押しポンプ、洗濯板、たらい、水筒、天秤棒、蓄音機、胴蓑、藁ぐつ、草鞋、草履	13	栃木市立大宮南小学校 2月4日	社会科の授業で使用
45	石臼、薬研、手押しポンプ、水筒、天秤棒、釜、電気炊飯器、デルビル磁石式電話、黒電話、提灯、吊りランプ、蓄音機、洗濯板、たらい、胴蓑、藁ぐつ、草履、草鞋、炭火アイロン、湯たんぼ、豆炭あんか、わらたたき	22	下野市立薬師寺小学校 2月5日	社会科の授業で使用
46	石臼、薬研、手押しポンプ、水筒、天秤棒、釜、デルビル磁石式電話、黒電話、提灯、吊りランプ、蓄音機、洗濯板、たらい、胴蓑、藁ぐつ、草履、草鞋、もっこ	18	宇都宮市立上河内西小学校 2月6日	社会科の授業で使用
47	十二単一式	1	和装文化伝承会 2月8日～3月1日	イベントで使用
48	石臼、薬研、天秤棒、水筒、手押しポンプ、提灯、釜、電気炊飯器、藁ぐつ、胴蓑、菅笠、蛇の目傘、湯たんぼ、吊りランプ	14	宇都宮市立姿川第一小学校 2月13日	社会科の授業で使用
49	蓄音機、レコード、テープレコーダー、石臼、水筒、天秤棒、手押しポンプ、吊りランプ、デルビル磁石式電話、黒電話、釜、洗濯板、たらい、提灯、番傘、蛇の目傘、菅笠、胴蓑、藁ぐつ、草履、湯たんぼ、豆炭あんか	22	宇都宮市立陽東小学校 2月14日	社会科の授業で使用

番号	資 料 名	数量	貸し付け先	備 考	
			貸し付け期間		
50	釜、電気炊飯器、デルビル磁石式電話、黒電話、火鉢、湯たんぽ、提灯、吊りランプ、蛇の目傘、胴蓑、菅笠、藁ぐつ、石臼、薬研、天秤棒、水桶、たらい、洗濯板	18	宇都宮市立姿川第二小学校	2月18日	社会科の授業で使用
51	石臼、薬研、火おこし器、たらい、手押しポンプ、天秤棒、水桶、洗濯板、藁ぐつ、胴蓑、菅笠、釜、蛇の目傘、蓄音機、黒電話、デルビル磁石式電話	16	宇都宮市立雀宮東小学校	2月19日	社会科の授業で使用
52	石臼、水桶、天秤棒、蓄音機、デルビル磁石式電話、黒電話、釜、電気炊飯器、豆炭あんか、こて	10	茂木町立逆川小学校	2月20日	社会科の授業で使用
53	石臼、薬研、手押しポンプ、水桶、天秤棒、蓄音機、デルビル磁石式電話、黒電話、釜、電気炊飯器、豆炭あんか、こて	12	日光市立下原小学校	2月21日	社会科の授業で使用
54	石臼、薬研、たらい、洗濯板、手押しポンプ、水桶、天秤棒、蓄音機、デルビル磁石式電話、黒電話、釜、電気炊飯器、豆炭あんか、こて、藁ぐつ、胴蓑、菅笠、蛇の目傘、ランプ、提灯	20	益子町立益子西小学校	2月27日	社会科の授業で使用

4 企画展

第123回企画展

「下野の鎌倉街道 一道を行き交う人と物」

4月27日(土)～6月16日(日)

古代以来、下野(現在の栃木県)は広大な東北地方への玄関口として重要な役割を担ってきた。このため、古代は都からの東山道が、また近世には江戸から日光への日光道中、宇都宮から奥州白河への奥州道中がそれぞれ下野を通っていた。そして、その狭間の中世にも鎌倉を起点とする鎌倉街道「奥大道」が下野を縦断するようにして東北へと伸びていた。

これまでは未知の部分が少なくなかった鎌倉街道「奥大道」だが、近年の発掘調査等によってその実態が徐々に明らかになりつつある。そこで今回の企画展では、最新の発掘成果等をもとに、奥大道を歩き来した人びとや運ばれた品々、そして沿道に暮らした人びとの生活などを紹介した。これを機に、知られざる奥大道の実像を理解していただくとともに、あらためて古くから交通の要地として繁栄をみせた栃木県への認識を深めていただくことを目指した。

展示構成

プロローグ 鎌倉街道の成立—源頼朝と奥州合戦—

第1章 鎌倉街道以前—古代の幹線道路・東山道—

第2章 鎌倉街道「奥大道」—鎌倉から奥州へ—

第3章 下野の「奥大道」—小山から那須へ—

第4章 下野の鎌倉街道—各地に広がる中世の道—

エピローグ 鎌倉街道の終焉

(担当 人文課:馬籠和哉・飯塚真史・中山真理)

第124回企画展

「キノコと地衣類～菌類って不思議!～」

7月13日(土)～9月23日(月)

この企画展では「キノコ」と「地衣類」を中心とする菌類について、その色々な種類や暮らしぶり、人との関わりについて紹介した。

第1章では、キノコと地衣類が担子菌類と子のう菌類の間であることを紹介した。担子菌類のニオウシメジ(キノコ)をフリーズドライして作製した大型の実物標本を展示した。第2章では、キノコと地衣類のふえ方や栄養のとり方を紹介した。サクラやウメの木によくはり付くウメノキゴケ(地衣類)が木に着生した状態のまま標本化した資料を展示した。第3章では、食材や薬として利用されているキノコや、希少なキノコについて紹介した。希少種のアカヒトデタケ(キノコ)を細部まで忠実に再現した拡大模型を展示した。第4章では、地衣類の見分け方や、食材や染料に利用されている地衣類を紹介した。食材として利用されるイワタケ(地衣類)を標本化した岩壁に着生している様子を再現した資料を展示した。合計で約250点の資料を展示した。

この展示を通じて、キノコと地衣類がおりなす不思議で魅力的な世界に関心を持っていただくことを目指した。

展示構成

第1章 菌類の世界へようこそ

1. 菌類とは
2. キノコってなに?
3. 藻類と共生した菌類・地衣類
4. カビ
5. 酵母

第2章 菌類の生き方

1. 菌類のふえ方
(1)キノコのふえ方
(2)地衣類のふえ方
2. キノコの栄養のとり方
(1)腐らせて栄養を得るキノコ…腐生菌
(2)植物と共に生きるキノコ…菌根菌
(3)虫や植物を殺して栄養を得るキノコ…寄生菌

第3章 人とキノコとのかかわり

1. 食材としてのキノコ
2. キノコの成分の利用
3. 毒キノコに注意!

第4章 地衣類

1. 地衣類の見分け方
2. 身近な地衣類
3. 深山の地衣類
4. 人と地衣類とのかかわり

(担当 自然課:坂井広人・山本航平)

第125回企画展・とちぎ版文化プログラム「リーディングプロジェクト事業」

「昭和ノスタルジー—なつかしい栃木の情景—」

10月12日(土)～11月24日(日)

30年以上続いた平成の時代の終わり、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を控えて、かつて急激な経済成長を経験し、生活スタイルや家族のあり方などが大きく変化した昭和の時代についての興味・関心が高まっている。

そこで本展では、大きく下記のテーマに分け、特に活気のあった昭和30～50年代を中心に、それぞれの場面の栃木の情景を振り返った。資料や写真、そして関連のさまざまな実演や体験を通して五感に訴えけるとともに、多角的に参加できる展示を目指した。

また、あわせて、生物学者としても知られる昭和天皇による、那須の植物や変形菌、さらに海産動物の御研究についても紹介した。

展示構成

- 第I章 まつり
- 第II章 暮らし
- 第III章 生業
- 第IV章 娯楽

主な展示資料

デコ(藁人形)、産着、布おむつ、電気炊飯器、花柄ホーロー鍋、麻の生産用具、ダッコちゃん：当館蔵

N360：本田技研工業株式会社蔵

白黒テレビ(日立 FY970)、電気洗濯機(EW-901)、ペンリイCL50、レジスター(KYOCERA KR-720)、国体炬火トーチ：那須塩原市那須野が原博物館蔵

絵看板、東京オリンピック聖火リレートーチ、東京オリンピック応援旗：個人蔵

スマレヒモホコリ(乾燥標本)、キセルカゴメウミヒドラ(液浸標本)、ナスヒオウギアヤメ(押し葉標本)：国立科学博物館蔵

(担当 人文課:宮田妙子・篠崎茂雄・石井和帆)

自然課:星直斗・林光武・坂井広人・南谷幸雄)

5 テーマ展など

(1)歴史部門

「戦時下沖縄の警察部長 荒井退造一辞令と写真からたどる足跡」

7月13日(土)～8月18日(日)

栃木県宇都宮市出身で、太平洋戦争末期の沖縄県に警察部長として赴任し、沖縄県民の県外疎開に尽力した荒井退造について、昨年度寄贈いただいた資料を基にその半生を紹介するとともに沖縄戦について紹介する展示を行った。退造が生きた時代のできごとを概観しつつ、写真資料を用いて当時の様子がイメージしやすくなるように努めた。

関連行事として、会期中に荒井退造関連DVD鑑賞会、展示解説及び学芸員とおき講座を行った。

(担当 人文課:大越惟弘・飯塚真史)

「中世下野の歴史物語の世界―「玉藻前草子」と幸若舞曲「信田」―

2月22日(土)～令和2年4月5日(日)

中世には、史実をもとに生み出された歴史物語が多く存在する。そのうち、下野に関係した歴史物語としては、「玉藻前草子」と幸若舞曲「信田」が挙げられる。

「玉藻前草子」は、南北朝時代頃に成立した那須野が原にいた妖狐を退治する物語である。この話は、御伽草子や謡曲「殺生石」のほか、江戸時代に入ると浄瑠璃や歌舞伎などでも取り上げられている。

室町時代頃に流行した曲舞の一つである幸若舞曲「信田」は、主人公信田が領地を押領した小山氏に復讐を遂げるという物語である。敵役の小山氏は平将門を倒した藤原秀郷の末裔小山氏をモデルにしていると考えられる。

本展では、二つの物語とその成立の背景等についても紹介した。

(2)民俗部門

「栃木の畑作―麻・麦・かんぴょう―

7月13日(土)～9月23日(月)

栃木県の中央部から東部に広がる台地には、畑や雑木林が見られ、畑では気候や土壌に適した作物が生産されている。

本展では、栃木県を代表する畑作物である麻、麦、かんぴょうに焦点をあて、機械化される以前の生産の様子や人々の知恵を生産用具や写真を通して紹介した。

(担当 人文課:石井和帆・篠崎茂雄・宮田妙子)

「おじいさんやおばあさんの子どものころの暮らし」

12月14日(土)～令和2年4月5日(日)

例年、同時期に実施している展示で、おおよそ昭和時代中頃までの暮らしの様子について、大きく「衣」「食」「住」「遊び」に分けて紹介した。主に、小学校3～4年生の学習や、当時を知る方々への回想法的支援を目指しているが、幅広い世代の興味・関心に資するよう、生活用具やおもちゃの体験コーナーを設ける。また、1～3月の毎週土曜日には、当館ボランティアによる体験補助と、語りべを招いた民話語りを実施している。

(担当 人文課:宮田妙子・篠崎茂雄)

「栃木の年中行事」

1月11日(土)～2月9日(日)

年中行事は、一年を通じて、同じ日に同じ方法で繰り返される習慣的な行事をいう。本展では、栃木県内で行われている年中行事のうち正月、盆、節句、十五夜など代表的なものを資料や写真を通して紹介した。

(担当 人文課:篠崎茂雄・宮田妙子・石井和帆)

(3)考古部門

「栃木の海と貝塚」

令和2年2月22日(土)～4月5日(日)

栃木県内の貝塚からの出土品を中心に展示した。シカ・イノシシの標本や現生貝、民具などと比較展示することで水辺で暮らす縄文人の生活を身近に感じてもらうことを目的とした。展示構成は以下のとおりである。

はじめに 貝と縄文人

第1章 栃木の主な貝塚

第2章 貝塚からわかる縄文人の狩猟・採集

第3章 水辺で暮らす縄文人

おわりに 縄文時代の気候変動

(担当 人文課:馬籠和哉・中山真理)

(4)美術工芸部門

「小泉斐にいたる道一下野の画人を育てた近江商人 島崎雲圃」

8月24日(土)～9月23日(月)

下野国を代表する画家小泉斐の師・島崎雲圃の作品と、雲圃の師である高田敬輔、さらに雲圃の兄弟弟子となる

森東敬や高田敬徳の作品を特集展示し、敬輔から雲圃、そして斐にいたるまでの絵画の道筋を紹介した。

関連行事として、会期中に展示解説を行った。

(担当 人文課:深沢麻亜沙・久野華歩)

「名所絵—旅する絵画—」

1月11日(土)～2月9日(日)

名所とは、吉野は桜、龍田は紅葉というように、和歌に繰り返し詠まれることによってイメージが固定化した特定の地名、つまり歌枕を意味する。歌枕の名所を絵画に表したものが名所絵である。平安時代の貴族文化に端を発した名所絵は、時代が降るにつれ、和歌の世界だけでなく名所の地に関わるさまざまな物語や信仰と響きあい、そして旅への憧れを投影させながら、豊かに育まれた。本展では、館蔵品を中心に「近江」「富士」「寺社参詣」「東海道五拾三次」をキーワードとして名所絵を特集陳列し、代表的な主題や歴史的展開を紹介した。

関連行事として、会期中に学芸員とおき講座及び展示解説を行った。

(担当 人文課:久野華歩・深沢麻亜沙)

(5) 自然一般

「冬虫夏草—虫から生える不思議なキノコ—」

7月13日(土)～9月23日(月)

昆虫などに寄生して生えるキノコの仲間である冬虫夏草について、様々な種と生態を紹介することを目的とした。冬虫夏草の生態的・形態的特徴や発生環境を解説し、82種の冬虫夏草と6種の関連するキノコ類を標本と写真で解説した。また、冬虫夏草の薬用・農業利用についても、販売風景の写真や農業資材を用いて紹介した。さらに、県内に生育する種を概説し、県内分布種の8割に相当する40種の標本を展示に加えることで、調査研究の成果を公表した。

(担当 自然課:山本航平・坂井広人)

「昭和天皇の生物学御研究」

11月26日(火)～1月19日(日)

栃木県は那須御用邸を有し、皇室とのゆかりが深く、昭和天皇が百回以上来訪されている。ご幼少の頃から生涯を通して生き物一般に広い関心と慈しみをお持ちだった昭和天皇が記録に残された変形菌、海産動物、植物について、標本、実際に使用された道具、著書、写真を通じて紹介した。

(担当 自然課:星直斗・林光武・坂井広人・南谷幸雄)

「あつまれ！自然好き—ポスター発表—」

2月1日(土)～3月1日(日)

「あつまれ！自然好き」は、展示室で行われるポスター発表と講堂で行われる口頭発表によって、栃木県内で自然観察や調査、自然環境の保全活動に取り組んでいる団体に、活動内容やその成果の発表の場を提供し、広く県民に自然を調べる楽しさや自然環境の大切さを知っていただくことを目的としている。口頭発表には9団体、ポ

スター発表には6団体が参加した。

(担当 自然課)

トピック展示「栃木県で見つかった新種の冬虫夏草」

2月15日(土)～令和2年6月21日(日)

宇都宮市内で行った調査で採集された冬虫夏草の一種について調査した結果、新種と判明した。本種を新種記載シクサイロコメツキムシタケと命名した論文が、2020年1月に国際学術誌「Mycoscience」に掲載された。身近な環境にも未発見の生物が生育していることや、当館の研究活動を多くの県民に知ってもらうために、新種を紹介する展示を行った。宇都宮市内で採集され、当館に収蔵された標本と写真に加え、論文が掲載された学術誌も展示した。

(担当 自然課:山本航平)

(6) 動物部門

「骨が語る動物の秘密」

3月14日(土)～令和2年9月22日(火)

栃木県の中型・大型の哺乳類から、当館で作製した骨格標本について、頭骨・歯・手足の骨などに焦点を当て紹介した。さらに、複数の組立て骨格を比較対照することにより、外観が大きく異なる動物でも、骨格には共通したパターンがあるを実感しやすいようにした。

(担当 自然課:浅羽宏・林光武)

6 ロビー展示

平成30年度より、1階エントランスホールや2階ロビーにおいて、主に教育広報課収蔵資料を用いた展示を行った。展示の対象年齢は、幼児から小学校低学年児童程度を想定している。

「いろいろな時代の衣装と道具」

4月12日(金)～6月2日(日)

2階ロビーにて縄文時代～古墳時代を代表する石器・土器・埴輪等を展示し、資料名の解説や使い方などをわかりやすく紹介した。また、1階エントランスホールには、古代から近世にかけてその時代を代表する衣装や鎧を展示し、時代の変遷に伴う衣装の変化を紹介した。

(担当 教育広報課)

「端午の節句—鎧—」

4月29日(月)～5月16日(木)

端午の節句に関わる鯉のぼり、鎧、金太郎人形等を展示し、端午の節句にこれらのものを飾る意味や人々の願いについて紹介した。

(担当 教育広報課)

「昆虫ってなあに」

6月4日(火)～7月2日(火)

主に栃木県内でみられる昆虫や大型の昆虫模型を展示した。昆虫の体のつくりや栃木県を代表するような昆虫

を紹介するなど、子どもたちが興味を持てるような内容とした。

(担当 教育広報課)

「古代の衣装―七夕編―」

7月2日(火)～8月18日(日)

七夕のはじまりや日本で古くから行われている七夕行事について紹介した。古代官吏衣装や竹に吊した七夕飾り等も合わせて展示し、博物館でやってみよう「七夕飾りをつくろう」との関連性をもたせた。

(担当 教育広報課)

「宇都宮と百人一首」

7月2日(火)～8月31日(土)

百人一首の誕生に蓮生(宇都宮頼綱)が関わっていたことを掲示資料で紹介した。また、自由に百人一首カルタで遊べるコーナーを設置し、子どもたちが百人一首に親しめるような工夫をした。

(担当 教育広報課)

「スロープ展示の仲間をしようかい」

8月31日(土)～9月29日(日)

スロープ展示室に展示されているほ乳類5種について、全身の毛皮や頭骨等を展示し、その生態について特徴的なことがらを紹介した。

(担当 教育広報課)

「大地のつくりと変化」

10月1日(火)～12月1日(日)

教育広報課事業「来て！見て！学ぼう博物館！」の一部として、小学6年生理科学習「大地のつくりと変化」に対応した展示を行った。古生代から新生代にかけてみられる代表的な化石や栃木県内で見られる化石を紹介した。

(担当 教育広報課)

「昔の道具とくらし」

12月3日(火)～2月16日(日)

テーマ展「おじいさんやおばあさんの子どものころの暮らし」の予告編として、小学3年生社会科の教科書等でも紹介されている昔の道具を展示した。観覧者に疑問を投げかけ、考えてもらうことでテーマ展に対する興味関心を高めてもらうことをねらいとした。

(担当 教育広報課)

「おじいさんやおばあさんの子どものころの暮らし―戦時中編―」

12月3日(火)～2月2日(日)

テーマ展「おじいさんやおばあさんの子どものころの暮らし」と平行した展示とし、特に戦時中に使われていた道具類に焦点を絞って紹介した。

(担当 教育広報課)

「身のまわりの石たち」

2月4日(火)～3月5日(木)

金・銀・銅・ポーキサイトなど、身の回りの生活の中で活用されている鉱物を数多く並べて展示した。鉱物の近くに写真資料も設置し、鉱物の活用方法を紹介した。

(担当 教育広報課)

「みやびな衣装―ひなまつり―」

2月18日(火)～3月5日(木)

ひなまつりと平安装束に焦点を当て、十二単と束帯を展示し、ひな人形の元になった衣装として紹介した。また、ひなまつりの代表的な遊びである貝あわせについて、体験できるコーナーを設置して紹介した。

(担当 教育広報課)

7 各種連携事業

7-1 市町連携事業

博物館が提示したメニューに基づく「地域移動博物館」、「移動講座」、「博物館へ行こう」のほか、市町担当者と協議して開催する「共催展」がある。これらは、前年度に開催が決定し、年間催し物案内で示される事業である。

(1) 地域移動博物館

当館の収蔵資料を利用し、各市町の展示施設で行うテーマ展示である。

―人文課―

○中世陶磁器の世界―矢板の中世と県博陶磁器コレクション―

会期：9月21日(土)～11月4日(日)

会場：矢板市立郷土資料館

発掘された矢板市内の中世城郭(川崎城・御前原城)からの出土品と当館の中世陶磁器コレクションを中心に展示した。展示構成は以下のとおりである。

プロローグ ともなりくんの時代

第1部 発掘された矢板の城

第2部 中世陶磁器の世界

エピローグ 描かれた矢板の中世

(担当 人文課：馬籠和哉・中山真理)

―自然課―

○13匹のカエルと5匹のサンショウウオ

会期：4月27日(土)～6月30日(日)

会場：那須塩原市那須野が原博物館

栃木県産のカエル類13種、イモリ・サンショウウオ類5種の形態や生態の特徴、生息環境、栃木県内の分布状況などを紹介した。特にカエル類やイモリ・サンショウウオ類のエサとなる動物、捕食者となる動物の展示を通して、生態系の中で両生類が占める位置の重要性を示した。

また、音声と画像を用いた展示装置を用い、カエルの鳴き声の多様性も紹介した。さらに、骨と軟骨を染色した透明標本を展示し、カエル類とイモリ・サンショウウオ類の

骨格や発生の特徴などを解説した。

(担当 自然課:林光武)

○貝をしてみるかい！～美しき貝の世界～

会期: 7月20日(土)～9月1日(日)

会場: 益子町中央公民館

貝は、昆虫に次いで種数が多い動物群であり、その形や暮らしぶりは多様である。貝の多様性を知り、身近な貝について興味関心を高めるため、国内・外国産の様々な分類群の海・淡水・陸産貝や、益子町・栃木県の貝、人間生活に密着した貝を展示した。

(担当 自然課:南谷幸雄・浅羽宏)

○みんなおいでよ！昆虫ワールド！

会期: 7月20日(土)～9月1日(日)

会場: 佐野市郷土博物館

世界、日本、栃木といった地域ごとの昆虫の展示を行った。また、佐野市とゆかりが深いリョウモウナガゴミムシなどをトピックとして取り上げて展示をした。

さらに、近年モモやサクラなどを枯らし、深刻な被害を与えている特定外来生物クビアカツヤカミキリについて詳しく解説した。

(担当 自然課:栗原隆・鈴木信也)

○恐竜

会期: 7月20日(土)～9月1日(日)

会場: 小山市立博物館

多数の実物標本を含む恐竜化石を展示すると共に、恐竜の系統や進化についても解説した。

(担当 自然課:河野重範・薄井香淑)

○鉱物の宝箱～きらめく Stone Museum～

会期: 7月27日(土)～9月1日(日)

会場: さくら市ミュージアム—荒井寛方記念館—

入門者から愛好家まで幅広く楽しむことができる鉱物を紹介した。章ごとに、「鉱物ってなんだろう?」「鉱物の色・形・特徴」「いろいろな鉱物」「鉱物の利用」「とちぎの鉱物」に分けて展示を行った。

(担当 自然課:吉田貴洋・薄井香淑)

—教育広報課—

○ザ・博物館

会期: 7月6日(土)～8月25日(日)

会場: 高根沢町歴史民俗資料館

化石や岩石・鉱物、昆虫、脊椎動物、歴史衣装や埴輪など幅広い分野の資料を一挙に公開した。

(担当 教育広報課: 柏村勇二・中村智治・辻泰臣)

○掘れば出てくる化石と温泉

会期: 8月31日(土)～11月4日(月)

会場: 那須歴史探訪館

地面の下には何があるのかについて、化石と温泉を中心に紹介した。化石は会場館に収蔵されている那須町産

のものを活用した。那須地区の温泉の成因や泉質についても紹介した。

(担当 教育広報課: 柏村勇二)

(2) 移動講座

各市町の資料館などを会場とし、学芸員を派遣して実施する講座である。

—人文課—

○宮の原地域コミュニティセンター「いきいきセミナー」

会場: 宮の原地域コミュニティセンター

①「祝新元号 皇室の歴史を学ぶ」～皇室と元号の歴史を学ぶ～

期日: 5月15日(水)

参加者: 59名

皇室の歴史と元号についての様々な知識、また江戸時代以降の改元の手続きについて、資料画像や古文書の記述などを用いて解説した。

②「祝新元号 皇室の歴史を学ぶ」～栃木県と皇室の関わり～

期日: 6月19日(水)

参加者: 47名

那須御用邸や御料牧場をはじめとする栃木県と皇室の近世以降の関わりについて、資料画像や記録写真などを用いて解説した。

③「明治を駆け抜けた もう一人のいだけん」—三島通庸の構想力・実行力—

期日: 9月18日(水)

参加者: 45名

栃木県の第3代県令三島通庸について、昨年大河ドラマを手がかりにその人物像や業績について紹介した。

(担当 人文課: 大越惟弘)

○栃木市 とちぎ文化講座

「下野国から栃木県へ—栃木県を形作った人々—」

期日: 11月14日(木)

会場: 栃木文化会館

参加者: 45名

戊辰戦争と明治維新後、歴代の知県事(県令)を中心に栃木県の成立と発展の歴史について、その流れと特徴的なできごとについて資料画像などを用いて解説した。

(担当 人文課: 大越惟弘)

○烏帽子をつくろう

期日: 10月19日(土)

会場: 道の駅やいた

参加者: 18名

地域移動博物館「中世陶磁器の世界—矢板の中世と県博陶磁器コレクション—」に関連して、下古館遺跡出土の烏帽子レプリカを模造紙で作成した。

(担当 人文課: 馬籠和哉・中山真理)

○ジオパーク構想教室⑮ 縄文時代のくらし・まつり

期日: 11月16日(土)

会場:那須烏山市南那須庁舎

参加者:16名

石膏を使った土偶のミニチュアレプリカ作りと土器片の拓本をとり、しおりを作るワークショップ。県内出土の土偶・土器の実物観察と3D計測によるレプリカ作成についての解説も行った。

(担当 人文課:馬籠和哉・中山真理)

○宇都宮市「シニアセミナー南悠塾」第2回

「中世東国武士の祖 藤原秀郷 一武士のルーツは下野にあり!」

期日:11月14日(木)10:00~12:00

会場:宇都宮市南生涯学習センター

参加者:47名

下野ゆかりの人物で中世東国武士の祖とされる藤原秀郷について、史実と伝説の両側面からアプローチを行い、その実像に迫った。

(担当 人文課:山本享史)

—自然課—

○自然観察のここがおもしろい〜記録するとわかること〜

期日:4月28日(日)

会場:那須塩原市那須野が原博物館

参加者:16名

野外調査で記録をとる意義、記録する方法、とった記録からわかることなどを、具体例を紹介しながら解説した。

(担当 自然課:林光武)

○芳賀町の自然と消えゆく植物

期日:6月2日(日)

会場:芳賀町総合情報館

参加者:28名

芳賀町の過去と現在の植生を比較することによって、町内ではどんな植物が減少したのかを解説した。また、芳賀町出身の植物研究者・関本平八が採集した芳賀町産の植物標本、関本と自然との関わりについても紹介した。

(担当 自然課:星直斗)

○宇都宮再発見!(たまには理系講座)自然の魅力をさぐる「宇都宮の大地」

期日:6月21日(金)

会場:宇都宮市西生涯学習センター

参加者:15名

宇都宮の位置する県央の大地の生い立ちについて、化石資料を用いて解説した。また、レッドデータブックとちぎ2018で選定された県内の保護上注目すべき地形・地質についても解説した。

(担当 自然課:河野重範)

○宇都宮再発見!(たまには理系講座)自然の魅力をさぐる

「レッドデータブックとちぎ2018」の植物

期日:7月19日(金)

会場:宇都宮市西生涯学習センター

参加者:20名

宇都宮市で特徴的に見られる植物について解説し、どんな種類が減少しているかを、レッドデータブックとちぎ2018の内容、作成過程と共に紹介した。また、一人一人が自然の変化に目を向けることの大切さについて解説した。

(担当 自然課:星直斗)

○親子でつくる素敵なアンモナイトレプリカ作り

期日:7月28日(日)

会場:小山市立博物館

参加者:29名

ジュラ紀の実物アンモナイト化石を用いて、精密なアンモナイトのレプリカを作製した。また、この時代の代表的な古生物について、クイズ形式で解説を行った。

(担当 自然課:河野重範・薄井香淑)

○火山灰は宝石箱

期日:7月31日(水)

会場:足利市富田公民館

参加者:17名

火山灰に入っている鉱物を洗い出して観察し、火山灰と火山の噴火について解説した。さらに、火山による恩恵や災害についても解説した。

(担当 自然課:吉田貴洋・薄井香淑)

○昆虫標本を作ってみよう!

期日:8月3日(土)

会場:佐野市郷土博物館

参加者:22名

栃木県南部でモモやサクラの木を枯らす被害を与えているクビアカツヤカミキリについて、生態や栃木県での被害状況等の解説を行った。

続いてクビアカツヤカミキリを知ってもらえるよう、このカミキリの標本づくりを行った。さらに、標本づくりをおして昆虫の体の仕組みを学べるよう、カブトムシやコガネムシなどを用いて脚の動く範囲や翅の開き方を観察し、適宜、解説を行った。

(担当 自然課:栗原隆・鈴木信也)

○夏休み企画!虫博士になろう!〜標本づくり体験〜

期日:8月6日(火)

会場:栃木市大宮公民館

参加者:12名

栃木県南部でモモやサクラの木を枯らす被害を与えているクビアカツヤカミキリについて、生態や栃木県での被害状況等の解説を行った。

続いてクビアカツヤカミキリを知ってもらえるよう、このカミキリの標本づくりを行った。さらに、標本づくりをおして昆虫の体の仕組みを学べるよう、カブトムシやコガネムシなどを用いて脚の動く範囲や翅の開き方を観察し、適

宜、解説を行った。

(担当 自然課:栗原隆・鈴木信也)

○火山灰は宝石箱

期日: 8月4日(日)

会場:さくら市ミュージアム—荒井寛方記念館—

参加者:34名

火山灰に入っている鉱物を洗い出して観察し、火山灰と火山の噴火について解説した。さらに、火山による恩恵や災害についても解説した。

(担当 自然課:吉田貴洋・薄井香淑)

○火山灰は宝石箱

期日: 8月9日(金)

会場:宇都宮市立南図書館

参加者:46名

火山灰に入っている鉱物を洗い出して観察し、火山灰と火山の噴火について解説した。さらに、火山による恩恵や災害についても解説した。

(担当 自然課:吉田貴洋・薄井香淑・浅羽宏)

○武茂川の歴史を探ろう

期日: 8月21日(水)

会場:那珂川町なす風土記の丘資料館他

参加者:13名

古代より砂金の採取が行われてきた那珂川町内を流れる武茂川で、実際に砂金の採取体験を行った。

(担当 自然課:吉田貴洋・河野重範)

○宇都宮再発見! (たまには理系講座) 自然の魅力をさぐる「レッドデータブックとちぎ 2018」の動物

期日: 8月23日(金)

会場:宇都宮市西生涯学習センター

参加者:15名

レッドデータブックとちぎ 2018 に掲載されている昆虫について、どのように選んだか、どういった特徴があるか等の概説を行った。

つづいて、昆虫の絶滅危惧種はそれぞれの昆虫が生活する環境ごとに減少の傾向やその理由が類似するため、環境ごとに絶滅危惧種の解説を行った。取り上げる種類は、できる限り宇都宮市に生息するものを選定し、解説を行った。

(担当 自然課:栗原隆)

○しおやサマースクール「昆虫について」

期日: 8月24日(土)

会場:鬼怒川河川敷及び大宮コミュニティセンター

参加者:8名

前半は鬼怒川河川敷でバッタやチョウなどの昆虫採集を行った。

後半は採集した昆虫を大宮コミュニティセンターに持ち帰り、それぞれ気に入った昆虫をスケッチして、昆虫の体の仕組みなどを学んだ。最後にそれぞれが採集し

た昆虫をリストアップし、みんなでどんな昆虫が見つかったかを共有した。

(担当 自然課:栗原隆・鈴木信也)

○栃木県内に見られるコウホネ類について

期日: 8月24日(土)

会場:那須烏山市南那須公民館

参加者:15名

栃木県内に見られる3種類のコウホネ属植物(コウホネ・シモツケコウホネ・ナガレコウホネ)について、写真や図、実物標本などを用いて、その形態的な特徴や県内における最新の分布、保全について紹介した。

(担当 自然課:星直斗)

○宇都宮再発見! (たまには理系講座) 自然の魅力をさぐる 絶滅しそうな生き物とのつきあい方

期日: 9月20日(金)

会場:宇都宮市西生涯学習センター

参加者:12名

栃木県版レッドデータブックに掲載されている動物を紹介し、宇都宮市の自然環境の特徴、生物多様性とは何か、生物多様性が失われつつある現状とその理由について概説した。さらに、宇都宮市の戸祭山緑地で行われているトウキョウサンショウウオの保全活動を例に、絶滅危惧種の保全対策を実施する際に気を付けなければいけないことを具体的に説明した。

(担当 自然課:林光武)

○レッドデータブックとちぎ 2018~将来に残したい昆虫~

期日:11月17日(日)

会場:大田原市ふれあいの丘自然観察館

参加者:14名

レッドデータブックとちぎ 2018 に掲載されている昆虫について、どのように選んだか、どういった特徴があるか等の概説を行った。

続いて、昆虫の絶滅危惧種はそれぞれの昆虫が生活する環境ごとに減少の傾向やその理由が類似するため、環境ごとに絶滅危惧種の解説を行った。取り上げる種類は、できる限り大田原市から記録があるものを選ぶように心がけた。

(担当 自然課:栗原隆)

○宇都宮市サンショウウオ保全活動体験教室

宇都宮市の天然記念物に指定されているトウキョウサンショウウオを通して、身近な水辺環境について学び、希少種の保全活動を实地に体験する講座をグリーントラストうつのみやと共同で開催した。内容は以下のとおり。

①アメリカザリガニ捕り

期日:10月19日(土)

会場:宇都宮市戸祭山緑地

雨天中止

②サンショウウオ保全活動説明会

期日:12月8日(日)

会場:宇都宮市役所

参加者:45名

宇都宮市戸祭山緑地に生息するトウキョウサンショウウオの生態について説明し、そこで行われている保全活動とその効果について解説した。

③トウキョウサンショウウオ救出作戦

期日:3月21日(土)

会場:宇都宮市戸祭山緑地

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(担当 自然課:林光武)

○ジオパーク構想教室⑩ジオパークの先例に学ぶ:おおいた豊後大野ジオパーク

期日:1月18日(土)

会場:那須烏山市南那須公民館

参加者:8名

那須烏山ジオパーク構想への市民の理解を深めるために、おおいた豊後大野を一例として取り上げ、見どころだけでなく、ジオパークの運営体制やガイドの養成、拠点施設などについて解説した。

(担当 自然課:河野重範)

—教育広報課—

○一日学芸員体験

期日:7月28日(日)、8月4日(日)

会場:高根沢町歴史民俗資料館

参加者:6名、9名

博物館と学芸員の仕事について紹介し、体験活動を行った。

(担当 教育広報課:中村智治)

○掘れば出てくる化石と温泉—木の葉石編—

期日:9月14日(土)

会場:那須町歴史探訪館

参加者:22名

化石レプリカ作りと木の葉石原石からの化石取り出しを行ったほか、化石に関する講義を行った。

(担当 教育広報課:柏村勇二)

○掘れば出てくる化石と温泉—化石発掘隊編—

期日:9月21日(土)

会場:那須町稲沢(野外)、那須町歴史探訪館

荒天のため中止

(担当 教育広報課:柏村勇二)

○掘れば出てくる化石と温泉—木の葉石編—

期日:10月5日(土)

会場:ホテルブランヴェール那須

荒天のため中止

(担当 教育広報課:柏村勇二)

(3)博物館へ行こう

市町が用意した輸送手段により博物館に来館し、市町の希望に応じて、解説付き見学メニューや体験学習等を提供する事業である。

○那須烏山市

期日:8月4日(日)

会場:栃木県立博物館

参加者:29名

常設展示室での展示解説、化石のレプリカづくりを行った。

(担当 自然課:河野重範)

○下野市

期日:8月7日(水)

会場:栃木県立博物館

参加者:26名

化石レプリカ作りと木の葉石原石からの化石取り出しを行ったほか、化石に関する講義を行った。

(担当 教育広報課:柏村勇二)

○高根沢町

期日:7月30日(木)、8月21日(水)

会場:栃木県立博物館

参加者:47名

企画展の展示解説、バックヤードツアー、学芸員の仕事についての解説を行った。

(担当 教育広報課:中村智治・辻泰臣)

(4)共催展

各市町の展示施設が企画した展示に、当館の収蔵資料の提供と担当学芸員の学術協力を合わせたものである。

—自然課—

○うつのみやの自然パネル展

会期:6月4日(火)~7月17日(水)

会場:宇都宮市立東図書館・宇都宮市立中央図書館・宇都宮市役所・宇都宮市立南図書館

「うつのみや生きものつながりプラン」に基づき、生物多様性に関する理解向上や周知啓発を目的とした展示である。当館は関連した動植物の標本、生態写真、解説文を提供した。

(担当 自然課:南谷幸雄・林光武・星直斗・栗原隆)

(5)出前講座

市町の施設や各種団体からの依頼を受け、博物館職員が出向いて実施する講座である。年度途中での依頼が多く、年間催し物案内には掲載されない。

—人文課—

○栃木の妖怪

期日:8月17日(土)

会場:宇都宮市立南図書館

参加者:55名
栃木に伝わる妖怪を中心に、日本の妖怪を比較紹介するとともに、妖怪とはどのようなものなのかなど、民俗学的な解釈を加えた。

(担当 人文課:宮田妙子)

○シルバー大学「栃木弁 ばんざい」

シルバー大学校の一講座として、栃木県の方言について解説した。

①期日:1月14日(火)

会場:シルバー大学校中央校

参加者:156名

②期日:1月30日(木)

会場:シルバー大学校南校

参加者:120名

③期日:2月5日(水)

会場:シルバー大学校北校

参加者:83名

(担当 人文課:篠崎茂雄)

○特別講座県内コース「日本列島の成り立ちと自然災害」・「君も一日考古学者」

期日:1月11日(土)

会場:栃木県立博物館研修室

参加者:20名

令和元(2019)年度のとちぎ子どもの未来創造大学で、4単位以上取得した児童生徒を対象とした特別講座である。午前は「日本列島の成り立ちと自然災害」と題して、日本列島の形成と自然災害の関係について映像資料やモデル実験を通して概説した。午後の「拓本しおりと土偶オーナメントづくり」では、本物の土器に触れながら観察して、「拓本」とったほか烏帽子を製作した。

(担当 教育広報課:柏村勇二

人文課:馬籠和哉・中山真理)

— 自然課 —

○宇都宮市北生涯学習センター 親子自然探検隊

会場:宇都宮市戸祭山緑地

①カブトムシの幼虫を探して育てよう

期日:4月27日(土)

参加者:35名

宇都宮市戸祭山緑地を一周して、戸祭山緑地の自然環境を知るとともに、カブトムシの幼虫を採集し、飼い方を解説した。

②アメリカザリガニ釣りや池の生きもの

期日:6月15日(土)

参加者:35名

戸祭山のトウキョウサンショウウオを保全するため、外来種アメリカザリガニを釣って駆除した。

③ミズってどんな生きもの? ~土の中の生きものを探そう~

期日:9月21日(土)

参加者:36名

戸祭山の森の中で、ザトウムシやダンゴムシ、ミミズ探しを行い、土壌動物やその暮らし・働きについて解説した。

④カブトムシの寝床をつくろう

期日:1月18日(土)

参加者:27名

雑木林の維持管理作業として、落ち葉かきを体験し、カブトムシの幼虫の寝床になる落ち葉だまりを作った。冬越しする生きものを紹介し、一年を通じた生きものの変化を紹介した。

(担当 自然課:南谷幸雄)

○こどもエコクラブ「みずほの自然探検隊」

期日:8月25日(日)

会場:宇都宮市西刑部町 瑞穂野の里山

参加者:10名

倒木の下での土壌動物さがしや、25cm以内の土壌動物探しを行った。また、デジタルマイクロスコープを用いてトビムシやムカデなどを拡大し、その形や動き方を観察した。

(担当 自然課:南谷幸雄)

○第10回生物多様性連続講演会「消えゆく生きものたち レッドデータブックとちぎ 2018(土壌動物)」

期日:10月26日(土)

会場:宇都宮市環境学習センター

参加者:18名

レッドデータブックとちぎ 2018 に掲載されている土壌動物、貝類、甲殻類を紹介した。また、ミスジマイマイなどの生体や外来種マダラコウラナメクジなどの標本を観察した。

(担当 自然課:南谷幸雄)

○日光パークボランティア研修会「日光植物園内の地衣類の観察会」

期日:11月23日(土)

会場:日光植物園

参加者:44名

日光パークボランティア活動に必要な知識や技術を習得するために、日光植物園内に生育する地衣類の観察を行い、地衣類の生態について解説した。

(担当 自然課:坂井広人)

○「え!これも生きもの!? 地衣類ってなあに」

期日:2月22日(土)

会場:栃木県子ども総合科学館

参加者:13名

子ども達の環境への興味関心を喚起し、さらに環境保全意識の醸成のために、栃木県子ども総合科学館の周辺に生育する地衣類の観察を行い、地衣類の生態について解説した。

(担当 自然課:坂井広人)

○シルバー大学「とちぎの大地と自然」

(担当 教育広報課:柏村勇二)

シルバー大学校の一講座として、栃木県の大地の成り立ちと、栃木県の自然について解説した。

①期日:11月14日(木)

会場:シルバー大学校中央校

参加者:28名

②期日:11月27日(水)

会場:シルバー大学校中央校

参加者:32名

③期日:11月29日(金)

会場:シルバー大学校南校

参加者:25名

④期日:1月28日(火)

会場:シルバー大学校北校

参加者:24名

(担当 自然課:坂井広人・河野重範・
南谷幸雄・吉田貴洋)

○芳賀町総合情報館恐竜教室「恐竜のひみつ」

期日:7月20日(土)

会場:芳賀町総合情報館

参加者:38名

恐竜の体つきや生活の仕方など、その特徴について概説した。レプリカ作りも行った。

(担当 教育広報課:柏村勇二)

○芳賀町総合情報館恐竜教室「化石のひみつ」

期日:8月4日(日)

会場:芳賀町総合情報館

参加者:42名

地層や化石についての講義、原石からの化石取り出し体験を行った。

(担当 教育広報課:柏村勇二)

—教育広報課—

○恐竜教室

期日:4月20日(土)

会場:ホテルブランヴェール那須

参加者:48名

敷地内に展示されている恐竜を用いて、恐竜の生態や繁栄したわけなどを概説したほか、恐竜の爪や歯などの化石レプリカ作りを行った。

(担当 教育広報課:柏村勇二)

○松田川ダムふれあいフェスティバル「化石を探そう」

期日:5月26日(日)

会場:足利市松田川ダム公園

参加者:226名

足利市渡良瀬グリーンプラザ主催の「松田川ダムふれあいフェスティバル」でのワークショップとして、木の葉石原石からの化石取り出しを行った。

(担当 教育広報課:柏村勇二)

○化石ワークショップ「化石三昧」

期日:8月12日(月)

参加者:148名

期日:8月13日(火)

参加者:178名

期日:8月14日(水)

参加者:203名

期日:8月21日(水)

参加者:134名

期日:8月22日(木)

参加者:156名

期日:8月24日(土)

参加者:188名

会場:那須ハイランドパーク・ファクトランド

塩原湖成層や木の葉石の概説のほか、木の葉石原石からの化石取り出しと、レプリカ作りを行った。

(担当 教育広報課:柏村勇二)

○化石発掘隊～中級編～

期日:6月1日(土)

会場:那須塩原市金沢(野外)、那須野が原博物館

参加者:33名

午前中は、地層の観察と化石採取を実施した。化石採取は転石からの採取とした。午後は、観察した地層を中心に栃木県の地質について概説した後、採取した化石のクリーニングと同定を行った。

(担当 教育広報課:柏村勇二)

○化石発掘隊—市貝町編—

期日:9月28日(土)

会場:市貝町塩田(野外)、市貝町歴史民俗資料館

参加者:16名

午前中は野外で地層の観察と化石採取を行った。午後からは地層と化石について概説した後、各自採取した化石のクリーニングと同定を行った。

(担当 教育広報課:柏村勇二)

○宇都宮市中央生涯学習センター親子学習会

期日:7月6日(土)

会場:宇都宮市中央生涯学習センター

参加者:65名

地層や化石についての講義、原石からの化石取り出し体験を行った。

○十二単と鎧の着付け体験

期日:10月5日(土)

会場:大田原市那須与一伝承館

参加者:61名

十二単や鎧の着付けを行いながら、衣装や鎧の変遷と当時の生活の様子や時代背景について説明した。

(担当 教育広報課:中村智治・荒川沙緒理)

○足利JAまつり「化石を探そう」

期日:11月10日(日)

会場:足利JA

参加者:362名

足利JAまつりでのワークショップとして、木の葉石原石からの化石取り出しを行った。

(担当 教育広報課:柏村勇二)

○平安貴族衣装の着付け体験

期日:11月23日(土)

会場:さくら市ミュージアム—荒井寛方記念館—

参加者:26名

衣装の特徴や時代背景、貴族の生活の様子について解説した後、十二単と狩衣の着付けを行った。

(担当 教育広報課:中村智治、細谷桂子)

○秋の緑化フェア「化石を探そう」

期日:11月24日(日)

会場:足利市松田川ダム公園

参加者:226名

足利市渡良瀬グリーンプラザ主催の「秋の緑化フェア」でのワークショップとして、木の葉石原石からの化石取り出しを行った。

(担当 教育広報課:柏村勇二)

(6)「高原山自然探検隊」

科学技術振興機構支援「地域科学館連携支援事業」の継続活動であり、高原山の自然総合学術調査の成果の地元への還元という意味も持つ事業である。NPO 法人星ふる学校くまの木との連携活動として、くまの木自然クラブの活動を支援した。

①田んぼの生きもの調べ

期日:4月20日(土)

会場:星降る学校くまの木

参加者:30名

(担当 自然課:林光武)

②化石探し

期日:11月3日(日)

会場:那須烏山市南大和久(野外)

参加者:36名

午前には地層の観察と化石採取を行い、午後は各自採取した化石のクリーニングと同定を行った。

(担当 教育広報課:柏村勇二)

③活動・研究発表会「あつまれ！自然好き」で発表

期日:2月23日(日)

会場:栃木県立博物館

参加者:1名

(新型コロナウイルス対策として代表者1名のみ参加)

(担当 自然課:栗原隆)

7-2 博学連携事業

小学校、中学校、高等学校の教育課程と関連した授業のほか、親子学習会や文化祭など学校行事への支援を行っている。また、教育委員会や教科部会等と連携した教員研修や職場体験を実施している。

(1) 出前授業

小中高等学校等において、主に児童・生徒を対象とした講座である。

—自然課—

○校庭の樹木の観察

期日:10月31日(木)

会場:栃木県立宇都宮高等学校

参加者:28名

校内に見られる様々な樹木の特徴について、主に生物の教科書の内容と関連させながら、野外と室内とで解説した。

(担当 自然課:星直斗)

○身近なコケ植物

①期日:12月10日(火)

会場:栃木県立壬生高等学校

参加者:31名

○身近な地衣類

①期日:5月17日(金)

会場:栃木県立壬生高等学校

参加者:42名

②期日:11月9日(土)

会場:栃木県立宇都宮高等学校

参加者:12名

③期日:1月14日(火)

会場:栃木県立栃木農業高等学校

参加者:30名

④期日:1月17日(金)

会場:栃木県立上三川高等学校

参加者:24名

⑤期日:2月25日(火)

会場:栃木県立矢板高等学校

参加者:10名

(担当 自然課:坂井広人)

○米粒よりも小さな宝石探し

期日:11月2日(土)

会場:小山市立東城南小学校

参加者:120名

水晶の紹介をしたあとに、洗って乾燥させた鉱物を含む堆積物から、高温石英の取り出し体験を行った。

(担当 自然課:吉田貴洋・薄井香淑)

○おもしろい骨の世界

期日:11月2日(土)

会場:小山市立東城南小学校

参加者:150名

せきつい動物の頭骨標本に触れ、骨のつくりについて解説した。

(担当 自然課:浅羽宏・薄井香淑)

○校内の薬用植物の観察

期日:12月27日(金)

会場:栃木県立宇都宮女子高等学校

参加者:16名

校内に見られる様々な植物、菌類の中で、薬用として利用されるものについて、野外と室内とで解説した。

(担当 自然課:星直斗・坂井広人)

○研究の楽しさ・苦しさ・おもしろさ～野生動物の謎に迫る～

期日:1月10日(金)

会場:栃木県立石橋高等学校

参加者:240名

1年生全員を対象に、研究の魅力、意義、研究対象の選び方、研究に必要な情報の入手方法、答えがあるとは限らないものを求める楽しさ・つらさなどについて、具体的な研究事例を紹介しながら講演した。

(担当 自然課:林光武)

—教育広報課—

①博物館体験プログラムの出前

館内で実施している体験的活動プログラムを学校側の希望により館外(対象校)でも実施した。

○昔をしらべる(昔の道具体験)

5月14日(火)栃木県立栃木特別支援学校ひばり分 教室小学部・中学部	4名
12月6日(金)下野市立石橋小学校3年生	72名
12月7日(土)宇都宮市立陽光小学校3年生	70名
12月13日(金)茂木町立茂木小学校3年生	55名
12月19日(木)下野市立祇園小学校3年生	50名
1月16日(木)宇都宮市立築瀬小学校3年生	78名
1月17日(金)宇都宮市立御幸小学校3年生	72名
1月23日(木)宇都宮市立瑞穂台小学校3年生	136名
1月28日(火)宇都宮市立泉ヶ丘小学校3年生	125名
2月4日(火)栃木市立大宮南小学校3年生	19名
2月5日(水)下野市立薬師寺小学校3年生	64名
2月6日(木)宇都宮市立上河内西小学校3年生	18名
2月13日(木)宇都宮市立姿川第一小学校3年生	125名
2月14日(金)宇都宮市立陽東小学校3年生	69名
2月18日(火)宇都宮市立姿川第二小学校3年生	120名
2月19日(水)宇都宮市立雀宮東小学校3年生	46名
2月20日(木)茂木町立逆川小学校3年生	6名
2月21日(金)日光市立下原小学校3年生	30名
2月27日(木)益子町立益子西小学校3年生	57名

(担当 教育広報課:中村智治・辻泰臣・富田恒男
・池田哲夫・長島晃華・中田愛・荒川沙緒理
・矢野歩・青野友花里・阿見濤臣・相子隆)

○貴族のくらし(平安装束着付け)

5月15日(水)宇都宮市立宝木小学校6年生 90名

9月25日(水)栃木県立学悠館高等学校定時制 11名

(担当 教育広報課:中村智治・辻泰臣・細谷桂子
・青野友花里・荒川沙緒理)

○貴族のくらし・武士と鎧(十二単・鎧着付け体験)

5月28日(火)鹿沼市立みなみ小学校6年生 41名

5月30日(木)宇都宮市立横川東小学校6年生
139名

5月31日(金)大田原市立福原小学校6年生 8名

7月9日(火)宇都宮市立戸祭小学校6年生 95名

7月18日(木)日光市立大沢小学校6年生 34名

8月21日(水)日光市豊岡公民館1～6年生 11名

9月19日(木)日光市立安良沢小学校6年生 6名

(担当 教育広報課:中村智治・辻泰臣・富田恒男
・青野友花里・相子隆・落合恵・矢野歩・杉山道絵
・阿見濤臣・中田愛・荒川沙緒理・細谷桂子)

○武士と鎧(鎧着付け体験)

9月4日(水)宇都宮市立宝木小学校6年生 108名

(担当 教育広報課:中村智治・辻泰臣・相子隆)

○化石発掘

11月2日(土)下野市立吉田東小学校1～6年生
28名

12月7日(土)宇都宮市立豊郷北小学校1～6年生
60名

(担当 教育広報課:辻泰臣)

②博物館資料を活用した出前授業

学校側の希望に沿うことができる場合、体験活動以外にも、貸出資料を活用した授業をコーディネートして出前授業を行った。

○十二単等の着付け体験をとおした日本文化の理解に関する学習

6月5日(水)栃木県立宇都宮女子高等学校2年生
24名

9月25日(水)栃木県立学悠館高等学校定時制 4名

(担当 教育広報課:中村智治・辻泰臣・中田愛
・細谷桂子・荒川沙緒理)

○百人一首と宇都宮の関係や時代背景などに関する学習、十二単着付け体験

2月7日(金)宇都宮市立宝木小学校4年生
115名

(担当 教育広報課:中村智治・落合恵・細谷桂子)

③校外学習の支援

○地層と化石(湖成層と海成層の観察、化石の採取)

11月11日(月)宇都宮市立瑞穂台小学校6年生 122名
11月19日(火)宇都宮市立宝木小学校6年生 112名
11月22日(金)宇都宮市立岡本小学校6年生 47名
11月28日(木)宇都宮市立錦小学校6年生 62名
(担当 教育広報課:柏村勇二)

○地層観察、化石採取(塩原湖成層の観察、化石取り出し体験)

9月10日(火)大田原市立西原小学校3年生 136名
10月31日(木) 那須塩原市立三島小学校3年生 152名
大田原市立両郷中央小学校1~3年生 46名
11月1日(金)大田原市立大田原小学校3年生 121名
(担当 教育広報課:柏村勇二)

○栃木県立小山高等学校数理科学科自然探究合宿

日光戦場ヶ原周辺の植物、地形についての観察を行った。

8月2日(金)栃木県立小山高等学校数理科学科 12名
(担当 自然課:星直斗・吉田貴洋・渡辺茂)

④講師派遣

○地層と化石

地層と化石についての概説と木の葉石原石から化石の取り出しを行った。

6月8日(土)宇都宮海星女子学院中等部1・2年生 41名
(担当 教育広報課:柏村勇二)

○化石からみた生物の進化

小学校での特別授業や中学校理科および高等学校の生物の出前授業として実施した。化石資料を用いながら、生物の進化について概説した。

6月8日(土)宇都宮海星女子学院中等部3年生 43名
12月20日(金)栃木県立上三川高等学校3年生 32名
12月24日(火)佐野市立出流原小学校5・6年生 37名
(担当 教育広報課:柏村勇二)

○火山

火山噴火のメカニズムや噴火に伴う災害などについてモデル実験を織り交ぜながら概説した。火山灰試料から造岩鉱物の取り出しと検鏡を行った。

7月13日(土)宇都宮海星女子学院中等部1・2年生 33名
(担当 教育広報課:柏村勇二)

○地層、化石についての講義、化石取り出し体験

主に小学校6年生の理科の出前授業として実施した。地層や化石についての講義、原石からの化石取り出し体験を行った。

10月28日(月)徳次郎保育園 52名
10月29日(火)宇都宮市立富士見小学校6年生 143名
11月11日(月)宇都宮市立瑞穂台小学校6年生 122名
11月27日(水)宇都宮市立岡本小学校6年生 47名
11月28日(木)宇都宮市立錦小学校6年生 62名
12月5日(木)足利市立矢場川小学校6年生 28名
12月7日(土)宇都宮市立上河内中央小学校6年生 104名
12月10日(火)宇都宮市立平石北小学校6年生 38名
12月17日(火)宇都宮市立宝木小学校6年生 112名
12月23日(月)佐野市立出流原小学校6年生 21名
12月25日(水)上三川町立本郷北小学校6年生 74名
(担当 教育広報課:柏村勇二)

○放課後子ども教室化石発掘隊と成果発表会

放課後子ども教室の夏休み特別企画として、地層観察、化石採取、化石クリーニング、同定および地層や化石に関する講義を行った。

まこと幼稚園After School夢の学舎
化石発掘隊:7月30日(火) 76名
成果発表会:8月23日(金) 112名
(担当 教育広報課:柏村勇二)

○流れる水のはたらき

小学校5年生理科の出前授業として実施した。上流や中流、下流での川の様子について、映像資料を用いて概説した後、校庭に作った山、川、海モデルに水を流しながら、流れる水のはたらきを観察した。

10月24日(木)宇都宮市立宝木小学校5年生 108名
(担当 教育広報課:柏村勇二)

○化石を探る

小学校理科、中学校1年生理科の出前授業として実施した。化石から何がわかるのかについて概説した後、実際に化石を観察しながら、その化石に含まれる情報を読み取り、意見交換しながら仮説を練り上げた。

12月13日(金)宇都宮市立豊郷北小学校6年生 42名
2月27日(木)鹿沼市立板荷中学校1・2年生 31名
(担当 教育広報課:柏村勇二)

○烏山学

1日目は事前オリエンテーションとしてジオパークについて概説を行った。2日目は那須烏山市内の代表的なジオサイトを巡って大地の生い立ちを解説した。

10月30日(水)・31日(木)
栃木県立烏山高等学校1年生 19名
(担当 自然課:河野重範)

○鳥山学プラス	12月17日(火)鹿沼市立池ノ森小学校	12名
1日目は那須烏山市ジオパーク構想について概説したのち、2年生の2日目以降の計画を立てた。2日目は群馬県の下仁田ジオパークのジオサイト現地視察を行い、3日目に見学の成果をまとめた。		
9月18日(水)・19日(木)・20日(金)		
栃木県立烏山高等学校2年生	60名	
(担当 教育広報課:柏村勇二)		
○学校周辺の自然調査		
総合的な学習「いずてら学」として、学校周辺の自然を調査した。現地調査では、観察の仕方、記録の取り方を学び、室内では現地調査の結果のまとめ方と資料提示の仕方を学んだ。		
1月17日(金)佐野市立出流原小学校3～6年生	58名	
2月6日(木)佐野市立出流原小学校3～6年生	58名	
2月17日(月)佐野市立出流原小学校3～6年生	58名	
(担当 教育広報課:柏村勇二)		
(2)来て!見て!学ぼう博物館!		
諸事情から来館できない県内の小規模校を対象に行った。小学校第6学年理科単元「大地のつくりと変化」の学習活動の充実を図るために、県有バスを利用して博物館を活用してもらう事業であり、今年度は10校受け入れた。		
10月11日(金)鹿沼市立清洲第二小学校	8名	
10月25日(金)栃木市立国府南・大宮南小学校	14名	
10月29日(火)宇都宮市立篠井小学校	17名	
11月1日(金)矢板市立乙畑小学校	15名	
11月8日(金)鹿沼市立南押原小学校	11名	
11月12日(火)鹿沼市立上南摩小学校	8名	
11月21日(木)足利市立久野小学校	10名	
11月22日(金)大田原市立蛭田小学校	12名	
11月26日(火)塩谷町立船生小学校	25名	
11月28日(木)大田原市立福原小学校	5名	
(担当 教育広報課:柏村勇二・中村智治・辻泰臣)		
(3)博物館体験プログラム		
学校等の教育関連施設の当館見学に合わせて、展示解説のほかにも、体験的な活動を実施できるプログラムを提供している。		
○貴族のくらし(平安装束の着付け体験)		
5月24日(金)シルバー大学校中央校	27名	
7月19日(金)宇都宮市立清原南小学校	86名	
○貴族のくらし・武士と鎧(十二単・鎧着付け体験)		
5月29日(水)日光市立下原小学校	30名	
7月10日(水)大田原市立宇田川小学校	33名	
9月20日(金)日光市立足尾小学校	9名	
○武士と鎧(鎧着付け体験)		
7月2日(火)宇都宮市立田原西小学校	47名	
○昔をしらべる(昔の道具体験)		
7月4日(木)栃木県立のぞわ特別支援学校	22名	
9月3日(火)宇都宮市立東小学校	39名	
11月7日(木)宇都宮市立城東小学校	75名	
11月29日(金)宇都宮市立新田小学校	98名	
12月10日(火)宇都宮市立峰小学校	84名	
1月9日(木)栃木県立特別支援学校		
宇都宮青葉高等学園	99名	
○勾玉づくり		
7月25日(木)(株)ウェイク	6名	
○勾玉づくり・貴族のくらし(十二単着付け体験)		
12月12日(木)日光市立栗山小学校	6名	
○化石発掘		
12月26日(木)(株)ウェイク	52名	
○化石ひろい		
9月3日(水)大田原市立奥沢小学校	14名	
11月13日(水)上三川町立明治南小学校	30名	
11月26日(火)上三川町立明治小学校	62名	
2月7日(金)上三川町立本郷北小学校	72名	
(担当 教育広報課:中村智治・辻泰臣・冨田恒男 ・池田哲夫・中田愛・荒川沙緒理・落合恵・細谷桂子 ・長島晃華・青野友花里・杉山道絵・相子隆・矢野歩 ・阿見滯臣)		
(4)スーパー・サイエンス・ハイスクール(SSH)		
SSHは高等学校等において、先進的な理数教育の実施や創造性、独創性を高める指導方法、教材開発等の取り組みを支援する文部科学省の施策である。		
—教育広報課—		
①埼玉県立不動岡高等学校		
午前は石灰岩採石場跡地で中古世界および更新統の地層観察、化石採取を行った。午後は佐野市葛生化石館でフズリナ化石のクリーニングと観察を行った。		
期日:10月20日(日)		
会場:佐野市出流原町片柳石灰工業採石場、佐野市葛生化石館		
対象:埼玉県立不動岡高等学校1～3年生	30名	
栃木県立足利高等学校		
地層や化石について概説した後、木の葉石原石からの化石の取り出しとクリーニング、同定を行った。		
期日:12月1日(日)		
会場:栃木県立足利高等学校		
対象:栃木県立足利高等学校1年生	23名	
(担当 教育広報課:柏村勇二)		
(5)社会体験学習		

中学生や高校生、大学生などの職場体験を受け入れている。

①マイ・チャレンジ推進事業(社会体験学習)

当館ではこれまでも職業体験学習を受け入れてきたが、平成14年度より県全体で展開することになったマイ・チャレンジ推進事業をとらして、中学生の社会体験活動を受け入れている。

本年度の受入れは、9校27名であった。

主な活動内容

- | | | |
|--------------------|---|----|
| 第1日目 | 教育広報課(博物館の説明・館内見学)
教育広報課(解説員業務補助体験) | |
| 第2日目 | 教育広報課(普及教育活動補助体験) | |
| 第3日目 | 人文課(資料の整理等)
教育広報課(解説員業務補助体験) | |
| 第4日目 | 自然課(資料の整理等)
教育広報課(普及教育活動補助体験)
情報交換会 | |
| 6月11日(火)～14日(金) | | |
| 宇都宮市立田原中学校 | | 1名 |
| 8月28日(水)～30日(金) | | |
| 鹿沼市立南押原中学校 | | 1名 |
| 10月1日(火)～4日(金) | | |
| 宇都宮市立宝木中学校 | | 5名 |
| 10月29日(火)～11月1日(金) | | |
| 宇都宮市立旭中学校 | | 4名 |
| 11月12日(火)～15日(金) | | |
| 宇都宮市立横川中学校 | | 3名 |
| 11月14日(木)～15日(金) | | |
| 宇都宮大学教育学部附属中学校 | | 2名 |
| 11月20日(水)～22日(金) | | |
| 真岡市立真岡中学校 | | 1名 |
| 11月26日(火)～29日(金) | | |
| 宇都宮市立陽南中学校 | | 5名 |
| 12月3日(火)～6日(金) | | |
| 宇都宮市立宮の原中学校 | | 5名 |
| | (担当 教育広報課:中村智治・辻泰臣ほか) | |

②インターンシップ

高校・大学生に対しては、就業意識を育成するために実施されるインターンシップの実習生の受け入れを行っている。

本年度の受入れは、大学が1校1名であった。

9月18日(水)～20日(金)

東北芸術工科大学 1名

(6)教員研修

博物館の人材や資料を活用した授業が展開できるよう、様々な場面で教員を対象とした研修会を開催したほか、栃木県総合教育センターの基本研修の中で博物館利用案内を行った。

①体験しまSHOW博物館!

博物館主催の教員を対象とした講座で、博物館資料の貸出や出前授業実施を前提に、資料の取り扱い方や授

業での活用の仕方などについて学んでもらった。

○体験しまSHOW博物館!(衣装編)

十二単を中心に古代の衣装や関連の資料を用いながら実際の活用例を紹介した。

期日:5月10日(金)・11日(土)

会場:博物館研修室

参加者:1名(11日のみ)

(担当 教育広報課:中村智治・辻泰臣・杉山道絵・相子隆)

○体験しまSHOW博物館!(理科地学分野編)

地学系分野の貸出資料(教育広報課)を中心に小中学校での活用例や出前授業の実践例を紹介した。

期日:8月8日(木)

会場:博物館研修室

参加者:10名

(担当 教育広報課:柏村勇二)

○体験しまSHOW博物館!(博物館活用編)

歴史・民俗系分野の貸出資料を中心に小学校での活用例や出前授業の実践例を紹介した。

期日:8月9日(金)

会場:博物館研修室

参加者:1名

(担当 教育広報課:中村智治・辻泰臣)

②教職10年目社会体験研修等の実施

教職経験10年目の教員を対象にした学校以外の施設や企業等における社会体験研修の希望者を受け入れているが、本年度の受入れは無かった。

③教育委員会との連携

—教育広報課—

○栃木県総合教育センターとの連携

栃木県総合教育センターと協力し、学校教職員向けに教職員研修への講師派遣や博物館利用案内等を実施した。

・講師派遣

午前には石灰岩採掘跡地で中古世界および更新統の地層観察と化石採取を行った。午後は化石の処理や地層や化石に関する学習指導法の紹介と採取した化石のクリーニングを行った。栃木県総合教育センターの理科専門研修と佐野市立出流原小学校の現職教育を併せて実施した。

期日:8月20日(月)

会場:佐野市出流原町片柳石灰工業採石場、佐野市立出流原小学校

研修名:理科専門研修I～地学分野の指導法～

参加者:55名+12名

(担当 教育広報課:柏村勇二)

・博物館利用案内の広報

期日:5月28日(火)

研修名:基本研修「中堅教諭等資質向上研修(高・特)」
参加者:64名

(担当 教育広報課:中村智治・辻泰臣)

期日:6月20日(木)

研修名:基本研修「教職5年目研修(小・中)」

参加者:269名

(担当 教育広報課:辻泰臣)

期日:7月1日(月)

研修名:基本研修「教職5年目研修(高・特)・実習助手、
寄宿舎指導員5年目研修」

参加者:105名

(担当 教育広報課:中村智治)

期日:9月12日(木)

研修名:基本研修「初任者研修(高・特)」

参加者:120名

(担当 教育広報課:辻泰臣)

期日:9月12日(木)

研修名:基本研修「初任者研修(高・特)地歴科・理科」

参加者:23名

(担当 教育広報課:柏村勇二・中村智治)

期日:10月24日(木)

研修名:「中堅教諭等資質向上研修(小・中)」

参加者:180名

(担当 教育広報課:辻泰臣)

期日:12月3日(火)

研修名:基本研修「初任者研修(小・中)」

参加者:198名

(担当 教育広報課:辻泰臣)

期日:12月5日(木)

研修名:基本研修「初任者研修(小・中)」

参加者:171名

(担当 教育広報課:中村智治)

④教科部会等との連携

—自然課—

高校の農業部会、理科部会と連携し、研修会を実施した。

期日:7月22日(月)

研修名:栃木県高等学校教育研究会農業部会農業教育夏期研究集会

参加者:64名

栃木県に生育するキノコと地衣類について、その生態や人とのかかわりについて、各種資料を用いて解説した。

(担当 自然課:坂井広人)

期日:10月24日(木)

研修名:栃木県高等学校教育研究会理科部会科学研究会

参加者:52名

蘚苔類について、各種資料を用いて解説した。その後、校庭で蘚苔類を採集し、分類の方法を紹介した。

(担当 自然課:坂井広人)

中学校の理科部会と連携し、研修会を実施した。

期日:8月19日(月)

研修名:鹿沼市教育会理科部会研修会(巡検)

参加者:17名

宇都宮市の大谷地区において、大谷石の成因や大谷石が使われている建造物について解説した。

(担当 自然課:吉田貴洋・河野重範)

—教育広報課—

宇都宮市の小中学校教諭で構成される宇都宮市理科同好会と連携し、那須烏山市で地層や化石をテーマとした野外観察を実施した。

期日:8月3日(土)

研修名:宇都宮市理科同好会

参加者:11名

(担当 教育広報課:柏村勇二)

(7)とちぎ子どもの未来創造大学

栃木県教育委員会が主催する事業で、子どもたちの学力向上の基礎作りを目的とする。本物に触れる学習機会を提供することで、学ぶ意欲や主体的に学習に取り組む姿勢の涵養をめざす事業である。小4～中3を対象とした専門的な講座で、栃木県の各種専門機関や民間事業所が、体験的な講座を中心に開設している。

当館主催の講座のほか、市町の公共施設等からの要請を受けての出前講座を開催している。

○化石発掘隊—木の葉化石編—

期日:7月15日(月)

会場:那須塩原市上塩原要害公園、木の葉化石園

参加者:79名

期日:8月17日(土)

会場:那須塩原市上塩原要害公園、木の葉化石園

参加者:84名

塩原湖成層や木の葉石について野外で実物を見ながら概説し、原石から化石の取り出しを行った。

(担当 教育広報課:柏村勇二)

○化石発掘隊—化石三昧編—

期日:7月25日(木)・26日(金)

会場:那須塩原市上塩原・中塩原、栃木県立博物館

参加者:69名・67名

期日:8月6日(火)・7日(水)

会場:那須塩原市上塩原・中塩原、栃木県立博物館

参加者:72名・56名

第1日目に野外での地層観察、化石採取、第2日目に化石クリーニング、同定および地層や化石に関する講義を行った。

(担当 教育広報課:柏村勇二)

○恐竜教室

期日:7月29日(月)

会場:佐野市中央公民館

参加者:32名

期日:8月1日(木)

会場:壬生町中央公民館

参加者:38名

期日:8月2日(金)

会場:栃木県立博物館講堂、研修室

参加者:108名

期日:8月18日(日)

会場:野木町公民館

参加者:38名

期日:8月25日(日)

会場:小山市立博物館

参加者:62名

期日:8月28日(水)

会場:那須烏山市南公民館

参加者:21名

期日:9月1日(日)

会場:矢板市郷土資料館

参加者:31名

恐竜の体つきや生活の仕方など、その特徴について概説した。レプリカ作りも行った。8月2日の講座では、宇都宮ヤクルト販売(株)と連携し、恐竜化石から発見された腸内フローラについて紹介した。

(担当 教育広報課:柏村勇二)

○まが玉をつくろう

期日:8月5日(月)

会場:佐野市中央公民館

参加者:18名

期日:8月7日(水)

会場:宇都宮市中央生涯学習センター

参加者:58名

期日:8月10日(土)

会場:那須町文化センター

参加者:48名

(担当 教育広報課:中村智治・辻泰臣)

○とちぎの化石—木の葉化石編・化石を探そう—

期日:8月9日(金)

会場:日光市今市中央公民館

参加者:32名

期日:10月14日(月)

会場:栃木県立博物館研修室

参加者:54名

期日:11月2日(土)

会場:栃木県立博物館研修室

参加者:42名

期日:11月9日(土)

会場:宇都宮共和大学那須キャンパス

参加者:32名

地層や化石についての講義、原石からの化石取り出し体験を行った。

(担当 教育広報課:柏村勇二)

○十二単と鎧を着てみよう

期日:9月21日(水)

参加者:36名(出前講座・高根沢町農村環境改善センターで実施)

期日:10月27日(日)

参加者:42名(出前講座・矢板市郷土資料館で実施)

期日:11月9日(土)

参加者:27名(出前講座・栃木市大平隣保館で実施)

衣装や鎧の変遷と当時の生活の様子や時代背景について解説した後、十二単と鎧の着付けを行った。

(担当 教育広報課:中村智治・辻泰臣・落合恵

・長島晃華・青野友花里)

○化石を探る

期日:11月16日(土)

会場:栃木県立博物館研修室

参加者:20名

化石に含まれる情報を自分なりに読み取り、意見交換しながら仮説を練り上げた。

(担当 教育広報課:柏村勇二)

○化石からみた生物の進化

期日:11月30日(土)

会場:栃木県立博物館研修室

参加者:48名

生物の生きる目的と照らし合わせながら生物の進化について、化石資料を用いて概説した。

(担当 教育広報課:柏村勇二)

○特別講座県内コース「日本列島の成り立ちと自然災害」「君も一日考古学者」

期日:1月11日(土)

会場:栃木県立博物館研修室

参加者:20名

当該年度のとちぎ子どもの未来創造大学で、4単位以上取得した児童生徒を対象とした特別講座である。午前中は「日本列島の成り立ちと自然災害」と題して、日本列島の形成と自然災害の関係について映像資料やモデル実験を通して概説した。午後の「拓本しおりと土偶オーナーメントづくり」では、本物の土器に触れながら観察して、「拓本」をとったほか烏帽子を製作した。

(担当 教育広報課:柏村勇二

人文課:馬籠和哉・中山真理)

7-3 他館との連携事業

○時世を映す絵馬

会期:5月25日(土)～6月18日(火)

会場:宇都宮市立南図書館

絵馬に込められている願いやその表現はさまざまである。本展では、「祈り全般・成就のお礼」、「病気平癒」、「夫婦和合・子授け・成長祈願」、「技の上達・災厄除け・縁切り」のテーマに分けて展示し、あわせて会場館が所

蔵する関連書籍を紹介した。

時代を象徴する願い、あるいは時を経ても変わらない願いが読み取れるように配慮しつつ、絵馬の絵解きのような表現の面白さに触れられるよう努めた。

(担当 人文課:宮田妙子・石井和帆・篠崎茂雄)

○昭和館で昭和にタイムスリップ！！

会期: 6月15日(土)～6月16日(日)

会場:栃木県庁 昭和館

栃木県では、毎年県民の日(6月15日)前後の土曜日に県民の日イベントを実施している。本事業は、県からの依頼により、「栃木版文化プログラム“リーディングプロジェクト事業”」の当年度のテーマ「情景」、また第125回企画展「昭和ノスタルジー—なつかしい栃木の情景—」のプレ企画として、昭和館などで「昭和」を意識した展示やイベントを実施した。

このうち、昭和館1階多目的室1では、丸山工芸社の協力により、見世物小屋を再現した。また、2階の多目的室2では昭和50年代のダイニングテーブルのある風景の再現、3階の多目的室3では、昭和30～40年代の卓袱台のある風景の再現、4階の多目的室4では、いろりまわりのある風景の再現を、博物館の収蔵資料を交えて行った。さらに4階の正庁には、昭和の生活風景の写真を展示した。これらの写真は、県民に呼びかけ、提供を受けたものである。

あわせて、昭和館内と同館前庭では、各種団体、博物館ボランティアなどの協力により、民話語り、紙芝居語り、昭和の遊び体験、手仕事実演、昭和の縁日再現、郷土芸能公演、ちんどん屋の公演などを行った。

(担当 人文課:篠崎茂雄・宮田妙子・石井和帆)

○下野手仕事会展

会期: 11月19日(土)～11月24日(日)

会場:当館エントランス

下野手仕事会との共催で実施した。下野手仕事会は、栃木県立博物館の前身である栃木県立郷土資料館の初代館長であった尾島利雄氏の呼びかけにより、1974年に発足した。栃木県内の伝統的手仕事の保存と伝承、関係者との連絡調整を図ることを目的とし、現在32名の工芸士と、当館職員など関係者の計40名で組織されている。石橋江戸神輿、益子草木染、大畑家の武者絵幟など栃木県伝統工芸品を含む会員の作品29件を展示し、会期中は毎日、小砂焼、日光下駄、野州てんまりなどの実演・体験講座を実施した。

(担当 人文課:篠崎茂雄・宮田妙子)

8 普及教育事業実施状況

(1) 企画展・テーマ展・季節替わり展示

ア 企画展

回	名 称	期 間	会 場	入館者数
123	下野の鎌倉街道―道を行き交う人と物―	4月27日(土)～6月16日(日)	展示室2	16,226
124	キノコと地衣類―菌類って不思議!―	7月13日(土)～9月23日(月)	展示室2	24,489
125	昭和ノスタルジー―なつかしい栃木の情景―	10月12日(土)～11月24日(日)	展示室2	15,637
合 計				56,352

イ テーマ展

分 野	期 間	名 称
自然	植物	平成31年 3月16日(土)～6月16日(日)※1
	植物	7月13日(土)～9月23日(月)
	動植物	11月26日(月)～1月19日(日)
	自然全般	2月 1日(土)～3月 1日(日)
	動物	3月14日(土)～令和 2年 9月22日(火)※2
人文	民俗	7月13日(土)～9月23日(月)
	歴史	7月13日(土)～8月18日(日)
	美工	8月24日(土)～9月23日(月)
	民俗	12月14日(土)～令和 2年 4月 5日(日)※2
	美工	1月11日(土)～2月 9日(日)
	民俗	1月11日(土)～2月 9日(日)
	歴史	2月22日(土)～令和 2年 4月 5日(日)※2
	考古	2月22日(土)～令和 2年 4月 5日(日)※2

※1 平成30年度から継続 ※2 令和2年度まで継続

臨時休館:10月12日、3月 6日～3月24日

ウ ロビー展示

分野		期間	名称
教育 広報課	人文	4月12日(金)～6月2日(日)	いろんな時代の衣装と道具
	人文	4月29日(月)～5月16日(木)	端午の節句—鎧—
	自然	6月4日(火)～7月1日(月)	昆虫ってなあに
	人文	7月2日(火)～8月18日(日)	古代の衣装—七夕編—
	人文	7月2日(火)～8月31日(土)	宇都宮と百人一首
	自然	8月31日(土)～9月29日(日)	スロープ展示の仲間をしょうかい
	自然	10月1日(火)～12月1日(日)	大地のつくりと変化
	人文	12月3日(火)～2月16日(日)	昔の道具とくらし
	人文	12月3日(日)～2月2日(日)	おじいさんやおばあさんの子どもころの暮らし—戦時中編—
	自然	2月4日(火)～3月31日(火)	身のまわりの石たち
	人文	2月18日(火)～3月20日(金)	みやびな衣装—ひなまつり—

エ トピック展示

分野		期間	名称
自然	植物	2月15日(土)～令和2年6月21日(日)	栃木県で見つかった新種の冬虫夏草クサイロコメツキムシタケ

(2) 講演会

ア 企画展記念講演会

演 題	期 日	会 場	参加人員	講 師
武士の都 鎌倉を掘る	5月12日(日)	講堂	128	NPO法人鎌倉考古学研究所理事 齋木 秀雄氏
アマチュアが切り拓くキノコ学	8月25日(日)	講堂	53	日本菌学会会員 浅井 郁夫氏
合 計			181	

イ 企画展関連講座

演 題	期 日	会 場	参加人員	講師 活動内容
「昭和ノスタルジー」プレ企画「学芸員と茶飲み話」①	4月5日(金)	レストラン	3	人文課主任 宮田 妙子
「下野の鎌倉街道一道を行き交う人と物」 開会式・オープニング講座	4月27日(土)	講堂	138	人文課主任研究員 馬籠 和哉 人文課学芸嘱託員 中山 真理
「下野の鎌倉街道」烏帽子をつくろう	4月30日(日)	エントランス	56	人文課主任研究員 馬籠 和哉 人文課学芸嘱託員 中山 真理
「昭和ノスタルジー」プレ企画「学芸員と茶飲み話」②	5月22日(水)	レストラン	7	人文課長 篠崎 茂雄
「下野の鎌倉街道」 シンポジウム「中世の鎌倉街道『奥大道』」	5月26日(日)	講堂	169	学芸部長 江田 郁夫 小山市教育委員会 鈴木 一男 白河市 鈴木 一寿 さいたま市教育委員会 青木 文彦
「昭和ノスタルジー」プレ企画「昭和の遊び実演・体験」	6月8日(土)	玄関ポーチ エントランス	166	人文課主任 宮田 妙子 人文課長 篠崎 茂雄 人文課学芸嘱託員 石井 和帆 博物館ボランティア
「昭和ノスタルジー」プレ企画「学芸員と茶飲み話」③	6月11日(火)	レストラン	4	人文課学芸嘱託員 石井 和帆
令和元年度とちぎ版文化プログラム”リーディングプロジェクト事業”「昭和館で昭和にタイムスリップ！！」 「昭和ノスタルジー」プレ企画「昭和の遊び実演・体験」 両日／「昭和(いろいろまわり・ちゃぶ台・ダイニングテーブル)の風景(展示)」「昭和の生活風景(写真展示)」「見世物小屋」「遊び体験」 15日のみ／「縁日」「郷土芸能」「ちんどん屋」「手仕事実演」「駄菓子屋・音楽」「民話語り」「紙芝居」	6月15日(土) 6月16日(日)	県庁 昭和館	900	県民文化課 人文課長 篠崎 茂雄 人文課主任 宮田 妙子 人文課学芸嘱託員 石井 和帆 丸山工芸社 柳誠氏ほか、博物館ボランティア、関八州鳶木遣り保存会、下澤囃子方連、鹿沼民謡民舞連合会、鹿沼老人会女性部、笠懸ちんどん倶楽部—どんぐり一座—、下野手仕事会(樽 萩原幹雄氏、野州てんまりうつのみや手まり舎)、下野民話の会
「キノコと地衣類—菌類って不思議！—」開会式・オープニング講座	7月13日(土)	講堂	71	自然課主任研究員 坂井 広人 自然課学芸嘱託員 山本 航平
「昭和ノスタルジー」プレ企画「学芸員と茶飲み話」④	7月24日(水)	レストラン	2	人文課主任 宮田 妙子
「昭和ノスタルジー—なつかしい栃木の情景—」開会式・オープニング講座	10月12日(土)	講堂	荒天のため中止	人文課主任 宮田 妙子 人文課長 篠崎 茂雄 人文課学芸嘱託員 石井 和帆 自然課長 林 光武 自然課主任研究員 星 直斗 自然課主任研究員 坂井 広人 自然課主任 南谷 幸雄

演 題	期 日	会 場	参加人員	講師 活動内容
「昭和ノスタルジー」学芸員と茶飲み話①	10月18日(金)	レストラン	1	人文課学芸嘱託員 石井 和帆
「昭和ノスタルジー」昭和の暮らし実演・体験 「藁細工(草履作り実演・リース作り体験)」 「昭和の遊び」	10月27日(日)	研修室 エントランス 玄関ポーチ	274	注連縄作り職人、博物館ボランティア 人文課主任 宮田 妙子 人文課長 篠崎 茂雄 人文課臨時補助員 高木 優
「昭和ノスタルジー」学芸員と茶飲み話②	10月29日(火)	レストラン	0	人文課主任 宮田 妙子
「昭和ノスタルジー」学芸員と茶飲み話③	11月 2日(土)	レストラン	1	人文課主任 宮田 妙子
「昭和ノスタルジー」昭和の暮らし実演・体験 「縁日(実演・体験)」「ちんどん屋(実演)」	11月 3日(日)	玄関ポーチ エントランス	711	丸山工芸社 柳誠氏ほか、笠懸ちん どん倶楽部—どんぐり一座— 人文課主任 宮田 妙子 人文課長 篠崎 茂雄 人文課臨時補助員 高木 優
「昭和ノスタルジー」昭和の暮らし実演・体験 「藍染め(巾着のしぼり・ステンシル体験)」 「昭和の遊び」	11月10日(日)	研修室 玄関ポーチ エントランス	112	アトリエ草冠 若菜萌氏ほか、博物館 ボランティア 人文課主任 宮田 妙子 人文課長 篠崎 茂雄 人文課臨時補助員 高木 優
「昭和ノスタルジー」学芸員と茶飲み話④	11月13日(水)	レストラン	1	人文課長 篠崎 茂雄
「昭和ノスタルジー」栃木の手仕事実演・体験	11月19日(火)	エントランス	155	(下野手仕事会) 小砂焼 藤田眞一氏 きびがら細工 増形早苗氏
	11月20日(水)	エントランス	121	はにわ 大塚明氏 筒描藍染 若菜萌氏 日光下駄 山本政史氏
	11月21日(木)	エントランス	342	間々田ひも 渡邊靖久氏 樽 萩原幹雄氏 和棹 増形智志氏
	11月22日(金)	エントランス	66	マクラメ編 卯野サチ子氏 野州てんまり 赤池民子氏
	11月23日(土)	エントランス	185	(担当) 人文課長 篠崎 茂雄 人文課主任 宮田 妙子 人文課臨時補助員 高木 優
	11月24日(日)	エントランス	224	
合 計			3,706	

ウ 発表会

演 題	期 日	会 場	参加人員	講 師
あつまれ！自然好き—研究・活動発表会—	2月23日(日)	講堂	138	9団体
合 計			138	

(3) 講座

講座名	期日	会場	参加人員	講師
学芸員とおき講座 「カエデの花って見たことある？」	4月21日(日)	研修室	20	自然課学芸嘱託員 三瓶 ゆりか
とちぎの化石①海の時代	4月29日(月)	研修室	12	教育広報課長 柏村 勇二
とちぎの化石②陸の時代	4月30日(火)	研修室	14	教育広報課長 柏村 勇二
日本列島の成り立ちと自然災害	5月2日(木)	研修室	6	教育広報課長 柏村 勇二
～教員のための博物館研修～ 体験しまSHOW博物館！ 衣装編	5月10日(金)	研修室	0	教育広報課係長 中村 智治 教育広報課主査 辻 泰臣
～教員のための博物館研修～ 体験しまSHOW博物館！ 衣装編	5月11日(土)	研修室	1	教育広報課主査 辻 泰臣 教育広報課解説嘱託員 杉山 道絵 教育広報課解説嘱託員 相子 隆
ミジンコやアオミドロを見てみよう	5月18日(土)	研修室	19	自然課主任研究員 坂井 広人 自然課学芸嘱託員 山本 航平
学芸員とおき講座 「古代・東山道から中世・鎌倉街道へ」	5月19日(日)	講堂	135	人文課学芸嘱託員 中山 真理
生物・地学収蔵庫ガイド	6月15日(土)	生物収蔵庫 地学収蔵庫	7	自然課長 林 光武 自然課主任 吉田 貴洋 自然課学芸嘱託員 鈴木 信也
学芸員とおき講座 「中世・鎌倉街道から近世・日光、奥州道中へ」	6月16日(日)	講堂	150	人文課主任研究員 馬籠 和哉
学芸員とおき講座 「いろいろな冬虫夏草を見てみよう」	7月21日(日)	研修室	32	自然課学芸嘱託員 山本 航平
カチカチ発電機をつくろう！ ―鉱物をヒントに生まれた発明―	7月27日(土)	研修室	16	自然課主任 吉田 貴洋 自然課学芸嘱託員 浅羽 宏
栃木の民話語り	7月28日(日)	エントランス	67	人文課学芸嘱託員 石井 和帆 人文課長 篠崎 茂雄 人文課主任 宮田 妙子
～教員のための博物館研修～ 体験しまSHOW博物館！ 地学編	8月8日(木)	研修室	10	教育広報課長 柏村 勇二
～教員のための博物館研修～ 体験しまSHOW博物館！ 博物館を活用しよう編	8月9日(金)	研修室	1	教育広報課主査 辻 泰臣
昆虫標本をつくろう	8月10日(土)	研修室	43	自然課主任研究員 栗原 隆 自然課学芸嘱託員 鈴木 信也
学芸員とおき講座「戦時下沖縄の警察部長 荒井退造―辞令と写真からたどる足跡―」	8月18日(日)	研修室	21	人文課主任 大越 惟弘
学芸員とおき講座 「栃木県のキノコと地衣類」	9月15日(日)	講堂	57	自然課主任研究員 坂井 広人
化石からみた生物の進化	9月16日(月)	研修室	32	教育広報課長 柏村 勇二
学芸員とおき講座 「写真で見る栃木の昭和の暮らし」	10月20日(日)	研修室	22	人文課学芸嘱託員 石井 和帆
生物・地学収蔵庫ガイド	11月3日(土)	生物収蔵庫 地学収蔵庫	6	自然課長 林 光武 自然課主任研究員 坂井 広人 自然課主任 南谷 幸雄 自然課主任 吉田 貴洋 自然課学芸嘱託員 渡辺 茂
火山灰は宝石箱	11月9日(土)	研修室	15	自然課主任 吉田 貴洋 自然課学芸嘱託員 薄井 香淑
学芸員とおき講座「昭和こぼれ話」	11月17日(日)	研修室	9	人文課主任 宮田 妙子
歯科材料でつくるアンモナイト化石のレプリカ	12月14日(土)	研修室	14	自然課主任 河野 重範 自然課学芸嘱託員 薄井 香淑
学芸員とおき講座「昭和天皇と栃木の植物」	12月15日(日)	研修室	11	自然課主任研究員 星 直斗
電子顕微鏡でキノコや地衣類を見てみよう	1月18日(土)	研修室	10	自然課主任研究員 坂井 広人 自然課学芸嘱託員 山本 航平
学芸員とおき講座「名所絵と旅」	1月19日(日)	研修室	15	人文課学芸嘱託員 久野 華歩
学芸員とおき講座 「発見！ボクが見つけた化石の新産地」	2月16日(日)	研修室	2	自然課主任 河野 重範
学芸員とおき講座「骨が教えてくれること」	3月15日(日)	研修室	中止	自然課学芸嘱託員 浅羽 宏
ニワトリの手羽先で骨格標本をつくろう	3月22日(日)	研修室	中止	自然課学芸嘱託員 浅羽 宏 自然課長 林 光武
合 計			727	

(4) 見学会・観察会

名称	期日	会場	参加者数(人)	講師
スマレをさがそう	4月14日(日)	宇都宮市 多気山	16	自然課主任 星 直斗 自然課学芸嘱託員 三瓶 ゆりか 自然課学芸嘱託員 山本 航平
春の磯を覗いてみよう	4月20日(土)	ひたちなか市	29	自然課主任 南谷 幸雄 自然課学芸嘱託員 三瓶 ゆりか 自然課学芸嘱託員 鈴木 信也
夜の観察会 「カエルとサンショウウオの夕べ」	5月4日(土)	那須塩原市	20	自然課長 林 光武 自然課学芸嘱託員 浅羽 宏
ナスヒオウギアヤマ鑑賞会	5月18日(土)	県中央公園	62	自然課主任 星 直斗 自然課学芸嘱託員 三瓶 ゆりか
モリアオガエルの観察会	6月1日(土)	塩谷町	28	自然課長 林 光武 自然課学芸嘱託員 浅羽 宏
日光・湯元の昆虫観察会	7月28日(日)	日光市	18	自然課主任 栗原 隆 自然課学芸嘱託員 鈴木 信也
木の葉化石をしらべよう	8月3日(土)	那須塩原市	16	自然課主任 河野 重範 自然課学芸嘱託員 薄井 香淑 自然課主任 星 直斗
カレーに変身！米物語 ～土ってすごイネ～	9月7日(土)	宇都宮大学 農学部附属農場	17	自然課主任 吉田 貴洋 自然課学芸嘱託員 薄井 香淑 自然課主任 南谷 幸雄
土の中のワンダーランド！ 土の中の生きものを探そう	9月22日(日)	研修室	14	自然課主任 南谷 幸雄 自然課学芸嘱託員 浅羽 宏
キノコの観察会 in 中央公園	9月23日(月)	研修室 県中央公園	29	自然課主任 坂井 広人 自然課学芸嘱託員 山本 航平
バッタはかせを目指せ！	9月28日(土)	さくら市	9	自然課主任 栗原 隆 自然課学芸嘱託員 鈴木 信也
めざせ！ゴールドハンター ☆砂金を探せ！	10月19日(土)		荒天のため中止	自然課主任 吉田 貴洋 自然課学芸嘱託員 薄井 香淑 自然課主任 河野 重範
合 計			258	

(5) 展示解説等

講座名	期日	会場	参加者数	講師
もみじとカエデ	4月7日(日)	テーマ展示室	6	自然課学芸嘱託員 三瓶 ゆりか 自然課主任 星 直斗
	5月26日(日)		9	
下野の鎌倉街道 —道を行き交う人と物—	5月3日(金)	企画展示室	76	人文課主任 馬籠 和哉 人文課主任 飯塚 真史 人文課学芸嘱託員 中山 真理
	6月8日(土)		42	
キノコと地衣類 —菌類って不思議！—	7月15日(月)	企画展示室	88	自然課主任 坂井 広人
	8月17日(土)		43	
	9月16日(月)		60	

講座名	期日	会場	参加者数	講師
冬虫夏草 —虫から生える不思議なキノコ—	7月27日(土)	テーマ展示室	53	自然課学芸嘱託員 山本 航平
戦時下沖縄の警察部長 荒井退造 —辞令と写真からたどる足跡—	8月 3日(土)	展示室2	21	人文課主任 大越 惟弘
栃木の畑作—麻・麦・かんぴょう—	8月 4日(日)	展示室2	3	人文課学芸嘱託員 石井 和帆
冬虫夏草 —虫から生える不思議なキノコ—	8月31日(土)	テーマ展示室	45	自然課学芸嘱託員 山本 航平
小泉斐にいたる道—下野の画人を 育てた近江商人 島崎雲圃—	9月 7日(土)	展示室2	3	人文課主任研究員 深沢 麻亜沙
昭和ノスタルジー—なつかしい栃木 の情景—	10月25日(金)	企画展示室	3	人文課主任 宮田 妙子 人文課長 篠崎 茂雄 人文課学芸嘱託員 石井 和帆 自然課主任研究員 星 直斗
	11月 9日(土)		12	自然課長 林 光武 自然課主任研究員 坂井 広人 自然課主任 南谷 幸雄
昭和天皇の生物学御研究	12月 8日(日)	テーマ展示室	12	自然課主任研究員 坂井 広人 自然課主任 南谷 幸雄
	1月12日(日)		26	自然課主任 南谷 幸雄
栃木の年中行事	1月26日(日)	展示室2	4	人文課長 篠崎 茂雄
名所絵—旅する絵画—	2月 2日(日)	展示室2	12	人文課学芸嘱託員 久野 華歩
中世下野の歴史物語の世界—「玉 藻前草子」と幸若舞曲「信田」—	2月29日(土)	展示室2	中止	人文課主任研究員 飯塚 真史
栃木の海と貝塚	3月 9日(土)	展示室2	中止	人文課主任研究員 馬籠 和哉
骨が語る動物の秘密	3月20日(金)	テーマ展示室	中止	自然課学芸嘱託員 浅羽 宏 自然課長 林 光武
おじいさんやおばあさんの民話語り	1月11日(土)	展示室2	24	人文課主任 宮田 妙子 人文課長 篠崎 茂雄 人文課臨時補助員 高木 優 栃木県民話の会連絡協議会
	1月18日(土)	展示室2	28	
	1月25日(土)	展示室2	23	
	2月 1日(土)	展示室2	30	
	2月 8日(土)	展示室2	43	
	2月15日(土)	展示室2	16	
	2月22日(土)	展示室2	21	
	2月29日(土)	展示室2	中止	
	3月 7日(土)	展示室2	中止	
	3月14日(土)	展示室2	中止	
	3月21日(土)	展示室2	中止	
	3月28日(土)	展示室2	中止	
合 計			379	

(6)博物館でやってみよう

No.	内 容	期 日	会 場	参加人数	講 師
1	百人一首教室	4月20日(土)	研修室	17	教育広報課 係長 中村 智治 主査 辻 泰臣 解説嘱託員
2	十二単を着てみよう	4月28日(日)	エントランス	73	
3	鎧を着てみよう	5月5日(日)	エントランス	87	
4	百人一首教室	5月18日(土)	研修室	9	
5	手ぬぐいでミニ巾着をつくろう	6月2日(日)	1Fロビー	86	
6	百人一首教室	6月9日(日)	研修室	22	
7	百人一首教室	7月7日(日)	研修室	6	
8	アワ・あわ・バブル・しゃぼんだま	7月26日(金)	研修室	34	
9	七夕飾りをつくろう	8月2日(金)	研修室	35	
10	百人一首教室	8月3日(土)	研修室	21	
11	来て見て書こう！見学新聞	8月16日(金)	研修室	18	
12	まゆ玉でお月見うさぎをつくろう	9月8日(日)	1Fロビー	83	
13	百人一首教室	9月14日(土)	研修室	14	
14	古墳時代の衣装を着てみよう	9月28日(土)	エントランス	40	
15	十二単を着てみよう	10月13日(日)	エントランス	45	
16	わかびったん	10月26日(土)	エントランス	113	
17	鎧を着てみよう	11月2日(土)	エントランス	40	
18	百人一首教室	11月16日(土)	研修室	11	
19	紙すきでオリジナルハガキづくり	11月30日(土)	研修室	28	
20	古墳時代の衣装を着てみよう	12月8日(日)	エントランス	23	
21	百人一首教室	12月21日(土)	エントランス	9	
22	木の実クラフトをつくろう	12月22日(日)	研修室	15	
23	百人一首教室	1月5日(日)	エントランス	26	
24	体験！ちょっと昔の暮らし	1月11日(土)	エントランス	63	
25	十二単を着てみよう	1月13日(月)	エントランス	55	
26	化石ざんまい	2月9日(日)	研修室	36	
27	鎧を着てみよう	2月11日(火)	エントランス	74	
28	百人一首教室	2月24日(月)	研修室	10	
29	しあわせ貝あわせ	3月1日(日)	研修室	中止	
30	古墳時代の衣装を着てみよう	3月8日(日)	2Fロビー	中止	
31	百人一首教室	3月28日(土)	研修室	中止	
合 計				1,093	

(7)各種連携事業

(7)－1 市町連携事業

ア 地域移動博物館

名称	期間	会場	参加者数
13匹のカエルと5匹のサンショウウオ	4月27日(土)～6月30日(日)	那須塩原市那須野が原博物館	4,875
ザ・博物館	7月6日(土)～8月25日(日)	高根沢町歴史民俗資料館	2,000
貝を見てみるかい！ ～美しき貝の世界～	7月20日(土)～9月1日(日)	益子町中央公民館	943
みんなおいでよ！昆虫ワールド！	7月20日(土)～9月1日(日)	佐野市郷土博物館	3,462
恐竜	7月20日(土)～9月1日(日)	小山市立博物館	9,167
鉱物の宝箱 ～きらめくStone Museum～	7月27日(土)～9月1日(日)	さくら市ミュージアム —荒井寛方記念館—	5,690
掘れば出てくる化石と温泉	8月31日(土)～11月4日(月)	那須町歴史探訪館	1,002
中世陶磁器の世界	9月21日(土)～11月4日(月)	矢板市立郷土資料館	327
合 計			27,466

イ 共催展

名称	期間	会場	参加者数
うつのみやの自然パネル展	6月7日(金)～6月17日(月) 6月9日(日)～6月18日(火) 6月19日(水)～7月2日(火) 6月21日(金)～7月16日(火)	宇都宮市立東図書館 宇都宮市立中央図書館 宇都宮市役所 宇都宮市立南図書館	57,502
時世を映す絵馬	5月25日(土)～6月18日(火)	宇都宮市立南図書館	44,263
写真展	6月18日(火)～6月23日(日)	上三川町	617
合 計			102,382

※複数年度にまたがる展示については、開催期間全体の累計参加者数を掲載

ウ 移動講座

名称	期日	会場	参加者数	講師
記録をすると分かることー自然観察のここがおもしろい！ー	4月28日(日)	那須野が原博物館	16	自然課長 林 光武
芳賀町の自然と消えゆく植物	6月2日(日)	芳賀町総合情報館	28	自然課主任研究員 星 直斗
宇都宮再発見！自然の魅力をさぐる「宇都宮の大地」	6月21日(金)	宇都宮市西生涯学習センター	15	自然課主任 河野 重範
宇都宮再発見！自然の魅力をさぐる「レッドデータブックとちぎ2018の植物」	7月19日(金)	宇都宮市西生涯学習センター	20	自然課主任研究員 星 直斗
親子でつくる素敵なアンモナイトレプリカ作り	7月28日(日)	小山市立博物館	29	自然課主任 河野 重範
一日学芸員体験	7月28日(日)	高根沢町歴史民俗資料館	6	教育広報課係長 中村 智治
火山灰は宝石箱	7月31日(日)	足利市富田公民館	17	自然課主任 吉田 貴洋 自然課学芸嘱託員 薄井 香淑
	8月4日(日)	さくら市ミュージアム ー荒井寛方記念館ー	34	自然課主任 吉田 貴洋 自然課学芸嘱託員 薄井 香淑
	8月9日(金)	宇都宮市立南図書館	46	自然課主任 吉田 貴洋 自然課学芸嘱託員 薄井 香淑 自然課学芸嘱託員 浅羽 宏
昆虫標本を作ってみよう！	8月3日(土)	佐野市郷土博物館	22	自然課主任研究員 栗原 隆 自然課学芸嘱託員 鈴木 信也
一日学芸員体験	8月4日(日)	高根沢町歴史民俗資料館	9	教育広報課係長 中村 智治
夏休み企画！虫博士になろう！～標本づくり体験～	8月6日(火)	栃木市大宮公民館	12	自然課主任研究員 栗原 隆 自然課学芸嘱託員 鈴木 信也
ジオパーク構想教室⑭ 栃木県内にみられるコウホネ類について	8月24日(土)	那須烏山市南那須公民館 フィールドワーク	15	自然課主任研究員 星 直斗
武茂川の歴史を探ろう	8月21日(水)	那珂川町なす風土記の丘資料館他	13	自然課主任 吉田 貴洋 自然課主任 河野 重範
宇都宮再発見！自然の魅力をさぐる「レッドデータブックとちぎ2018の動物」	8月23日(金)	宇都宮市西生涯学習センター	15	自然課主任研究員 栗原 隆
しおやサマースクール 「昆虫について」	8月24日(土)	鬼怒川河川敷 大宮コミュニティセンター	9	自然課主任研究員 栗原 隆 自然課学芸嘱託員 鈴木 信也
掘れば出てくる化石と温泉 ～木の葉石編	9月14日(土)	那須歴史探訪館	22	教育広報課長 柏村 勇二
宇都宮再発見！自然の魅力をさぐる「絶滅しそうな生きものとのつきあい方」	9月20日(金)	宇都宮市西生涯学習センター	12	自然課長 林 光武
掘れば出てくる化石と温泉 ～化石発掘隊編	9月21日(土)	那須歴史探訪館	荒天のため 中止	教育広報課長 柏村 勇二

名称	期日	会場	参加者数	講師
掘れば出てくる化石と温泉 ～温泉編	10月5日(土)	那須歴史探訪館	荒天のため 中止	教育広報課長 柏村 勇二
烏帽子をつくろう	10月19日(土)	道の駅やいた	18	人文課主任研究員 馬籠 和哉
サンショウウオ保全活動体験 教室① アメリカザリガニ捕り	10月19日(土)	宇都宮市戸祭山緑地	荒天のため 中止	自然課長 林 光武
中世東国武士の祖 藤原秀郷	11月14日(木)	宇都宮市南生涯学習センター	47	人文課主任研究員 山本 享史
ジオパーク構想教室⑮ 縄文時代のくらし	11月16日(土)	那須烏山市南那須公民館	16	人文課主任研究員 馬籠 和哉
レッドデータブックとちぎ2018 ～将来に残したい昆虫～	11月17日(日)	大田原市ふれあいの丘自然観察館	14	自然課主任研究員 栗原 隆
サンショウウオ保全活動体験 教室② サンショウウオ保全活動説明 会	12月 8日(日)	宇都宮市役所	45	自然課長 林 光武
ジオパーク構想教室⑯ ジオパークの先例に学ぶ:お おいた豊後大野ジオパーク	1月18日(土)	那須烏山市南那須公民館	8	自然課主任 河野 重範
サンショウウオ保全活動体験 教室③ トウキョウサンショウウオ救出 作戦	3月21日(土)	宇都宮市戸祭山緑地	中止	自然課長 林 光武
合 計			488	

エ 博物館へ行く

期日	参加団体	参加者数	講師
7月30日(火)	高根沢町	27	教育広報課係長 中村 智治
8月 4日(日)	那須烏山市	29	自然課主任 河野 重範
8月 7日(水)	下野市南公民館	26	教育広報課長 柏村 勇二
8月21日(水)	高根沢町	20	教育広報課主査 辻 泰臣
合 計		102	

オ 共催展関連講座(今年度実施せず)

カ 出前講座

名 称	期 日	会 場	参加人数	講 師
ブランヴェール恐竜教室	4月20日(土)	ブランヴェール那須	48	教育広報課長 柏村 勇二
宇都宮市北生涯学習センター親子自然探検隊 ①カブトムシの幼虫を探して育てよう	4月27日(土)	宇都宮市戸祭山緑地	35	自然課主任 南谷 幸雄
渡良瀬グリーンプラザ 「松田川ダムふれあいフェスティバル」	5月26日(日)	足利市松田ダム公園	226	教育広報課長 柏村 勇二
化石発掘隊—中級編—	6月1日(土)	那須塩原市金沢(野外) 那須野が原博物館	33	教育広報課長 柏村 勇二
宇都宮市北生涯学習センター親子自然探検隊 ②アメリカザリガニ釣りとお池の生きもの	6月15日(土)	宇都宮市戸祭山緑地	35	自然課主任 南谷 幸雄
宇都宮市中央生涯学習センター親子学習会 「とちぎの化石」	7月6日(土)	宇都宮市 中央生涯学習センター	65	教育広報課長 柏村 勇二
芳賀町総合情報館恐竜教室「恐竜のひみつ」	7月20日(土)	芳賀町総合情報館	38	教育広報課長 柏村 勇二
芳賀町総合情報館化石教室「化石のひみつ」	8月4日(日)	芳賀町総合情報館	42	教育広報課長 柏村 勇二
化石ワークショップ「化石三昧」	8月12日(月)	那須ハイランドパーク 那須ファクトランド	148	教育広報課長 柏村 勇二
化石ワークショップ「化石三昧」	8月13日(火)	那須ハイランドパーク 那須ファクトランド	178	教育広報課長 柏村 勇二
化石ワークショップ「化石三昧」	8月14日(水)	那須ハイランドパーク 那須ファクトランド	203	教育広報課長 柏村 勇二
化石ワークショップ「化石三昧」	8月21日(水)	那須ハイランドパーク 那須ファクトランド	134	教育広報課長 柏村 勇二
化石ワークショップ「化石三昧」	8月22日(木)	那須ハイランドパーク 那須ファクトランド	156	教育広報課長 柏村 勇二
化石ワークショップ「化石三昧」	8月24日(土)	那須ハイランドパーク 那須ファクトランド	188	教育広報課長 柏村 勇二
こどもエコクラブ「みずほの自然探検隊」	8月25日(日)	宇都宮市西刑部町 瑞穂野の里山	10	自然課主任 南谷 幸雄
宇都宮市北生涯学習センター親子自然探検隊 ③ミズってどんな生きもの？～土の中の生きものを探そう～	9月21日(土)	宇都宮市戸祭山緑地	36	自然課主任 南谷 幸雄
化石発掘隊—市貝町編—	9月28日(土)	市貝町塩田(野外) 市貝町歴史民俗資料館	16	教育広報課長 柏村 勇二
十二単と鎧の着付け体験	10月5日(土)	大田原市那須与一伝承館	61	教育広報課係長 中村 智治 解説嘱託員 荒川 沙緒理
第10回生物多様性連続講演会「消えゆく生きものたち レッドデータブックとちぎ2018(土壌動物)」	10月26日(土)	宇都宮市環境学習センター	18	自然課主任 南谷 幸雄
足利JAまつり「化石ワークショップ」	11月10日(日)	足利JA	362	教育広報課長 柏村 勇二
シルバー大専校「とちぎの大地と自然」	11月14日(木)	シルバー大専校中央校	28	自然課主任 吉田 貴洋
平安貴族衣装の着付け体験	11月23日(土)	さくら市ミュージアム —荒井寛方記念館—	26	教育広報課係長 中村 智治 解説嘱託員 細谷 桂子
渡良瀬グリーンプラザ「秋の緑化フェア」	11月24日(日)	足利市有楽公園	378	教育広報課長 柏村 勇二
シルバー大専校「とちぎの大地と自然」	11月27日(水)	シルバー大専校中央校	32	自然課主任 吉田 貴洋
シルバー大専校「とちぎの大地と自然」	11月29日(金)	シルバー大専校南校	25	自然課主任 河野 重範
宇都宮市北生涯学習センター親子自然探検隊 ④カブトムシの寝床をつくろう	1月18日(土)	宇都宮市戸祭山緑地	27	自然課主任 南谷 幸雄
シルバー大専校「とちぎの大地と自然」	1月28日(火)	シルバー大専校北校	24	自然課主任 南谷 幸雄
合 計			2,572	

キ 高原山自然探検隊

名 称	期 日	会 場	参加人数	講 師
田んぼの生き物しらべ	4月20日(土)	塩谷町星降る学校くまのき	30	自然課長 林 光武
くまの木化石発掘隊	11月3日(日)	那須烏山市	36	教育広報課長 柏村 勇二
合 計			66	

(7) - 2 博学連携事業

ア 出前授業

教科・内容	対象	期 日	学 校 名	参加人数	講 師
社会科・昔をしらべる	小学部 中学部	5月14日(火)	栃木県立栃木特別支援 学校ひばり分教室	4	教育広報課係長 中村 智治・主 査 辻 泰臣
社会科・貴族のくらし	小6	5月15日(水)	宇都宮市立宝木小学校	90	教育広報課係長 中村 智治・主 査 辻 泰臣 解説嘱託員 細谷 桂子・青野 友花里
身近な地衣類	高3	5月17日(金)	栃木県立壬生高等学校	42	自然課主任研究員 坂井 広人
社会科・貴族のくらし・武士と鎧	小6	5月28日(火)	鹿沼市立みなみ小学校	41	教育広報課係長 中村 智治・主 査 辻 泰臣 解説嘱託員 青野 友花里・相子 隆
社会科・貴族のくらし・武士と鎧	小6	5月30日(木)	宇都宮市立横川東小学校	139	教育広報課係長 中村 智治・主 査 辻 泰臣 解説嘱託員 落合 恵・矢野 歩
社会科・貴族のくらし・武士と鎧	小6	5月31日(金)	大田原市立福原小学校	8	教育広報課係長 中村 智治 解説嘱託員 杉山 道絵・阿見 滯臣
総合・日本文化の紹介(十二単・狩衣)	高2	6月5日(水)	栃木県立宇都宮女子高等学校	24	教育広報課係長 中村 智治 解説嘱託員 中田 愛・細谷 桂子
理科・地層と化石	中1・2	6月8日(土)	宇都宮海星女子学院中等部	41	教育広報課長 柏村 勇二
理科・化石からみた生物の進化	中3	6月8日(土)	宇都宮海星女子学院中等部	43	教育広報課長 柏村 勇二
総合・身近な自然環境	小5	7月3日(水)	宇都宮市立清原東小学校	80	自然課主任研究員 栗原 隆 教育広報課主査 辻 泰臣
社会科・貴族のくらし・武士と鎧	小6	7月9日(火)	宇都宮市立戸祭小学校	95	教育広報課係長 中村 智治 解説嘱託員 中田 愛・落合 恵
理科・火山	中1・2	7月13日(土)	宇都宮海星女子学院中等部	33	教育広報課長 柏村 勇二
社会科・貴族のくらし・武士と鎧	小6	7月18日(木)	日光市立大沢小学校	34	教育広報課係長 中村 智治 学芸嘱託員 富田 恒男 解説嘱託員 荒川 沙緒理
課外・化石採取、化石クリーニング、同定、講義	小1～3	7月30日(火)	まこと幼稚園 After School 夢の学舎	76	教育広報課長 柏村 勇二
自然探究(数理科学科)	高1	8月2日(金)	栃木県立小山高等学校	12	自然課主任研究員 星 直斗・主 任 吉田 貴洋 学芸嘱託員 渡辺 茂
課外・貴族のくらし、武士と鎧	小1～6	8月21日(水)	日光市豊岡公民館	11	教育広報課係長 中村 智治・主 査 辻 泰臣 解説嘱託員 青野 友花里・杉山 道絵
課外・化石発掘隊成果発表会	小1～3 保護者	8月23日(金)	まこと幼稚園 After School 夢の学舎	112	教育広報課長 柏村 勇二

教科・内容	対象	期 日	学 校 名	参加人数	講 師
社会科・武士と鎧	小6	9月4日(水)	宇都宮市立宝木小学校	108	教育広報課係長 中村 智治・主査 辻 泰臣 解説囃託員 相子 隆
理科・地層観察、化石採取	小3	9月10日(火)	大田原市立西原小学校	136	教育広報課長 柏村 勇二
総合・烏山学プラス「那須烏山ジオパーク構想」	高2	9月18日(水)～20日(金)	栃木県立烏山高等学校	60	教育広報課長 柏村 勇二
社会科・貴族の暮らし・武士と鎧	小6	9月19日(木)	日光市立安良沢小学校	6	教育広報課主査 辻 泰臣 解説囃託員 荒川 沙緒理・細谷 桂子
日本文化史・平安時代中期以降の国風文化の体験	定時制	9月25日(水)	栃木県立学悠館高等学校	11	教育広報課主査 辻 泰臣 解説囃託員 荒川 沙緒理
理科・昆虫の体のつくり	小3	9月27日(金)	下野市立祇園小学校	50	自然課主任研究員 栗原 隆 教育広報課主査 辻 泰臣
理科・流れる水のはたらき	小5	10月24日(木)	宇都宮市立宝木小学校	108	教育広報課長 柏村 勇二
地層、化石についての講義、化石取り出し体験	幼	10月28日(月)	徳次郎保育園	52	教育広報課長 柏村 勇二
理科・地層と化石	小6	10月29日(火)	宇都宮市立富士見小学校	143	教育広報課長 柏村 勇二
理科・地層観察、化石採取	小3	10月31日(木)	那須塩原市立三島小学校	152	教育広報課長 柏村 勇二
理科・地層観察、化石採取	小1～3	10月31日(木)	大田原市立両郷中央小学校	46	教育広報課長 柏村 勇二
校庭の樹木の観察	高1・2	10月31日(木)	栃木県立宇都宮高等学校	28	自然課主任研究員 星 直斗
理科・地層観察、化石採取	小3	11月1日(金)	大田原市立大田原小学校	121	教育広報課長 柏村 勇二
理科・化石発掘	小1～6	11月2日(土)	下野市立吉田東小学校	28	教育広報課主査 辻 泰臣
理科・地層観察、化石採取	小6	11月8日(金)	宇都宮市立瑞穂台小学校	122	教育広報課長 柏村 勇二
身近な地衣類	高2	11月9日(土)	栃木県立宇都宮高等学校	12	自然課主任研究員 坂井 広人
理科・地層、化石についての講義、化石取り出し体験	小6	11月11日(月)	宇都宮市立瑞穂台小学校	122	教育広報課長 柏村 勇二
理科・地層観察、化石採取	小6	11月19日(火)	宇都宮市立宝木小学校	112	教育広報課長 柏村 勇二
理科・地層観察、化石採取	小6	11月22日(金)	宇都宮市立岡本小学校	47	教育広報課長 柏村 勇二
理科・地層、化石についての講義、化石取り出し体験	小6	11月27日(水)	宇都宮市立岡本小学校	47	教育広報課長 柏村 勇二
理科・地層観察、地層、化石についての講義、化石取り出し体験	小6	11月28日(木)	宇都宮市立錦小学校	62	教育広報課長 柏村 勇二
理科・地層、化石についての講義、化石取り出し体験	小6	12月5日(木)	足利市立矢場川小学校	28	教育広報課長 柏村 勇二
社会科・昔をしらべる	小3	12月6日(金)	下野市立石橋小学校	72	教育広報課係長 中村 智治・主査 辻 泰臣 学芸囃託員 富田 恒男・池田 哲夫
理科・化石発掘	小1～6	12月7日(土)	宇都宮市立豊郷北小学校	60	教育広報課主査 辻 泰臣
社会科・昔をしらべる	小3	12月7日(土)	宇都宮市立陽光小学校	70	教育広報課係長 中村 智治・学芸囃託員 富田 恒男・解説囃託員 長島 晃華

教科・内容	対象	期 日	学 校 名	参加人数	講 師
理科・地層、化石についての講義、化石取り出し体験	小6 保護者	12月7日(土)	宇都宮市立上河内中央小学校	104	教育広報課長 柏村 勇二
理科・地層、化石についての講義、化石取り出し体験	小6	12月10日(火)	宇都宮市立平石北小学校	38	教育広報課長 柏村 勇二
身近なコケ植物	高3	12月10日(火)	栃木県立壬生高等学校	31	自然課主任研究員 坂井 広人
理科・化石を探る	小6	12月13日(金)	宇都宮市立豊郷北小学校	42	教育広報課長 柏村 勇二
社会科・昔をしらべる	小3	12月13日(金)	茂木町立茂木小学校	55	教育広報課係長 中村 智治・主査 辻 泰臣 学芸嘱託員 富田 恒男
理科・地層、化石についての講義、化石取り出し体験	小6	12月17日(火)	宇都宮市立宝木小学校	112	教育広報課長 柏村 勇二
社会科・昔をしらべる	小3	12月19日(木)	下野市立祇園小学校	50	教育広報課係長 中村 智治・主査 辻 泰臣 解説嘱託員 中田 愛
生物・化石からみた生物の進化	高3	12月20日(金)	栃木県立上三川高等学校	32	教育広報課長 柏村 勇二
理科・地層、化石についての講義、化石取り出し体験	小6	12月23日(月)	佐野市立出流原小学校	21	教育広報課長 柏村 勇二
理科・化石からみた生物の進化	小5・6	12月24日(火)	佐野市立出流原小学校	37	教育広報課長 柏村 勇二
理科・地層、化石についての講義、化石取り出し体験	小6	12月25日(水)	上三川町立本郷北小学校	74	教育広報課長 柏村 勇二
校内の薬用植物の観察	高2	12月27日(金)	栃木県立宇都宮女子高等学校	16	自然課主任研究員 星 直斗・坂井 広人
研究の楽しさ・苦しさ・おもしろさ～野生動物の謎に迫る～	高1	1月10日(金)	栃木県立石橋高校	240	自然課長 林 光武
身近な地衣類	高3	1月14日(火)	栃木県立栃木農業高等学校	30	自然課主任研究員 坂井 広人
社会科・昔をしらべる	小3	1月16日(木)	宇都宮市立築瀬小学校	78	教育広報課係長 中村 智治・主査 辻 泰臣 解説嘱託員 荒川 沙緒理
総合・学校周辺の自然調査	小3～6	1月17日(金)	佐野市立出流原小学校	58	教育広報課長 柏村 勇二
社会科・昔をしらべる	小3	1月17日(金)	宇都宮市立御幸小学校	72	教育広報課係長 中村 智治・主査 辻 泰臣 学芸嘱託員 富田 恒男
身近な地衣類	高3	1月17日(金)	栃木県立上三川高等学校	24	自然課主任研究員 坂井 広人
社会科・昔をしらべる	小3	1月23日(木)	宇都宮市立瑞穂台小学校	136	教育広報課係長 中村 智治・主査 辻 泰臣 解説嘱託員 矢野 歩
社会科・昔をしらべる	小3	1月28日(火)	宇都宮市立泉ヶ丘小学校	125	人文課主任 大越 惟弘 教育広報課係長 中村 智治・主査 辻 泰臣
社会科・昔をしらべる	小3	2月4日(火)	栃木市立大宮南小学校	19	教育広報課主査 辻 泰臣 解説嘱託員 中田 愛
社会科・昔をしらべる	小3	2月5日(水)	下野市立薬師寺小学校	64	教育広報課係長 中村 智治・主査 辻 泰臣 解説嘱託員 青野 友花里
社会科・昔をしらべる	小3	2月6日(木)	宇都宮市立上河内西小学校	18	教育広報課主査 辻 泰臣・学芸嘱託員 富田 恒男
総合・学校周辺の自然調査	小3～6	2月6日(木)	佐野市立出流原小学校	58	教育広報課長 柏村 勇二
国語・平安貴族と百人一首	小4	2月7日(金)	宇都宮市立宝木小学校	115	教育広報課係長 中村 智治 解説嘱託員 落合 恵・細谷 桂子

教科・内容	対象	期 日	学 校 名	参加人数	講 師
社会科・昔をしらべる	小3	2月13日(木)	宇都宮市立姿川第一小学校	125	教育広報課係長 中村 智治・主査 辻 泰臣 学芸嘱託員 富田 恒男
社会科・昔をしらべる	小3	2月14日(金)	宇都宮市立陽東小学校	69	教育広報課係長 中村 智治・主査 辻 泰臣 解説嘱託員 阿見 滯臣
総合・学校周辺の自然調査	小3～6	2月17日(月)	佐野市立出流原小学校	58	教育広報課長 柏村 勇二
社会科・昔をしらべる	小3	2月18日(火)	宇都宮市立姿川第二小学校	120	教育広報課主査 辻 泰臣・学芸嘱託員 富田 恒男・解説嘱託員 相子 隆
社会科・昔をしらべる	小3	2月19日(水)	宇都宮市立雀宮東小学校	46	教育広報課係長 中村 智治・主査 辻 泰臣 解説嘱託員 矢野 歩
社会科・昔をしらべる	小3	2月20日(木)	茂木町立逆川小学校	6	教育広報課主査 辻 泰臣
身近な地衣類	高2	2月25日(火)	栃木県立矢板高等学校	10	自然課主任研究員 坂井 広人
社会科・昔をしらべる	小3	2月27日(木)	茂木町立茂木西小学校	57	教育広報課係長 中村 智治・主査 辻 泰臣 解説嘱託員 細谷 桂子
理科・化石を探る	中1・2	2月27日(木)	鹿沼市立板荷中学校	31	教育広報課長 柏村 勇二
貴族のくらし	年少～ 年長	2月28日(金)	仁神堂幼稚園	中止	教育広報課係長 中村 智治 解説嘱託員 中田 愛・落合 恵
合		計		4,859	

イ 来て！見て！学ぼう博物館！

教科・内容	対象	期 日	学 校 名	参加人数	講 師
理科 地層観察(宇都宮市八幡山公園) 博物館展示室見学 地層や化石についての講義 火山灰と鉱物 化石発掘	小6	10月11日(金)	鹿沼市立清洲第二小学校	8	教育広報課長 柏村 勇二
	小6	10月25日(金)	栃木市立国府南・大宮南小学校	14	教育広報課主査 辻 泰臣
	小6	10月29日(火)	宇都宮市立篠井小学校	17	教育広報課主査 辻 泰臣
	小6	11月 1日(金)	矢板市立乙畑小学校	15	教育広報課係長 中村 智治
	小6	11月 8日(金)	鹿沼市立南押原小学校	11	教育広報課係長 中村 智治
	小5・6	11月12日(火)	鹿沼市立上南摩小学校	8	教育広報課長 柏村 勇二
	小6	11月21日(木)	足利市立久野小学校	10	教育広報課長 柏村 勇二
	小6	11月22日(金)	大田原市立蛭田小学校	12	教育広報課係長 中村 智治
	小6	11月26日(火)	塩谷町立船生小学校	25	教育広報課主査 辻 泰臣
小6	11月28日(木)	大田原市立福原小学校	5	教育広報課主査 辻 泰臣	
合		計		125	

ウ 博物館体験プログラム

名 称	対象	期 日	学 校 名	参加人数	講 師
貴族のくらし	一般	5月24日(金)	シルバー大学校中央校	27	教育広報課係長 中村 智治・主査 辻 泰臣 解説嘱託員 阿見 滯臣・荒川 沙緒理
貴族のくらし・武士と鎧	小6	5月29日(水)	日光市立下原小学校	30	教育広報課係長 中村 智治・主査 辻 泰臣 解説嘱託員 阿見 滯臣・青野 友花里
武士と鎧	小6	7月2日(火)	宇都宮市立田原西小学校	47	教育広報課係長 中村 智治・主査 辻 泰臣 解説嘱託員 相子 隆・落合 恵
昔をしらべる	小1～高3	7月4日(木)	栃木県立のざわ特別支援学校	22	教育広報課解説嘱託員 荒川 沙緒理 細谷 桂子・杉山 道絵
貴族のくらし・武士と鎧	小6	7月10日(水)	大田原市立宇田川小学校	33	教育広報課係長 中村 智治・主査 辻 泰臣 解説嘱託員 矢野 歩・杉山 道絵
貴族のくらし	小6	7月19日(金)	宇都宮市立清原南小学校	86	教育広報課解説嘱託員 矢野 歩 細谷 桂子・阿見 滯臣
勾玉づくり	小学生	7月25日(木)	(株)ウェイク	6	教育広報課係長 中村 智治
昔をしらべる	小3	9月3日(火)	宇都宮市立東小学校	39	教育広報課係長 中村 智治 解説嘱託員 中田 愛
化石ひろい	小5	9月3日(火)	大田原市立奥沢小学校	14	教育広報課主査 辻 泰臣 解説嘱託員 杉山 道絵
貴族のくらし・武士と鎧	小6	9月20日(金)	日光市立足尾小学校	9	教育広報課解説嘱託員 長島 晃華・相子 隆
昔をしらべる	小3	11月7日(木)	宇都宮市立城東小学校	75	教育広報課係長 中村 智治・主査 辻 泰臣 学芸嘱託員 富田 恒男 解説嘱託員 青野 友花里
化石ひろい	小6	11月13日(水)	上三川町立明治南小学校	30	教育広報課係長 中村 智治
化石ひろい	小6	11月26日(火)	上三川町立明治小学校	62	教育広報課係長 中村 智治
昔をしらべる	小3	11月29日(金)	宇都宮市立新田小学校	98	教育広報課係長 中村 智治・主査 辻 泰臣 解説嘱託員 落合 恵
昔をしらべる	小3	12月10日(火)	宇都宮市立峰小学校	84	教育広報課係長 中村 智治・主査 辻 泰臣
勾玉づくり・貴族のくらし	小1～小6	12月12日(木)	日光市立栗山小学校	6	教育広報課係長 中村 智治 解説嘱託員
武士と鎧	小4～小6	12月17日(火)	鹿沼市立池ノ森小学校	12	教育広報課係長 中村 智治・主査 辻 泰臣
化石発掘	小学生	12月26日(木)	(株)ウェイク	52	教育広報課主査 辻 泰臣
昔をしらべる	高1	1月9日(木)	栃木県立特別支援学校 宇都宮青葉高等学園	99	教育広報課主査 辻 泰臣・解説嘱託員 中田 愛・阿見 滯臣・相子 隆
化石ひろい	小6	1月24日(金)	矢板市立片岡小学校	50	教育広報課学芸嘱託員 池田 哲夫
化石ひろい	小6	2月7日(金)	上三川町立本郷北小学校	72	教育広報課主査 辻 泰臣
武士と鎧・昔をしらべる	小1～3	3月31日(火)	まこと幼稚園 After School 夢の学舎	中止	教育広報課係長 中村 智治・主査 辻 泰臣
合 計				953	

エ スーパー・サイエンス・ハイスクール (SSH)

内 容	対象	期 日	学 校 名	参加人数	講 師
地層観察、化石採取、化石クリーニング	高1～3	10月20日(日)	埼玉県立不動岡高等学校	30	教育広報課長 柏村 勇二
講義、化石クリーニング、同定、化石を 探る	高1	12月 1日(日)	栃木県立足利高等学校	23	教育広報課長 柏村 勇二
合		計		53	

オ 社会体験学習

教科・内容	対象	期 日	学 校 名	参加人数	講 師
マイ・チャレンジ推進事業 第1日目 教育広報課 ・博物館の説明・館内見学 ・解説員業務補助体験 第2日目 人文課 ・資料の整理等 教育広報課 ・解説員業務補助体験 第3日目 自然課 ・資料の整理等 教育広報課 ・普及教育活動補助体験 第4日目 教育広報課 ・普及教育活動補助体験 ・情報交換会	中2	6月11日(火) ～14日(金)	宇都宮市立田原中学校	1	教育広報課 自然課 人文課
	中2	8月28日(水) ～30日(金)	鹿沼市立南押原中学校	1	
	中2	10月 1日(火) ～ 4日(金)	宇都宮市立宝木中学校	5	
	中2	10月29日(火)～ 11月 1日(金)	宇都宮市立旭中学校	5	
	中2	11月11日(火) ～15日(金)	宇都宮市立横川中学校	3	
	中2	11月14日(木) ～15日(金)	宇都宮大学教育学部附 属中学校	2	
	中2	11月19日(火) ～22日(金)	真岡市立真岡中学校	1	
	中2	11月26日(火) ～29日(金)	宇都宮市立陽南中学校	5	
	中2	12月 3日(火) ～ 6日(金)	宇都宮市立宮の原中学校	5	
インターンシップ 第1日目 教育広報課(博物館の説明・ 館内見学・解説員業務補助体験) 第2日目 人文課(資料の整理等)、教 育広報課(解説員業務補助体験) 第3日目 自然課(資料の整理等)、教 育広報課(普及教育活動補助体験) 第4日目 教育広報課(普及教育活動 補助体験・情報交換会)	大3	9月18日(水) ～20日(金)	東北芸術工科大学	1	教育広報課 自然課 人文課
合		計		29	

カ 教員研修

名 称	期 日	会 場	参加人数	講 師
体験しまSHOW博物館！ 衣装編	5月10日(金)	博物館研修室	0	教育広報課係長 中村 智治・主査 辻 泰臣
体験しまSHOW博物館！ 衣装編	5月11日(土)	博物館研修室	1	教育広報課主査 辻 泰臣 解説嘱託員 杉山 道絵・相子 隆
中堅教諭等資質向上研修(高・特)	5月28日(火)	栃木県総合教育センター	64	教育広報課係長 中村 智治・主査 辻 泰臣
教職5年目研修(小・中)	6月20日(木)	栃木県総合教育センター	269	教育広報課主査 辻 泰臣
教職(高・特)、実習助手、寄宿舎指導員5年目研修	7月 1日(月)	栃木県総合教育センター	105	教育広報課係長 中村 智治
大田原市教員研修会「地層はぎ取り」	7月31日(水)	那須塩原市(野外)	16	教育広報課長 柏村 勇二
宇都宮市理科同好会巡検	8月 3日(土)	那須烏山市(野外)	11	教育広報課長 柏村 勇二
～教員のための博物館研修～ 体験しまSHOW博物館！ 地学編	8月 8日(木)	博物館研修室	10	教育広報課長 柏村 勇二
～教員のための博物館研修～ 体験しまSHOW博物館！ 博物館を活用しよう編	8月 9日(金)	博物館研修室	1	教育広報課係長 中村 智治 主査 辻 泰臣
鹿沼市教育委員会理科部会研修	8月19日(月)	宇都宮市(野外)	17	自然課主任 吉田 貴洋 自然課主任 河野 重範
栃木県総合教育センター理科専門研修 I ～地学分野の指導法～	8月20日(月)	佐野市(野外)、 佐野市立出流原小学校	55	教育広報課長 柏村 勇二
佐野市立出流原小学校教員現職研修～地学分野の指導法～	8月20日(月)	佐野市(野外)、 佐野市立出流原小学校	12	教育広報課長 柏村 勇二
初任者研修(高・特)	9月12日(木)	栃木県総合教育センター	120	教育広報課主査 辻 泰臣
初任者研修(高・特)地歴公民科・理科	9月12日(木)	栃木県総合教育センター	23	教育広報課長 柏村 勇二・係長 中村 智治
中堅教諭等資質向上研修(小・中)	10月24日(木)	栃木県総合教育センター	180	教育広報課主査 辻 泰臣
初任者研修(小・中)	12月 3日(火)	栃木県総合教育センター	198	教育広報課主査 辻 泰臣
初任者研修(小・中)	12月 5日(木)	栃木県総合教育センター	171	教育広報課係長 中村 智治
合 計			1,253	

キ とちぎ子どもの未来創造大学

名 称	対象	期 日	内 容	参加人数	講 師
化石発掘隊・木の葉化石編Ⅰ	小4～中 3、保護 者	7月15日(月)	地層観察、木の葉化石園 見学、化石採取	79	教育広報課長 柏村 勇二
化石発掘隊・化石三昧編Ⅰー野外ー		7月25日(木)	地層観察、化石採取	69	教育広報課長 柏村 勇二
化石発掘隊・化石三昧編Ⅰー室内ー		7月26日(金)	採取化石のクリーニング、 同定	67	教育広報課長 柏村 勇二
恐竜教室(出前・佐野市)		7月29日(月)	恐竜についての講義、レ プリカ作り	32	教育広報課長 柏村 勇二
恐竜教室(出前・壬生町)		8月 1日(木)	恐竜についての講義、レ プリカ作り	38	教育広報課長 柏村 勇二
恐竜教室		8月 2日(金)	恐竜についての講義、レ プリカ作り	108	教育広報課長 柏村 勇二
まが玉をつくろう		8月 5日(月)	勾玉の解説と製作体験	18	教育広報課主査 辻 泰臣
化石発掘隊・化石三昧編Ⅱー野外ー		8月 6日(火)	地層観察、化石採取	72	教育広報課長 柏村 勇二
化石発掘隊・化石三昧編Ⅱー室内ー		8月 7日(水)	採取化石のクリーニング、 同定	56	教育広報課長 柏村 勇二
まが玉をつくろう		8月 7日(水)	勾玉の解説と製作体験	58	教育広報課主査 辻 泰臣
とちぎの化石～木の葉化石編・化石を 探そう～(出前・日光市)		8月 9日(金)	地層、化石についての講 義、化石取り出し体験	32	教育広報課長 柏村 勇二
まが玉をつくろう		8月10日(土)	勾玉の解説と製作体験	48	教育広報課係長 中村 智治
化石発掘隊・木の葉化石編Ⅱ		8月17日(土)	地層観察、木の葉化石園 見学、化石採取	84	教育広報課長 柏村 勇二
恐竜教室(出前・野木町)		8月18日(日)	恐竜についての講義、レ プリカ作り	38	教育広報課長 柏村 勇二
恐竜教室(出前・小山市)		8月25日(日)	恐竜についての講義、レ プリカ作り	62	教育広報課長 柏村 勇二
恐竜教室(出前・那須烏山市)		8月28日(水)	恐竜についての講義、レ プリカ作り	21	教育広報課長 柏村 勇二
恐竜教室(出前・矢板市)		9月 1日(日)	恐竜についての講義、レ プリカ作り	31	教育広報課長 柏村 勇二
十二単と鎧を着てみよう		9月21日(土)	十二単と鎧の解説と試着 体験	36	教育広報課係長 中村 智治 解説嘱託員 落合 恵・長島 晃華
とちぎの化石～木の葉化石編1～		10月14日(月)	地層、化石についての講 義、化石取り出し体験	54	教育広報課長 柏村 勇二
十二単と鎧を着てみよう		10月27日(日)	十二単と鎧の解説と試着 体験	42	教育広報課主査 辻 泰臣 解説嘱託員 落合 恵
とちぎの化石～木の葉化石編2～		11月 2日(土)	地層、化石についての講 義、化石取り出し体験	42	教育広報課長 柏村 勇二
十二単と鎧を着てみよう		11月 9日(土)	十二単と鎧の解説と試着 体験	27	教育広報課主査 辻 泰臣 解説嘱託員 青野 友花里
とちぎの化石～木の葉化石編・化石を 探そう～(出前・那須塩原市)		11月 9日(土)	原石からの化石取り出し 体験	32	教育広報課長 柏村 勇二
化石を探る		11月16日(土)	化石に含まれる情報の取 り出し体験	20	教育広報課長 柏村 勇二
化石からみた生物の進化		11月30日(土)	化石記録をもとに生物の 進化を考える	48	教育広報課長 柏村 勇二
特別講座県内コース「日本列島の成り 立ちと自然災害」		1月11日(土)	日本の自然災害はなぜ起 こるのか	20	教育広報課長 柏村 勇二
特別講座県内コース「君も一日考古学 者」		1月11日(土)	縄文土器の拓本と烏帽子 作り	20	人文課主任研究員 馬籠 和哉 学芸嘱託員 中山 真理
合 計				1,254	

(8) 県立博物館の日イベント

当館では、より多くの県民に来館していただき、県民に親しまれる博物館を実現するとともに、博物館事業をPRしていくため、平成26年度から毎月第3日曜日に「県立博物館の日イベント」を開催している。令和元年度の事業実績は以下のとおり。

期 日	博物館 利用者数	行 事	参加者数	備 考
4月21日	1,198	コンサート、ファッションショー、ダンス等	896	宇都宮短期大学附属中学校・高校
		クイズにチャレンジ	26	
		とっておき講座	20	「カエデの花って見たことある？」
		百人一首読み札ぬり絵	47	
		キッズツアー	18	「日光にいるよ！ねむりねこ」
5月19日	654	コンサート	101	能楽ワークショップ
		クイズにチャレンジ	19	
		とっておき講座	135	「古代・東山道から中世・鎌倉街道へ」
		百人一首読み札ぬり絵	41	
		キッズツアー	32	「ぐるり。模様めぐり。～昆虫と日本の歴史～」
6月16日	1,119	コンサート	281	マロニエウインドオーケストラ(県職現役・OB)
		クイズにチャレンジ	39	
		とっておき講座	150	「中世・鎌倉街道から近世・日光、奥州道中へ」
		百人一首読み札ぬり絵	43	
		キッズツアー	28	「鳥獣戯画からみつけてみよう！～動物達と伝統文化～」
7月21日	1,846	コンサート	1,242	宇都宮女子高校合唱部・オーケストラ部
		クイズにチャレンジ	48	
		とっておき講座	32	「いろいろな冬虫夏草をみてみよう」
		百人一首読み札ぬり絵	54	
		キッズツアー	32	「日光にいるよ！ねむりねこ」
8月18日	769	コンサート	179	壬生少年少女合唱団
		クイズにチャレンジ	58	
		とっておき講座	21	「戦時下沖縄の警察部長 荒井退造—辞令と写真からたどる足跡—」
		百人一首読み札ぬり絵	65	
		キッズツアー	19	「あたまの骨をくらべてみよう！」
9月15日	766	コンサート	126	栃木県オペラ協会
		クイズにチャレンジ	41	
		とっておき講座	57	「栃木県のキノコと地衣類」
		百人一首読み札ぬり絵	42	
		キッズツアー	35	「キノコの話」

期 日	博物館 利用者数	行 事	参加者数	備 考
10月20日	828	コンサート	234	ブルートレイン(ジャズ・サクソ)
		クイズにチャレンジ	39	
		とっておき講座(自然)	22	「写真で見る栃木の昭和の暮らし」
		百人一首読み札ぬり絵	32	
		キッズツアー	15	「ノスタルジーってなんだろう？ちよつと昔にタイムスリップ！！」
11月17日	1,001	コンサート	294	那須塩原市 子ども疏水太鼓
		物販「那須塩原市名物広場」	5店舗	那須塩原市(千本松牧場他5店舗出店)
		クイズにチャレンジ	48	
		とっておき講座	9	「昭和こぼれ話」
		百人一首読み札ぬり絵	49	
		キッズツアー	33	「武器やよろいの話」
12月15日	405	コンサート	138	能満寺ハンドベルエコーベルフラワーズ
		クイズにチャレンジ	27	
		とっておき講座	11	「昭和天皇と栃木の植物」
		百人一首読み札ぬり絵	24	
		キッズツアー	14	「ネズコレフレンズ」
1月19日	702	コンサート	230	Brand-new Something(ゴスペル)
		クイズにチャレンジ	42	
		とっておき講座	15	「名所絵と旅」
		野鳥観察会	60	中央公園連携事業
		百人一首読み札ぬり絵	16	
		キッズツアー	25	「どぐうのふしぎ」
2月16日	562	コンサート	174	宇都宮大学マンドリンクラブ
		クイズにチャレンジ	30	
		とっておき講座	2	「発見！ボクが見つけた化石の新産地」
		百人一首読み札ぬり絵	65	
		キッズツアー	22	「おもしろお城ツアー」
3月15日	中止	コンサート	中止	宇都宮南高校吹奏楽部
		クイズにチャレンジ	中止	
		とっておき講座	中止	「骨が教えてくれること」
		百人一首読み札ぬり絵	中止	
		キッズツアー	中止	「魚の話」
合 計	9,850		5,597	

(9)ミュージアムツアー(定時解説)

担当…解説嘱託員

開催日…毎週土曜日、日曜日(「県立博物館の日イベント」実施日を除く)、祝日

時間…13:30～

対象…希望者

内容…企画展・テーマ展・展示室1・展示室2・スロープ展示に関する解説と案内

(10)広報・広聴事業

種類	内容	規格等
①ポスターの発行	・企画展 下野の鎌倉街道―道を行き交う人と物― ・企画展 キノコと地衣類―菌類って不思議!― ・企画展 昭和ノスタルジー―なつかしい栃木の情景―	B2(4色) B2(4色) B2(4色)
②リーフレットの発行	・2019年度年間行事案内 ・観覧のしおり ・テーマ展リーフレット 3館連携共通テーマ展・もみじとカエデ、 栃木の畑作―麻・麦・かんぴょう―、 戦時下沖縄の警察部長 荒井退造―辞令と写真からたどる足跡―、 小泉斐にいたる道―下野の画人を育てた近江商人 島崎雲圃―、 冬虫夏草―虫から生える不思議なキノコ―、 昭和天皇の生物学御研究、 おじいさんやおばあさんの子どものころの暮らし、 名所絵―旅する絵画―、 栃木の年中行事、 中世下野の歴史物語の世界―「玉藻前草子」と幸若舞曲「信田」―、 栃木の海と貝塚、骨が語る動物の秘密	420×210(巻き ジャバラ折り4色) A3(4色、両面印 刷、中折り)
③県広報媒体を利用したの 広報	・県民だより ・とちぎ放送「県政ひとくちメモ」 ・県政スクランブル―栃木放送	広報誌・新聞・ラ ジオ・テレビ等
④報道機関への情報提供	・県政記者クラブ ・支局への資料提供 ・取材依頼 ・取材協力	タウン誌等
⑤出版社等への情報提供	・資料提供 ・取材依頼 ・取材協力	
⑥市町広報担当等への情報 提供	・資料提供	市町発行誌
⑦有料広告	・企画展 下野の鎌倉街道―道を行き交う人と物― ・企画展 キノコと地衣類―菌類って不思議!― ・企画展 昭和ノスタルジー―なつかしい栃木の情景―	フリーペーパー 新聞 タウン誌
⑧読者プレゼント提供による 記事掲載	・企画展招待券、通常招待券	フリーペーパー 新聞 タウン誌
⑨入館者からの意見聴取	・月例アンケート調査(毎月第3日曜日に実施) ・企画展アンケート ・学校団体アンケート調査(随時) ・一般団体アンケート調査(随時) ・常設アンケート調査 ・行事参加者へのアンケート調査	
⑩インターネットを利用した の広報	・ホームページ運営 http://www.muse.pref.tochigi.lg.jp/ ・各種検索サイトへの登録 ・他機関サイトとの相互リンク ・栃木県公式ホームページ ・栃木県立博物館 Twitter ・栃木県立博物館 Facebook	
⑪近隣自治体への情報提供	・各企画展のポスター掲示 ・各企画展のチラシの回覧	

(11) 出版事業

博物館の調査研究成果を発表し、利用者の便宜を図るため、次の図書等を発行した。

① 図録

企画展「キノコと地衣類～菌類って不思議！～」

企画展「昭和ノスタルジー

—なつかしい栃木の情景—

企画展「生誕 250 年記念 偉大なる無名画家小泉斐」

② 研究紀要—自然—第 37 号

研究紀要—人文—第 37 号

③ 年報第 37 号

④ 調査研究報告書

(12) 博物館実習生の指導

当館では開館翌年の昭和 58 年から博物館実習生を受け入れ、昭和 62 年には「栃木県立博物館実習生受け入れ要綱」を制定し、以後はそれに従って実習生の指導にあっている。近年、実習を希望している学生が多様化していることから、平成 12 年度より実習中心のコースと講義中心のコースの 2 つに分けて実習生を受け入れることとし、受け入れ要綱を一部改正した。

本年度は計 18 大学 33 名の学生を受け入れ、実習中心のコースは 13 名、講義中心のコースは 20 名にて実習を行った。

実習日程(実習中心コース)

第 1 日 7 月 23 日(火)

開講式(齋藤館長)

博物館の概要(江田学芸部長)

企画展見学(坂井主任研究員)

バックヤード・常設展見学(実習担当)

人文系学芸活動について(篠崎人文課長)

自然系学芸活動について(河野主任)

教育広報活動について(中村係長)

各担当者との打ち合わせ

第 2 日～第 6 日

各担当者との打ち合わせによる実習(10 月末日まで)

実習日程(講義中心コース)

第 1 日～第 6 日

9 月 5 日(水)

開講式(齋藤館長)

学芸部長講話(江田学芸部長)

館内展示等自由見学

人文系の博物館活動(篠崎人文課長)

自然系の博物館活動(林自然課長)

友の会の活動について(渡辺事務局長)

9 月 6 日(木)

博物館の教育広報活動(柏村教育広報課長)

館内バックヤード見学(実習担当)

人文系資料の収集と整理(大越主任)

自然系の普及教育活動(河野主任)

情報管理、ホームページについて(辻主査)

9 月 10 日(火)

人文系の普及教育活動(馬籠主任研究員)

自然系資料の収集と整理(南谷主任)

人文系の展示(馬籠主任研究員)

自然系の展示(南谷主任)

9 月 11 日(水)

班別実習

考古・歴史・民俗・美術工芸・動物・植物・地学

9 月 12 日(木)

班別実習

考古・歴史・民俗・美術工芸・動物・植物・地学

9 月 13 日(金)

班別実習

考古・歴史・民俗・美術工芸・動物・植物・地学

閉講式

この他に、各大学における学芸員課程の一環として、下記大学の学生の見学を受け入れた。

國學院大學栃木短期大学 6 月 2 日(日)

日本大学 10 月 29 日(火)

文星芸術大学 11 月 13 日(水)

茨城キリスト教大学 11 月 15 日(金)

(13) 県版レッドリスト・レッドデータブック改訂事業

県版レッドリスト・レッドデータブック改訂事業(主管課: 県環境森林部自然環境課)において、第 4 次レッドリスト策定のための希少種等の調査への指導・助言、調査による採集資料の標本化・保存、調査データの精査・分析等を行った。

(担当 自然課)

(14) 館内オープンスペースの活用

当館のエントランスはオープンスペースとして、より多くの県民が気軽に利用できるよう整備し、毎月第 3 日曜日に開催する県博デーイベントなどを中心に情報発信の場や憩いの場として活用されている。

(担当 教育広報課)

令和元年度 栃木県立博物館 催し物一覧

月	4	5	6	7	8	9
企画展	27	下野の鎌倉街道-道を行き来う人と物-	16	13	キノコと地衣類 菌類って不思議！-	23
テーマ展		もみじとカエデ	16	13	戦時下沖繩の警察部長 荒井退造 辞令と写真からたどる足跡-	23
				13	小泉斐にいたる道 下野の兩人を育てた近江商人 鳥嶋雲門-	23
				13	栃木の畑作-麻・麦・かんぴょう-	23
				13	冬虫夏草-虫から生える不思議なキノコ-	23
ロビー展示	←	いろいろな時代の衣装と道具(4月~5月) 響午の鎌倉一巻-(朝月中旬~5月中旬)	昆虫ってなあに	←	宇都宮と百人一首(7月~8月) 古代の衣装-七夕編-(7月~8月中旬)	スロープ展示の仲間をしよう!
企画展関連行事	講演会	12記念講演会			25記念講演会	
	講座等	5プレ企画(昭和ノスタルジー) 27開会式・オープニング講座 30関連講座	19学芸員とっておき講座① 22プレ企画(昭和ノスタルジー) 26シンポジウム	8・11・15プレ企画(昭和ノスタルジー) 16学芸員とっておき講座②	13開会式・オープニング講座 24プレ企画(昭和ノスタルジー)	15学芸員とっておき講座
展示解説等	企画展関連	3展示解説①	8展示解説②	15展示解説①	17展示解説②	16展示解説③
	テーマ展関連	7展示解説②もみじとカエデ	26展示解説③もみじとカエデ	27展示解説 冬虫夏草	3展示解説 荒井退造 4展示解説 栃木の畑作 31展示解説 冬虫夏草	7展示解説 小泉斐にいたる道
観察会	14スミレをさがそう 20春の磯を覗いてみよう	4夜の観察会「カエルとサンショウウオのタベ」 18ナスヒオウギアヤマ鑑賞会	1モリアオガエル観察会	28日光・湯元の昆虫観察会	3木の葉化石をしらべよう	7カレーに变身！米物語 22土の中のワンダーランド！土の中の生きものを探そう 23キノコの観察会in中央公園 28パッタはかせを目指せ！
講座	考古	19とっておき講座「古代・東山道から中世・鎌倉街道へ」	16とっておき講座「中世・鎌倉街道から近世・日光、奥州道中へ」			
	歴史				18とっておき講座「戦時下沖繩の警察部長 荒井退造—辞令と写真からたどる足跡—」	
	民俗				28栃木の民話語り	
	植物	21とっておき講座「カエデの花って見たことある？」			21とっておき講座「いろいろな冬虫夏草を見てみよう」	15とっておき講座「栃木県のキノコと地衣類」
	動物	18ミジンコやアオミドロを見てみよう	15生物・地学収蔵庫ガイド		10昆虫標本をつくらう	
	地学	29.30とちぎの化石	2日本列島の成り立ちと自然災害		27カチカチ発電機をつくらう！-鉱物をヒントに生まれた発明-	16化石からみた生物の進化
	総合					
県博デー	コンサート	21宇都宮短期大学附属中学校・高校	19能楽ワークショップ	16マロニエウインドオーケストラ(県職現役・OB)	21宇都宮女子高校合唱部・オーケストラ部	18壬生少年少女合唱団
	キッズツアー	21日光にいるよ！ねむりねこ	19ぐるり。模様めぐり。～昆虫と日本の歴史～	16鳥獣戯画からみつけてみよう！～動物達と伝統文化～	21日光にいるよ！ねむりねこ	18あたまの骨をくらべてみよう！
	クイズにチャレンジ	21	19	16	21	18
	体験活動	21百人一首読み札塗り絵	19百人一首読み札塗り絵	16百人一首読み札塗り絵	21百人一首読み札塗り絵	18百人一首読み札塗り絵
教員研修		10.11体験しまSHOW 博物館！衣装編			8体験しまSHOW 博物館！地学編 9体験しまSHOW 博物館！博物館を活用しよう編	
体験学習・体験活動(博やる)	20百人一首教室 28十二単を着てみよう	5鎧を着てみよう 18百人一首教室	2手ぬぐいでミニ巾着をつくらう 9百人一首教室	7百人一首教室 26夏休み宿題応援企画！アワ・あわ・バブル・しゃぼんだま	2七夕飾りをつくらう 13百人一首教室 16夏休み宿題応援企画！来て見て書こう！見学新聞	8まゆ玉でお月見うさぎをつくらう 14百人一首教室 28古墳時代の衣装を着てみよう
定時解説	←					
市町連携事業	地域移動博共催展			4/27~6/30 13匹のカエルと5匹のサンショウウオ(那須塩原市)	7/6~8/25 ザ・博物館(高根沢町)	7/20~9/1 貝を見ているかい！ 7/20~9/1 みんなおいでよ！昆虫(上三川町) 7/20~9/1 恐竜(小山市) 7/27~9/1 鉱物の宝石箱〜きら(宇都宮市)
	移動講座	28記録をすると分かること—自然観察のここがおもしろい！—(那須塩原市)	2芳賀町の自然と消えゆく植物(芳賀町)	28一日学芸員体験(高根沢町) 31火山灰は宝石箱(足利市)	3昆虫標本をつくってみよう！(佐野市) 4一日学芸員体験(高根沢町) 4火山灰は宝石箱(さくら市) 6夏休み企画！虫博士になろう！〜標本づくり体験〜 9火山灰は宝石箱(宇都宮市) 24ジオパーク構想教室(那須烏山市) 24昆虫について(塩谷町)	14掘れば出てくる化石と温泉—化石編①—(那須町) 21掘れば出てくる化石と温泉—化石編②—(那須町)
	博物館へ行くこう			30高根沢町	4那須烏山市 7下野市 21高根沢町	
備考			6/18 ← →	7/1燻蒸期間		
博物館協会		6栃博協第1回理事会・総会・講演会 14関博協総会・第1回研究会				

10	11	12	1	2	3
昭和ノスタルジー—なつかしい栃木の情景— 12<					
		14< おじいさんやおばあさんの子どものころの暮らし	11< 名所絵—旅する絵画—> 9	22< 中世下野の歴史物語の世界「玉葉前草子」と幸若舞曲「信田」>	22< 栃木の海と貝塚
		26< 昭和天皇の生物学御研究 > 19	11< 栃木の年中行事 > 9	22< あつまれ！自然好き—ボク—発表 > 1	14< 骨が語る動物の秘密
大地のつくりと変化(10月～11月)		おじいさんやおばあさんの子どもの暮らし—昭和中期—(12月～1月)		身のまわりの石たち(2月～3月)	
		昔の道具とくらし(12月～2月中旬)		みやびな衣装+ひなまつり(2月中旬～3月中旬)	
12開会式・オープニング講座(中止) 18・29学芸員と茶飲み話 20学芸員とおき講座① 27昭和の暮らし実演・体験	2・13学芸員と茶飲み話 3・10昭和の暮らし実演・体験 17学芸員とおき講座② 19～24栃木の手仕事実演・体験				
25展示解説①	9展示解説②				
		8展示解説①昭和天皇	11,18,25おじいさんやおばあさんの民話語り 12展示解説②昭和天皇 26展示解説 栃木の年中行事	11,8,15,22おじいさんやおばあさんの民話語り 2展示解説 名所絵 29展示解説 中世下野	
19めざせ！ゴールドハンター☆砂金を探せ！					
			19とおき講座「名所絵と旅」		
20とおき講座「写真で見る栃木の昭和の暮らし」	17とおき講座「昭和こぼれ話」				
		15とおき講座「昭和天皇と栃木の植物」	18電子顕微鏡でキノコや地衣類を見てみよう		
	3生物・地学収蔵庫ガイド			23活動・研究発表会「あつまれ！自然好き」	
	9火山灰は宝石箱	14歯科材料でつくるアンモナイト化石のレプリカ		16とおき講座「発見！ボクが見つけた化石の新産地」	
20ブルートレイン(ジャズ・サックス)	17那須塩原市 子ども疏水太鼓	15能満寺ハンドベルエコーベルフラワーズ	19Brand-new Something	16宇都宮大学マンドリンクラブ	
20ノスタルジーってなんだろう？ちょっと昔にタイムスリップ！！	17武器やよいの話	15ネズコレフレズ	19どぐうのふしぎ	16おもしろお城ツアー	
20	17	15	19	16	
20百人一首読み札塗り絵	17百人一首読み札塗り絵	15百人一首読み札塗り絵	19百人一首読み札塗り絵	16百人一首読み札塗り絵	
13十二単を着てみよう 26わかびったん	2鐘を着てみよう 16百人一首教室 30紙すきでオリジナルハガキづくり	8古墳時代の衣装を着てみよう 21百人一首教室 22木の実クラフトをつくろう	5百人一首教室 11体験！ちよっと昔の暮らし 13十二単を着てみよう	9化石ざんまい 11鐘を着てみよう 24百人一首教室	
12日 台風のため休館					6日～24日まで新型コロナウイルスのため休館 14栃博協第2回理事会・学芸活動奨励賞授賞式・報告会(すべて紙面開催)

Ⅱ 諸統計

1 令和元年度入館者統計

平成30年度 229,715人

令和元年度の入館状況は、下表に示すように開館日数275日、入館者220,667人、一日平均289.6人であった。本年度入館者数は前年度から9,048人の減であったが、昭和57年の開設以来の累計は5,965,085人となった。令和元年度の入館区分の人数及びその構成は、下表のとおりである。入館者を月別にみると、6月がもっとも多く、次いで7月、8月の順となり、企画展やテーマ展の開催、移動博物館市町連携事業の地域移動博物館等の実施が主な要因となっている。

入館状況

年度	月	開館日数	有 料 入 館									
			個人				団体					
			一般	大学生 高校生	中学生 小学生	小計	団体数	一般	大学生 高校生	中学生 小学生	小計	
昭和57年10月 から平成31年 3月まで		日	人	人	人	人	組	人	人	人	人	
		10,584	1,404,349	72,082	378,315	1,854,746	7,737	294,716	3,165	44,592	342,473	
令和 元 年 度	4	26	1,685	63		1,748	2	142	4		146	
	5	27	2,517	123		2,640	1	153	4		157	
	6	14	860	30		890	1	85	4		89	
	7	26	2,663	96		2,759	1	134	37		171	
	8	27	4,240	198		4,438		149	5		154	
	9	25	2,692	105		2,797	2	181	2		183	
	10	25	1,735	38		1,773		77			77	
	11	26	2,792	61		2,853	2	150	4		154	
	12	23	922	36		958		43			43	
	1	23	1,338	41		1,379	1	106	2		108	
	2	24	1,688	56		1,744	2	169	2		171	
	3	9	283	33		316		33	1		34	
	計		275	23,415	880		24,295	12	1,422	65		1487
	1日あたり平均			85.1	3.2		88.3	0.0	5.2	0.2		5.4
累計			10,859	1,427,764	72,962	378,315	1,879,041	7,749	296,138	3,230	44,592	343,960

また、免除団体231団体のうち134団体が学校教育法に基づく学校となっている。学校種別にみると小学校が95校 4,010人と最も多い。11月～2月が多いのは、遠足シーズンのほか小学校3年生で行う社会科の授業にあわせた展示「おじいさんやおばあさんの子どものころの暮らし」を、12月中旬から4月上旬まで開催しているためである。

計	免除団体		招待者等	第2・4土曜 注(1)	小中学生 (個人) 注(2)	特別観覧等 注(3)	合計	移動博物館等 注(4)	総計	一日あたり平均 注(5)
	団体数	人数								
人	組	人	人	人	人	人	人	人	人	人
2,197,219	12,019	883,719	141,002	7,876	171,948	961,983	4,363,747	1,380,671	5,744,418	
1,894	3	132	228		680	2,919	5,853	679	6,532	225.1
2,797	19	779	532		771	2,316	7,195	15,540	22,735	266.5
979	11	2,388	417		560	2,913	7,257	64,402	71,659	518.4
2,930	31	787	315		1,122	3,288	8,442	33,457	41,899	324.7
4,592	20	541	517		2,310	2,630	10,590	17,312	27,902	392.2
2,980	23	959	523		875	2,346	7,683	1,979	9,662	307.3
1,850	17	1,031	331		801	2,250	6,263	1,414	7,677	250.5
3,007	52	2,759	956		1,007	3,665	11,394	3,561	14,955	438.2
1,001	15	793	47		396	1,325	3,562	910	4,472	154.9
1,487	24	1,205	69		417	1,788	4,966	822	5,788	215.9
1,915	15	818	110		541	2,080	5,464	951	6,415	227.7
350	1	27	21		140	433	971	0	971	107.9
25,782	231	12,219	4,066		9,620	27,953	79,640	141,027	220,667	289.6
93.8	0.8	44.4	14.8		35.0	101.6	289.6	512.8	802.4	
2,223,001	12,250	895,938	145,068	7,876	181,568	989,936	4,443,387	1,521,698	5,965,085	

- 注 (1) 第2・第4土曜の観覧は小・中学生で統計は平成9年度から平成13年度までである。
 (2) 小中学生(個人)は平成14年度からである。
 (3) 特別観覧等は優待券、事業参加者、業務調査、幼児等である。
 (4) 移動博物館等は地域移動博物館等である。
 (5) 一日あたり平均は移動博物館等入館者数を除いた数である。

有料団体入館状況

年度	月	団			体						種									
		国・県 市町村		市町村 教委	公民館		女性団体等		老人会		子供会		PTA		研修会等		事業所			
昭和57年10月から平成31年3月まで		組	人	組	人	組	人	組	人	組	人	組	人	組	人	組	人			
		486	16,696	288	10,594	528	19,167	807	26,397	891	33,009	1,041	49,078	939	40,865	921	37,130	766	35,091	
令和 元 年度	4																	1	24	
	5																			
	6					1	26													
	7																			
	8																			
	9																		1	27
	10																			
	11																			
	12																			
	1																		1	27
	2																			
	3																			
	計		0	0	0	0	1	26	0	0	0	0	0	0	0	0	1	27	2	51
累計		486	16,696	288	10,594	529	19,193	807	26,397	891	33,009	1,041	49,078	939	40,865	922	37,157	768	35,142	

観覧料免除団体のうち学校教育法第1条に基づく学校引率団体入館状況

年度	月	学			校									種					
		幼稚園			小学校			中学校			義務教育学校			高等学校			特別支援学校		
		園数	園児	引率	校数	児童	引率	校数	生徒	引率	校数	生徒	引率	校数	生徒	引率	校数	生徒	引率
昭和57年10月から平成31年3月まで		116	6,363	801	5,396	346,895	20,148	769	71,988	4,029	1	78	5	620	97,124	4,665	558	16,447	3,738
令和 元 年度	4	1	81	9															
	5	1	90	9	3	240	15												
	6				1	11	2												
	7				7	310	21	2	36	4				2	46	4	4	51	36
	8	1	20	3	1	14	4							2	68	9			
	9				9	271	30				2	88	8				2	36	23
	10	1	59	6	7	86	45							1	2	36			
	11	3	149	23	30	1,153	85												
	12	1	88	7	10	609	40	1	3	2				1	8	2			
	1				18	827	55										1	74	21
	2	2	72	12	9	489	29	2	166	13									
	3	1	22	5															
	計		11	581	74	95	4,010	326	5	205	19	2	88	8	6	124	51	7	161
累計		127	6,944	875	5,491	350,905	20,474	774	72,193	4,048	3	166	13	620	97,248	4,716	565	16,608	3,818

別			所在地別												
観光		その他		合計		市内		県内		県外		不明		合計	
組	人	組	人	組	人	組	人	組	人	組	人	組	人	組	人
346	17,686	724	45,232	7,737	330,945	757	44,841	4,020	159,864	2,940	124,066	20	2,174	7,737	330,945
		1	35	2	59	1	35	1	24					2	59
				0	0									0	0
				1	26			1	26					1	26
		2	41	2	41	2	41							2	41
				0	0									0	0
		1	42	2	69	1	27			1	42			2	69
				0	0									0	0
		2	45	2	45			1	22	1	23			2	45
				0	0									0	0
				1	27			1	27					1	27
		2	62	2	62			2	62					2	62
				0	0									0	0
0	0	8	225	12	329	4	103	0	161	2	65	0	0	12	329
346	17,686	732	45,457	7,749	331,274	761	44,944	4,026	160,025	2,942	124,131	20	2,174	7,749	331,274

別			所在地別 (学 校 数)															
大学			その他の学校			合計			河内	上都賀	芳賀	下都賀	塩谷	那須	南那須	安足	県外	合計
校数	学生	引率	校数	児童 生徒 学生	引率	校数	児童 生徒 学生	引率										
156	3,640	254	535	25,794	1,839	8,151	568,329	35,479	3,398	692	522	750	391	617	174	325	1,282	8,151
						1	81	9	1									1
						4	330	24	2	1	1							4
2	66	3				3	77	5	1	1		1						3
2	21	1				17	464	66	8	1		1		4	2	1		17
1	13	5				5	115	21	2								3	5
						13	395	61	4	2	1			4			2	13
1	19	1				10	166	88	2	2		4					2	10
2	17	3				35	1,319	111	14	5	1	5	3	5		1	1	35
						13	708	51	9	3		1						13
						19	901	76	12	1		3	1	2				19
						13	727	54	7	4	2							13
						1	22	5	1									1
8	136	13	0	0	0	134	5,305	571	63	20	5	15	4	15	2	2	8	134
164	3,776	267	535	25,794	1,839	8,285	573,634	36,050	3,461	712	527	765	395	632	176	327	1,290	8,285

注 (1) 幼稚園は平成21年度からである。

(2) 大学は平成21年度からである。

(3) その他の学校の統計は平成20年度まで大学と幼稚園分が含まれている。

曜日別入館者状況

年度	月	日曜・祝日 振替休日		火曜		水曜		木曜		金曜		土曜		計		摘要	
		日数	観覧者数	日数	観覧者数	日数	観覧者数	日数	観覧者数	日数	観覧者数	日数	観覧者数	日数	観覧者数	最高	最低
昭和57年10月 から平成31年3 月まで		日	人	日	人	日	人	日	人	日	人	日	人	日	人	人	人
		2,249	2,130,238	1,559	625,914	1,681	703,672	1,674	701,456	1,681	641,300	1,740	941,838	10,584	5,744,418	-	-
令和 元 年度	4	6	3,616	4	481	4	387	4	423	4	429	4	1,196	26	6,532	1,198	38
	5	9	9,075	3	1,831	4	2,334	4	2,345	4	3,340	3	3,810	27	22,735	654	42
	6	3	34,172	2	5,613	2	5,532	2	5,109	2	5,690	3	15,543	14	71,659	1,897	86
	7	5	14,543	4	5,473	5	4,990	4	3,911	4	4,357	4	8,625	26	41,899	1,846	52
	8	6	7,145	3	2,215	4	3,883	5	4,061	5	3,925	4	6,673	27	27,902	769	94
	9	7	5,252	2	434	4	910	4	836	4	699	4	1,531	25	9,662	931	90
	10	6	3,840	3	512	4	902	5	963	4	343	3	1,117	25	7,677	913	53
	11	6	7,782	3	1,016	4	1,067	4	938	5	1,492	4	2,660	26	14,955	2,532	82
	12	4	1,247	4	948	4	346	4	648	4	582	3	701	23	4,472	405	41
	1	5	2,132	3	735	4	461	4	785	4	926	3	749	23	5,788	702	60
	2	6	2,701	2	463	3	387	4	935	4	693	5	1,236	24	6,415	562	49
	3	2	216	2	179	2	261	2	140	1	100	1	75	10	971	151	50
	計	65	91,721	35	19,900	44	21,460	46	21,094	45	22,576	41	43,916	276	220,667		
	構成割合		41.6%		9.0%		9.7%		9.6%		10.2%		19.9%		100.0%		
一日当たりの 入館者数		1,411		569		488		459		502		1,071		800			
累計		2,314	2,221,959	1,594	645,814	1,725	725,132	1,720	722,550	1,726	663,876	1,781	985,754	10,860	5,965,085		

※1 曜日別入館者数は観覧者総数(本館入館者及び移動博物館入館者)

※2 適用は本館入館者の最高、最低人数

年度別入館者状況

年度 月	昭和58年 度～ 昭和63年	平成元 年度～ 平成21年	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
4	100,146	151,538	4,260	6,694	5,650	4,974	6,722	14,036	18,663	7,527	6,532
5	192,439	340,683	8,330	11,741	14,391	7,429	10,724	12,700	52,061	8,089	22,735
6	90,474	245,299	6,072	10,606	12,175	6,845	6,887	45,422	19,649	45,805	71,659
7	89,088	308,978	20,350	16,110	14,693	17,665	12,176	27,254	21,067	20,512	41,899
8	181,970	669,884	34,469	24,147	24,595	33,313	19,453	29,691	31,873	17,050	27,902
9	95,205	221,272	9,027	9,441	8,403	9,415	9,382	10,043	13,377	68,316	9,662
10	160,618	256,635	9,277	11,262	9,373	7,751	11,614	10,662	15,955	23,620	7,677
11	198,998	280,735	9,954	22,097	12,873	11,599	10,266	12,864	8,843	14,347	14,955
12	60,653	82,563	632	1,531	5,155	5,863	5,206	6,259	5,883	6,413	4,472
1	81,743	136,890	5,110	4,913	9,069	6,482	6,453	6,300	8,133	6,561	5,788
2	115,806	166,210	5,902	7,190	5,775	7,179	7,771	5,705	8,459	5,861	6,415
3	132,456	136,761	6,431	4,125	5,297	7,230	7,863	6,559	8,819	5,614	971
計	1,499,596	2,997,448	119,814	129,857	127,449	125,745	114,517	187,495	212,782	229,715	220,667
累計	1,499,596	4,497,044	4,616,858	4,746,715	4,874,164	4,999,909	5,114,426	5,301,921	5,514,703	5,744,418	5,965,085

入館者比較表（参考資料）

月 別	平成30年度入館者数			令和元年度入館者数			比較増減			平成30年度団体数		令和元年度団体数	
	本館	移動博等	計	本館	移動博等	計	本館	移動博等	計	県内	県外	県内	県外
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	組	組	組	組
4月	6,591	936	7,527	5,853	679	6,532	△ 738	△ 257	△ 995	4		2	1
5月	7,251	838	8,089	7,195	15,540	22,735	△ 50	14,702	14,646	17			2
6月	6,075	39,730	45,805	7,257	64,402	71,659	1,182	24,672	25,854	10	1	1	1
7月	7,649	12,863	20,512	8,442	33,457	41,899	793	20,594	21,387	23	2	3	8
8月	11,128	5,922	17,050	10,590	17,312	27,902	△ 538	11,390	10,852	37	4	3	2
9月	7,663	60,653	68,316	7,683	1,979	9,662	20	△ 58,674	△ 58,654	17	4	3	5
10月	7,576	16,044	23,620	6,263	1,414	7,677	△ 1,313	△ 14,630	△ 15,943	38	3	2	2
11月	9,958	4,389	14,347	11,394	3,561	14,955	1,436	△ 828	608	38	7	2	15
12月	4,621	1,792	6,413	3,562	910	4,472	△ 1,059	△ 882	△ 1,941	10	2	1	9
1月	5,139	1,422	6,561	4,960	822	5,788	△ 173	△ 600	△ 773	27		1	12
2月	5,245	616	5,861	5,464	951	6,415	219	335	554	25	2	2	6
3月	5,579	35	5,614	971		971	△ 4,608	△ 35	△ 4,643	12			
計	84,475	145,240	229,715	79,640	141,027	220,667	△ 4,835	△ 4,213	△ 9,048	256	25	20	63

2 アンケート調査による入館者の実態

当館では、開館以来アンケート調査を実施し、入館者の実態を把握し、その活動や運営に生かすよう努めている。アンケートは日常的に実施する「日々アンケート」と、毎月第3日曜日に開催する県立博物館の日イベント(県博デー)に特化した「県博デーアンケート」の2種類がある。この2種のアンケートは、来館目的に関する項目が異なるだけで、大きな違いはない。「日々アンケート」は、館内3箇所に設置されたアンケート回収ボックス脇に準備されており、来館者が自由に回答できるようになっている。「県博デーアンケート」は、回収ボックスを6箇所に増やし「日々アンケート」と同様に自由に回答してもらうようにしている。

「日々アンケート」は月に2回、「県博デーアンケート」は県博デー実施直後にそれぞれ集計している。各アンケートの集計結果は各課で回覧し、来館者の声を迅速にフィードバックできるよう努めている。

(1) 調査日

「日々アンケート」は全開館日、「県博デーアンケート」は毎月第3日曜日

(2) 調査事項

- ア 回答者に関する事項
性別・年齢・同伴者・住所
- イ 来館に関する事項
来館回数・来館方法・来館目的・催事情報の入手先
- ウ 展示に関する事項
全体の印象・展示別の印象・所見

(3) 調査対象者

個人、家族及びグループの入館者

(4) 調査方法

調査用紙は館内複数箇所に設置し、退館時にアンケート回収ボックスに投函するよう案内している。

(5) 集計事項

- ア 「回答者の同伴者」
回答者の大半は家族連れでの来館であり、県博デーでの家族連れの割合が高い。単独の来館は10～12%である。
- イ 「回答者の住所」
来館者の半数は宇都宮市在住である。日々アンケート集計では、県外からの来館者は約22%で例年よりも高い。
- ウ 「回答者の入館回数」
初めて来館された方は34～39%で、ほぼ例年並みである。両アンケート共に31～38%の方が5回以上の来館で、リピーターの存在が示唆される。
- エ 「回答者の催し物情報の入手先」
回答者の情報入手経路は多岐に渡っているが、「友人仲間家族」のいわゆる口コミや「偶然」がやや目立つ。県博デーでの「偶然」が高いのは、中央公園利用者が博物館コンサートなどのイベントに惹かれ来館した可能性がある。HPやブログからの情報入手が、年々増えてきている。
- オ 「回答者の全体に対する印象」
「日々アンケート」および「県博デーアンケート」の回答者共に、全体の印象について約90%が「すごくよかった」、「よかった」と回答している。「よかったもの」への回答から、スロープ展示など常設展示に対し「日々アンケート」回答者の約45%、「県博デーアンケート」回答者の約30%が「よかった」と感じている。
企画展やテーマ展については、「日々アンケート」に比べ「県博デーアンケート」の評価が低い。県博デーでは複数のイベントが開催されているため、評価が分かれている可能性がある。

(6)令和元年度 日々アンケート集計結果

回答数 1048

		就学前	小学生	中学生	高校生以上 の学生	学生以外 (~40歳)	41-60歳	61歳以上	未記入	計		
性別	男	26	182	13	4	34	54	40	0	353	33.7%	1048
	女	29	277	25	22	57	41	28	1	480	45.8%	1048
	性別記入なし	51	71	13	4	23	33	18	2	215	20.5%	1048
同伴者	家族	52	279	23	15	61	59	35	0	524	61.2%	856
	友人	0	91	10	7	7	4	3	1	123	14.4%	856
	団体	0	109	5	4	1	0	2	0	121	14.1%	856
	ひとり	0	3	1	2	22	31	29	0	88	10.3%	856
住所	宇都宮市内	29	270	21	14	38	26	29	0	427	52.7%	811
	宇都宮市外	10	115	10	3	25	23	20	1	207	25.5%	811
	県外	11	62	8	7	25	45	19	0	177	21.8%	811
来館回数	初めて	26	158	13	10	35	43	17	0	302	39.1%	773
	2~4回目	10	142	11	8	22	26	11	0	230	29.8%	773
	5回目以上	13	123	10	7	32	21	34	1	241	31.2%	773
情報入手経路	新聞・雑誌広報	4	17	3	0	4	8	9	1	46	5.5%	842
	テレビ・ラジオ広報	0	12	0	0	1	1	1	0	15	1.8%	842
	チラシ・ポスター	3	41	6	4	20	17	14	0	105	12.5%	842
	友人仲間家族	7	153	10	9	13	12	21	0	225	26.7%	842
	博物館HP	4	18	3	3	15	15	13	0	71	8.4%	842
	他HP、ブログ	5	8	0	0	2	10	3	0	28	3.3%	842
	偶然	15	92	12	3	27	18	6	0	173	20.5%	842
	その他	5	132	5	6	7	11	13	0	179	21.3%	842
全体の印象	すごく良かった	30	262	21	16	38	47	33	0	447	62.0%	721
	良かった	10	91	10	7	37	29	23	2	209	29.0%	721
	普通	5	28	3	2	6	11	5	0	60	8.3%	721
	悪かった	0	4	0	0	0	0	1	0	5	0.7%	721
よかったもの	常設展示	20	309	24	15	52	51	36	1	508	48.5%	1048
	展示室1	22	262	23	9	42	37	28	1	424	40.5%	1048
	展示室2	18	264	21	14	42	39	26	1	425	40.6%	1048
	企画展	1	69	5	6	13	25	23	0	142	38.9%	365
	人文系テーマ展	7	169	11	10	30	35	24	0	286	74.5%	384
	テーマ展	13	119	10	3	11	16	9	0	181	29.3%	617
	自然系	3	88	8	3	6	14	5	0	127	15.4%	827
ロビー展示	2	24	1	0	0	1	1	0	29	2.8%	1048	

※ 右欄外の数字は各質問項目回答者数で、母数となる。「人文系企画展」以下は開催中の回答者総数である。

		就学前	小学生	中学生	高校生以上 の学生	学生以外 (~40歳)	41-60歳	61歳以上	未記入	計	
性別	男	7	24	3	2	14	28	26	0	104	34.2%
	女	5	34	2	1	35	23	6	1	107	35.2%
	性別記入なし	30	28	1	5	9	16	4	0	93	30.6%
同伴者	家族	10	54	4	1	43	36	16	1	165	76.4%
	友人	2	3	1	1	3	3	2	0	15	6.9%
	団体	0	4	0	0	0	0	5	1	10	4.6%
	ひとり	0	0	0	1	3	13	9	0	26	12.0%
住所	宇都宮市内	8	33	2	2	33	22	20	0	120	56.9%
	宇都宮市外	3	19	1	2	13	18	7	0	63	29.9%
	県外	0	6	2	0	3	11	5	1	28	13.3%
来館回数	初めて	4	16	2	1	20	18	7	1	69	34.0%
	2~4回目	3	14	1	1	12	16	9	1	57	28.1%
	5回目以上	4	23	2	1	16	15	16	0	77	37.9%
情報入手経路	新聞・雑誌広報	0	5	0	0	3	9	13	0	30	13.3%
	テレビ・ラジオ広報	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0.4%
	チラシ・ポスター	0	5	1	0	10	14	9	0	39	17.3%
	友人仲間家族	1	19	1	0	8	6	9	1	45	19.9%
	博物館HP	4	8	1	1	9	12	1	0	36	15.9%
	他HP、ブログ	0	1	1	0	2	4	1	1	10	4.4%
	偶然	5	13	1	1	17	9	3	0	49	21.7%
	その他	1	6	0	0	3	3	2	1	16	7.1%
全体の印象	すごく良かった	4	26	2	0	11	13	12	2	70	44.0%
	良かった	4	17	0	2	15	22	15	0	75	47.2%
	普通	1	1	0	0	5	3	1	0	11	6.9%
	悪かった	0	1	1	0	1	0	0	0	3	1.9%
よかったもの	スロープ	5	33	1	3	29	22	11	0	104	34.2%
	展示室1	4	26	1	2	22	18	10	0	83	27.3%
	展示室2	2	35	1	2	20	17	8	0	85	28.0%
	博物館コンサート	2	8	1	1	5	5	4	0	26	8.6%
	とっておき講座	0	8	0	1	3	3	4	0	19	6.3%
	クイズにチャレンジ	5	24	1	1	17	8	2	0	58	19.1%
	キッズツアー	2	11	0	0	4	3	1	0	21	6.9%
	百人一首読み札めり絵	0	10	0	0	2	3	3	0	18	5.9%
	人文系企画展	0	5	0	0	3	5	6	0	19	21.6%
	人文系テーマ展	1	9	1	1	10	15	8	0	45	26.2%
	自然系企画展	0	8	3	1	7	10	4	0	33	35.1%
	自然系テーマ展	0	11	2	2	13	17	4	0	49	18.4%
	ロビー展示	1	14	0	1	8	3	3	0	30	9.9%

右欄外の数字は各質問項目回答者数で、母数となる。「人文系企画展」以下は開催中の回答者総数である。

Ⅲ 予算

1 令和元年度歳入状況

(単位:円)

科 目	調 定 額	収 入 済 額	備 考
7 分担金及び負担金	122,823	122,823	
1 負担金	122,823	122,823	
2 民生費負担金	122,823	122,823	
社会保険料負担金	122,823	122,823	非常勤職員及び臨時補助員等の雇用保険料等
8 使用料及び手数料	6,846,910	6,846,910	
1 使用料	6,846,910	6,846,910	
2 民生使用料	6,846,910	6,846,910	
家屋使用料	483,370	483,370	レストラン
博物館使用料	6,363,540	6,363,540	観覧料
10 財産収入	1,339,832	1,339,832	
1 財産運用収入	1,339,832	1,339,832	
1 財産貸付収入	1,339,832	1,339,832	
家屋貸付料	1,339,832	1,339,832	飲料自動販売機 太陽光発電屋根貸し使用料
14 諸収入	1,242,746	1,242,746	
7 雑入	1,242,746	1,242,746	
1 弁償金	451,172	451,172	
食費光熱水費等弁償金	451,172	451,172	レストラン等の電気・ガス・水道
4 雑入	791,574	791,574	
雑入	791,574	791,574	レストラン等の火災保険料相当、S-net情報提供料
計	9,552,311	9,552,311	

2 令和元年度歳出予算

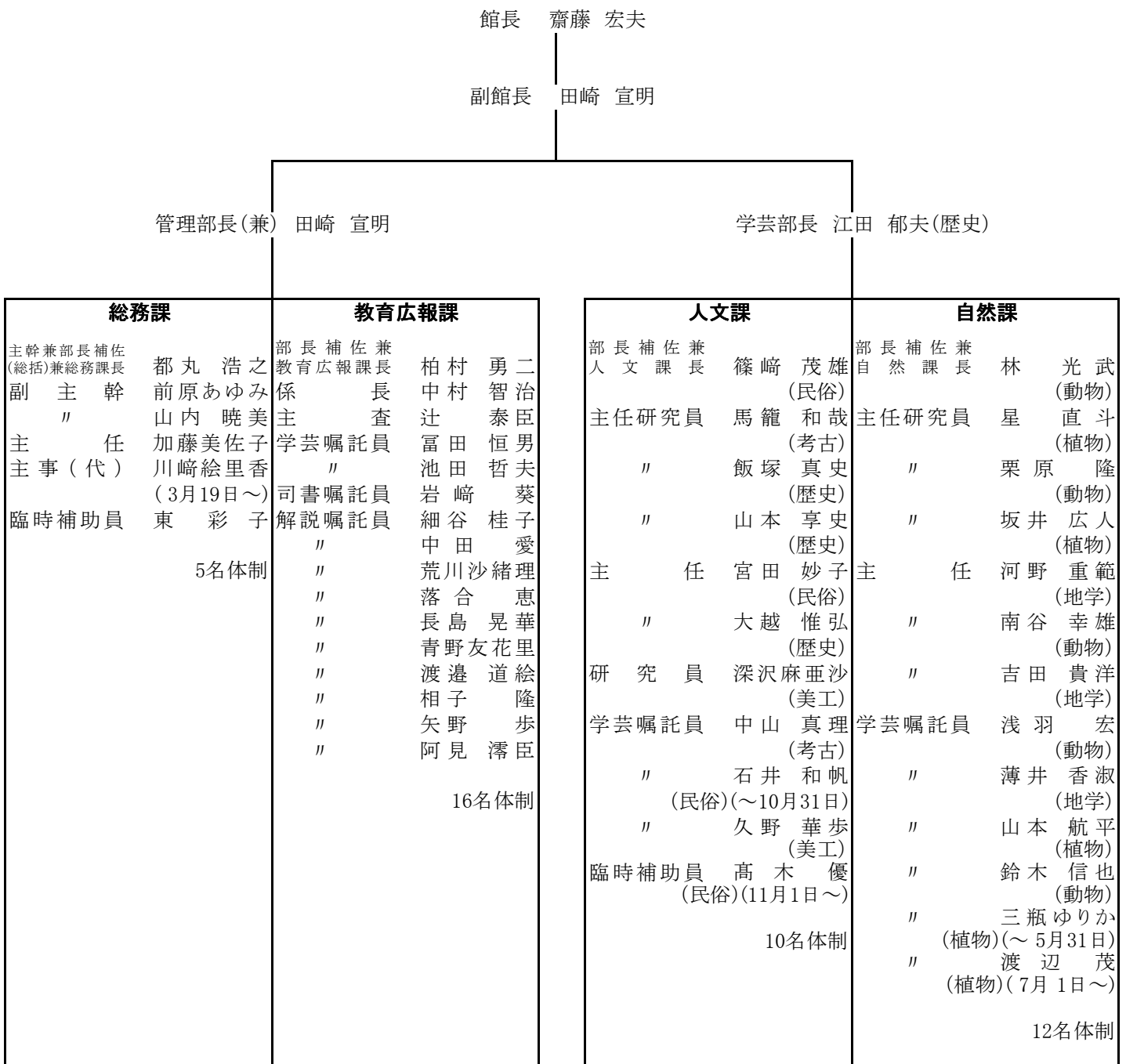
博物館費

(単位:千円)

事業名		予算額	摘要	
博物館 運 営 費 計	1. 管理運営費	(1)非常勤職員人件費	50,823	非常勤職員、各種委員会、臨時補助員に要する経費
		(2)施設管理費	27,003	電気、ガス、上下水道、ボイラー用重油、設備改修、管理用消耗品等
		(3)管理委託費	42,028	警備、清掃、設備保守委託等
		小計	119,854	
	2. 企画事業費	(1)普及教育経費	11,132	普及教育活動に要する講師謝礼、普及教育活動資材購入費等
		(2)調査研究費	3,209	調査研究活動に要する経費
		(3)企画展等開催費	10,128	企画展示の資料展示に伴う委託料、運搬費、保険料、広告料等
		(4)移動博物館費	252	移動博物館に伴う旅費、消耗品等
		(5)資料・図書購入費	1,256	博物館資料、備品の購入費
		(6)常設展示資料借入経費	246	常設展示の資料に伴う謝金、運搬費、保険料等
		(7)教材作成経費	471	資料、標本等の作製、修繕及び写真撮影委託等
		(8)文化プログラム推進事業	1,132	リーディングプロジェクト事業・企画展「とちぎの技・匠」に要する経費
		小計	27,826	
			147,680	

IV 組織・事務分掌

1 令和元年度栃木県立博物館の組織図



2 栃木県立博物館協議会委員名簿(任期:平成30(2018)年12月7日～令和3(2021)年12月6日)

(令和2年3月31日現在)

区分	氏名	性別	職業・役職	備考	区分	氏名	性別	職業・役職	備考
学 識 経 験 者	飯野 達央	男	元栃木県参事兼自然環境課長		社会教育関係者	益子 ゆかり	女	栃木県公民館連絡協議会理事 那須烏山市烏山公民館館長	
	大澤 慶子	女	文星芸術大学准教授		家庭教育関係者	揚石 哲司	男	栃木県PTA連合会副会長	
	岡部 正英	男	栃木県市長会・佐野市長		学校教育関係者	中西 幸子	女	栃木県子ども会連合会理事	
	萩原 恵美子	女	株式会社下野新聞社 編集局くらし文化部部長代理			新井 由紀子	女	栃木県小学校長会 宇都宮市立平石北小学校長	
	佐藤 峰子	女	ボランティア連絡協議会			上野 一典	男	栃木県私立中学高等学校連合会 宇都宮文星女子高等学校長	
	藤田 眞一	男	下野手仕事会			根本 いづ美	女	栃木県高等学校長会 栃木県立益子芳星高等学校長	
	真瀬 宏子	女	栃木県町村会・野木町長		公募	増山 隆之	男	栃木県中学校長会 宇都宮市若松原中学校長	
	村木 優実子	女	NHK宇都宮放送局長			藤本 由利子	女		
	湯澤 英之	男	栃木県議会議員						

3 栃木県立博物館調査研究協力員名簿

(1)人文部門

①下野の中世に関する調査研究(歴史)

No.	氏名	所属	役職名
1	千田 孝明	観音寺	住職

⑤近世下野に関する調査研究(歴史)

No.	氏名	所属	役職名
1	鷲谷 政信	青雲堂刀剣舗	代表

②栃木の石器時代に関する調査研究(考古)

No.	氏名	所属	役職名
1	中村 信博	栃木県考古学会	会員

⑥昭和のくらしや文化に関する調査研究(民俗)

No.	氏名	所属	役職名
1	金井 忠夫	那須烏山市那須野が原博物館	学芸員

③那珂川の漁撈用具に関する調査研究(民俗)

No.	氏名	所属	役職名
1	柏村 祐司	栃木県立博物館	名誉学芸員

⑦中近世下野に関する調査研究(歴史)

No.	氏名	所属	役職名
1	重藤 智彬	大田原市那須与一伝承館	学芸員
2	後藤 文彦	栃木県歴史文化研究会	会員

④中近世の美術工芸資料に関する調査研究(美術工芸)

No.	氏名	所属	役職名
1	北口 英雄	小杉放菴記念日光美術館	元館長
2	寺門 泰三	泰清堂	代表
3	大澤 慶子	文星芸術大学	准教授
4	高橋 久敬	日本古鐘研究会	会員
5	浦野 潔	羅漢工房	代表
6	本田 諭	根津美術館	第二課長

⑧栃木の弥生・古墳時代に関する調査研究(考古)

No.	氏名	所属	役職名
1	川又 隆一郎	茨城県桜川市教育委員会	主事

⑨たたら製鉄に関する調査研究(考古)

No.	氏名	所属	役職名
1	三村 典弘	市貝町企画振興課地域振興係	道の駅担当

⑩下野の鎌倉街道に関する調査研究(考古)

No.	氏名	所属	役職名
1	青木 文彦	さいたま市教育委員会 生涯学習部文化財保護課	課長

(2) 自然部門

① 日光の自然総合学術調査

No.	氏名	所属	役職名
1	神山 隆之	今市の自然を知る会	会員
2	長谷川 順一	栃木県植物研究会	会員
3	田代 俊夫	栃木県植物同好会	幹事
4	野口 達也	日本植物分類学会	会員
5	江連 俊一	栃木県きのこ同好会	会員
6	小林 幹夫	宇都宮大学	名誉教授
7	宮本 龍夫	とちぎ昆虫愛好会	会員
8	佐藤 光一	とちぎ昆虫愛好会	会員
9	大川 秀雄	とちぎ昆虫愛好会	幹事

② 栃木県産脊椎動物調査

No.	氏名	所属	役職名
1	上條 さち子	日本哺乳類学会	会員

③ 栃木の維管束植物相調査

No.	氏名	所属	役職名
1	田代 俊夫	栃木県植物同好会	幹事
2	長谷川 順一	栃木県植物研究会	会員
3	神山 隆之	今市の自然を知る会	会員
4	野口 達也	日本植物分類学会	会員
5	小林 幹夫	宇都宮大学	名誉教授
6	中池 敏之	日本植物学会	会員
7	小倉 洋志	日本植物分類学会	会員

④ 栃木県の昆虫相調査

No.	氏名	所属	役職名
1	田中 清貴	とちぎ昆虫愛好会	幹事
2	小林 教太	とちぎ昆虫愛好会	会員
3	片山 栄助	とちぎ昆虫愛好会	会員
4	中山 恒友	とちぎ昆虫愛好会	幹事
5	村上 哲治	とちぎ昆虫愛好会	幹事

⑤ 栃木県産菌類調査

No.	氏名	所属	役職名
1	野澤 純一	日本菌学会	会員

⑥ 栃木県に分布する新第三系の研究

No.	氏名	所属	役職名
1	興野 喜宣	鉱物同志会	会員
2	青島 睦治	栃木地学愛好会	顧問

⑦ 栃木県産両生爬虫類調査

No.	氏名	所属	役職名
1	木村 有紀	日本爬虫両棲類学会	会員

⑧ 無脊椎動物相の調査

No.	氏名	所属	役職名
1	古野 勝久	日本土壌動物学会	会員

4 栃木県立博物館ボランティア

(1) 人文部門活動内容

- ①テーマ展「おじいさんやおばあさんの子どものころの暮らし」体験コーナーの補助
- ②人文系の展示・講演会・講座などのサポート
- ③民俗資料の整理補助

(2) 自然部門活動内容

- ①両生類・爬虫類の分布・生態調査
- ②無脊椎動物(カタツムリ、エビ・カニ、ミミズ)の分布調査
- ③外来植物の分布調査
- ④地衣類の分布調査
- ⑤自然系の展示・講演会・講座などのサポート

(3) 教育広報部門活動内容

- ①クイズにチャレンジ補助(県博デー)
- ②発送作業補助
- ③体験学習「博物館でやってみよう」補助
- ④グリーンボランティア(除草、花壇の手入れ)
- ⑤館内巡視ボランティア

(4) ボランティア主催イベント企画・運営

- ①かざぐるまをつくってあそぼう
- ②たてばんこをつくってみよう

V 利用案内

☆交通案内

JR宇都宮駅西口から

○ 関東バス市内線

37 桜通り経由鶴田駅または同經由西川田駅行きで「中央公園博物館前」下車、徒歩8分。

○ 関東バス郡部線

43 長坂経由鹿沼営業所行きで「文星芸術大学附属中高」下車、徒歩10分。

東武宇都宮駅から

○ 市内大通りの関東バス「東武駅前」バス停で上記バスに乗車。

○ 徒歩30分

鹿沼方面から

○ 関東バス鹿沼営業所発宇都宮駅行きで「睦町」下車、徒歩18分で公園正面へ。

日光、鬼怒川方面から

○ 関東バス宇都宮駅行きで「桜通十文字」下車、徒歩18分で公園正面へ。

☆開館時間 午前9時30分から午後5時まで
(入館は午後4時30分まで)

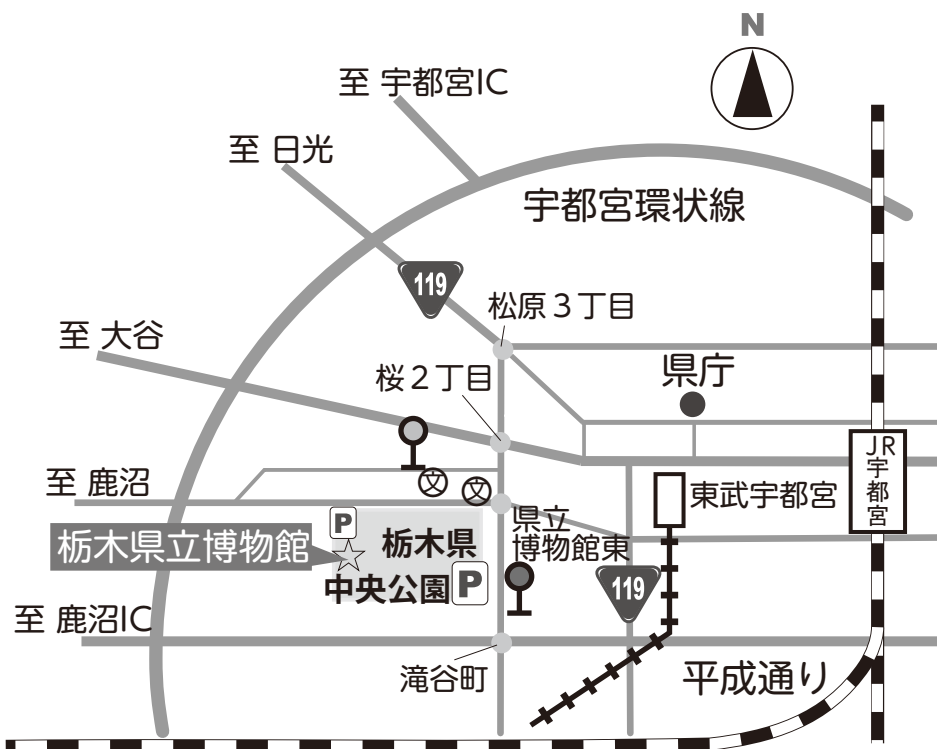
☆休館日 月曜日(祝日・休日を除く)、
祝日・振替休日の翌日(土曜日・日曜日
を除く)、定期消毒(6月下旬~7月上旬)、
年末年始(12月28日~1月4日)、
臨時休館日

☆観覧料金 一般260円(200円)、大学生・高校生120円
(100円)、中学生以下無料。
()内は20名以上の団体料金。

M割(ミュージアム割引)について

※入館から6ヵ月以内の当館もしくは
M割参加館の半券を持って来館すると、
団体割引料金で入館できます。
(半券1枚につき1回限り有効)

6月の第2土曜日及びその翌日・6月15日
(県民の日)、11月3日(文化の日)は無料。



☆観覧料免除について

次の場合、観覧料が免除されます。

- (1) 小学校、中学校、高等学校、大学等において、その学校の教育課程に基づく教育活動として観覧する場合
- (2) 県の主催する「県の施設を見る県民バス」等による観覧
- (3) 社会福祉施設がその施設の入所者に対して行う行事としての観覧
- (4) 国及び地方公共団体等が行う職員研修の一環として観覧する場合又は公民館等社会教育施設が行う教育活動の一環として観覧する場合

☆観覧料の免除申請について

上記の観覧料免除に該当する場合は、博物館所定の観覧料等免除申請書(ホームページからダウンロード可)に必要事項を記入して、観覧日の2週間前までに到着するように送付してください。

☆観覧について

- 1 館内の観覧所要時間としては、展示の全てを通覧する場合は約1.5時間～2時間を見込んでください。
- 2 観覧の順路は、一般通覧の場合、スロープ展示→展示室1 地質時代の栃木、太古の暮らし、古墳文化と下野国、中世の下野、江戸時代の下野、近代日本と栃木県、現代栃木の軌跡→展示室2 テーマ展示(開催中の場合)雑木林の生きもの、水辺の生きもの、岩石、鉱物、化石、菌類、植物、動物、企画展示(開催中の場合)となりますが、必要に応じて重点的に観覧していただいております。
- また、混雑の状況によっては適宜観覧順序を変えてください。
- 3 展示室等に制服の解説員がおり、解説や質問に応じますのでご利用ください。また、気分がわるくなったり困ったことがありましたらお申し出ください。

☆施設、設備について

- 1 受付案内:1階エントランスホールにあります。
- 2 トイレ:1階に2か所(講堂への通路、スロープ展示の下、障害者用トイレあり)
2階に2か所(展示室2入口右側奥、レストラン)にあります。
- 3 手荷物ロッカー:正面から講堂に至る通路にあります。(返金式)
- 4 車椅子・ベビーカー・杖:1階エントランスホールにあります。
- 5 ベビーベッド(おむつ替え用)が各階に、授乳室(保健室)は1階にあります。
- 6 記念スタンプ:1階トイレ前(ロープ展示の下)
- 7 ミュージアムショップ:1階エントランスホールにあります。

- 8 レストラン:2階、講堂の真上部分にあり、素晴らしい展望です。
- 9 自動販売機:玄関ポーチに飲み物の販売機があります。
- 10 AED(自動体外式除細動器):館内受付横に備えてあります。

☆お願い

- 1 館内では、他の観覧者の妨げにならぬよう配慮をお願いします。
- 2 写真撮影が禁止されている場所がありますのでご注意ください。
本格的な模写・写真撮影・団体の記念撮影などは、事前に許可を得てください。
- 3 飲食は指定された場所で行います。
- 4 団体観覧の場合は、引率者の責任において他の迷惑にならぬようご指導ください。
- 5 大型バス等で来館される際には、前もってご連絡ください。
- 6 動物(ペットなど)の持ち込みはご遠慮ください。
- 7 そのほか、博物館職員や警備員の指示に従ってください。
- 8 館内は禁煙です。

栃木県立博物館年報(第38号)

令和2(2020)年7月31日 発行

編集・発行 栃木県立博物館
〒320-0865 栃木県宇都宮市睦町2-2
TEL 028(634)1311(代)

印刷 株式会社 松井ビ・テ・オ・印刷

ISBN 978-4-88758-107-4

